

日本の文学

堀尾幸平

1～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

日本の文学の歴史をふまえながら、代表的な文学作品を紹介し、観賞する。若い世代の文学への関心が薄らいでいるといわれる今、文学への興味と関心を喚起したい。

【授業計画】

1. 明治期の文学
坪内逍遙、二葉亭四迷
三輪弘忠、巖谷小波
押川春浪、立川文庫
2. 大正期の文学
小川未明、鈴木三重吉
『赤い鳥』、『少年倶楽部』
千葉省三、浜田廣介
少女小説、少年詩、童謡
3. 昭和期の文学
プロレタリア文学、佐藤紅緑
佐々木邦、江戸川乱歩
宮澤賢治、新美南吉、坪田譲治
いぬいとみこ、松谷みよ子、
中川李枝子、灰谷健次郎
4. 平成期の文学
5. 創作

【評価方法】

定期試験、レポート、出席状況等によって総合的に評価する。

【テキスト】

日本児童文学論(堀尾幸平著 中日文化 2,200円)

【参考書籍】

授業中に適宜紹介する。

英米の文学

小野迪雄

1～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

文学作品にはそれぞれの国の文化が反映している。主に20世紀の英米の文学の思潮をたどりながら、伝統的な英国文学や移民の国として新しい文化を作った米国文学を中心に考察する。

【授業計画】

本年度はアメリカ文学を中心に講義をする。アメリカは移民の国として、先進国の中では非常に遅い出発をした国であるが、それだけに歴史の古い国にみられる伝統に欠ける面があるものの、他の先進国にみられない文学の活力や著しい特徴がある。アメリカの文学作品には、どんな特質や問題があるのか考えていく。時間の制約上、個々の作品を細かく扱うことが難しいので、中心は作品を生みだした社会的背景や文学思潮におく。話の展開の中でイギリス文学や日本文学にもふれる。

【評価方法】

レポートや受講態度を加味するが、評価の中心は定期試験による。

【テキスト】

未定。必要に応じてプリントを配布する。

【参考書籍】

授業時に紹介する。

中国の文学

寺尾 剛

1～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

中国の歴史と文化は古くかつ深い。日本はその影響を大きく受けてきたが、特に文学は顕著であった。中国の代表的な文学作品を紹介し、鑑賞する。

＜主なテーマ＞

- ・花木兰（ムーラン）の物語－中国女性は強い？
- ・王昭君の物語－国際結婚、是か？否か？
- ・西施の物語－中国最大の美人は？
- ・孟姜女物語－万里の長城と女性悲話
- ・詩仙・李白－酒仙、大いに酒を歌う
- ・詩聖・杜甫－戦争と文学と
- ・南宋最大の詩人・陸游－夫婦と嫁姑戦争
- ・蘇軾－豚の角煮（東坡肉）の自家争い
- ・封神演義はどこまで実話？－中国小説の魅力
- ・中国笑話選－下ネタは下品か？
- ・孔子－中国人の知恵と格言
- ・魯迅・周作人兄弟と日本との深い関係
など

【評価方法】

平常点と試験。

【テキスト】

未定（主としてプリント）。

情報と社会

梅田敏文

1～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

現代社会は情報化社会といわれ、さまざまな情報が送受信されている。日常生活や経済社会の中で「情報」がいかにかわり、有効な活用はどうあるべきかについて考察する。

【授業計画】

- 第1講 ガイダンス
- 第2講 e－ビジネスの進展
- 第3講 社会の情報システム（事例1）
- 第4講 社会の情報システム（事例2）
- 第5講 社会の情報システム（事例3）
- 第6講 データと情報
- 第7講 インターネット
- 第8講 機械とコンピュータ
- 第9講 システムの概念
- 第10講 情報システムの構築
- 第11講 情報化社会の課題
- 第12講 まとめ

【評価方法】

出席点40%、レポート60%で評価する。

【テキスト】

プリントを適宜、配布する。

情報と社会

沖野皓一

1~4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

現代社会は情報化社会といわれ、さまざまな情報が送受信されている。日常生活や経済社会の中で「情報」がいかにかわり、有効な活用はどうあるべきかについて考察する。

【授業計画】

- 第1~2回 歴史に見る情報と社会
情報と文化との関係を軸に、人間社会の歴史を概観する。
- 第3回 情報がモノを造る
モノの生産が、必要性・実用性から嗜好に重点を置くようになってから、生産システムも大きく変わった。いわゆる情報化社会の生産と消費の関係について
- 第4~10回 情報の氾濫がもたらすもの
次々と繰り出される扇情的な情報や、人々の行動を先取りするような情報の氾濫の結果、私たちはかえって情報への関心を失い、情報喪失の状態に陥りかねない。情報過剰の現状について
- 第11回以降 主体性確保のために
ニューメディアは多チャンネルの実現による情報の多元性を売り物にしているが、私たちにとって重要なのは、本当に必要な情報を発信・選択できる双方向性であろう。市民の側からの情報発信、メディアアクセスの現状と可能性について

【評価方法】

出席状況・試験の成績などによって総合的に行う。

【参考書籍】

講義の中で、その都度紹介する。

ジェンダーと社会1

國信潤子

1~4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

現代社会において女性と男性の社会的関係は変容しつつある。男女がともに社会参画をして初めて社会における平等が確保できる。この視点から現代社会におけるジェンダー（社会・文化的性）のさまざまな問題を指摘し、検討する。

この講座では開発援助という面での国際交流をジェンダーの視点から学ぶ。今日、開発援助が政府及び民間組織によって推進されている。地球規模で物資、情報が流通する現代、先進産業国と非産業国の格差の拡大は顕著である。産業化重視の開発が今、限界にきている。資源有限時代に南北社会対立は深刻化している。この対立関係の解消は可能なのか、21世紀にむけて国際関係でジェンダーに配慮することの意味は何なのかについて考える。開発協力は現在政府間協力、民間組織両者によって推進されている。本講座では開発協力の第一線でジェンダー配慮を理解しつつ活躍する専門家数名を客員講師として招き、多面的考察を行う。開発とは何か、ジェンダー視点で考えるとどのようなことかをまず考え、次いで「開発とジェンダー、理論と実践」（日本福祉大学生江明先生）、「農業にみるイスラム女性の役割」（名古屋大学国際開発研究科 星山幸子先生）、「開発と保健」（アジア保健研修所理事長 川原啓美医師、林かぐみ先生）、「開発と性暴力」（アジア女性資料センター代表 松井やより先生）、「日本における外国人労働者」（名古屋カトリック国際協力委員会 野上幸恵先生）により、各領域における国際開発協力についてジェンダー視点から考察を行う。実践に裏打ちされた国際開発協力理論とは、南北社会対立とは何かについて学生諸氏が学習し、今自分にできる国際協力とは何かを共に考えてゆきたい。

【評価方法】

期末レポート、出席状況、履修態度などの総合評価。

【テキスト】

なし、随時配布資料あり

ジェンダーと社会 2

中島美幸 山下智恵子

オムニバス 1~4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

本講座では、ジェンダーの視点で文学作品を分析することによって、〈女/男〉規範がどのようにテキストに織り込まれているかを読み解き、さらに、テキストがどれほど現実の女と男の生を規定してきたかを検証する。それとともに、ジェンダーの呪縛から解放されたいとして、新たな文学表現を試みる作家・作品をできるだけ多く提示する。(オムニバス方式)

(中島美幸兼任講師)「女性の表現」の観点から日本文学を歴史的に跡づける。なかでも、近代以降の女性表現については、他国の女性文学との比較もまじえつつ、読み解いていく。

(山下智恵子兼任講師)現代の文学作品を中心に、家族、母娘などの人間関係をジェンダーの視点から検証する。

【授業計画】

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 〈ことば〉とジェンダー
- 第3回 〈書く女〉の登場①
- 第4回 〈書く女〉の登場②
- 第5回 女性を描く男性作家のまなざし①
- 第6回 女性を描く男性作家のまなざし②
- 第7回 母と娘の物語①
- 第8回 母と娘の物語②
- 第9回 家族の物語
- 第10回 文学の政治性
- 第11回 文学と映像文化
- 第12回 まとめ

*第8、9回は山下智恵子担当。他は中島美幸担当。

【評価方法】

毎回の簡単な感想と、学期末のレポートを総合して評価する。

【テキスト】

教科書は使用せず、随時、プリントを配布する。

【参考書籍】

毎回の講義の際に紹介する。

日本国憲法

大嶽 浩

1~4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

日本国憲法について、その成立の経過や明治憲法との比較を通じ、現行憲法の内容と主要な問題点を講義する。憲法問題における具体的事例にもふれる。

【授業計画】

<前期>

1. 憲法と理想
2. 憲法と法律
3. 憲法と憲法典
4. 国民の司法参加
5. 憲法の最高法規性 (A)
6. 憲法の改正

<後期>

1. 憲法と理想
2. 憲法と法律
3. 憲法と憲法典
4. 憲法の最高法規性 (B)
5. 直接効力説
6. 憲法裁判所
7. 公共の福祉と義務
8. 人権アラカルト
9. 戦争と平和

【評価方法】

<前期>授業内小テストとレポートによる評価。

<後期>試験による評価。場合によっては、レポートの追加。

【テキスト】

使用せず。プリントを配布。

郷土の歴史と文化

秦 達之

1～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

東海地方は、戦国乱世の時代に織田信長、豊臣秀吉、徳川家康を生んだ土地である。この歴史的風土をふまえ、愛知県を中心に郷土の歴史と文化を講義する。

愛知県は、“三大英傑”以後、一見平穏無事で、バツとしないかにみえる。しかし、よくみれば、東西の文化を巧みに織りこんで、波瀾にも富み、歴史上重要な地歩を築いてきた。講義は、尾張と三河とのちがいにも留意しつつ、隣県の三重・岐阜・静岡にも時には視野を拡げ、受験時の暗記の歴史から、考え、愉しみ、生きるための歴史へと飛翔することを目指す。

【授業計画】

一回一話の読み切り、いや、語り切りで、さまざまなテーマ、内容を取上げる。通史ではないので、時代の前後を往き来する。その時代を生きた人びとの鼓動が聞こえてくるようなものになりたいが、果してうまくいきますか、どうか？

内容は、「伊勢湾の漂流民たち」「三河加茂一揆」「村方騒動と兼帯庄屋」「東海地方の山車（だし）」「渡辺華山とその周辺」「お札降りとええじゃないか」「尾張の洋学者たち」「尾張藩草莽隊（そうもうたい）」「モルフィと廃娯運動」「新聞記者・市川房枝」「シーメンス事件と太田三次郎海軍大佐」その他。私自身の研究と共に、他の地道な研究成果も積極的に取上げたい。

こちらで一時間毎の史料を用意し、それにもとづいて講義する。必要に応じてビデオ、スライドも使用。質疑応答の時間を設けるか、感想を書いて貰うか、受講者の声を聞く工夫をしたい（受講者もぜひご協力を）。

【評価方法】

出席状況と単位認定試験の成績などによるが、毎時間最後に感想を書いて貰い、それも評価に繰入れることも考慮中（授業を批判したからといって、評価が低くなるわけではない。念のため）。

【参考書籍】

愛知県の百年（塩沢君夫、斎藤勇、近藤哲生共著 山川出版社）

愛知県の歴史（塚本学、新井喜久夫著 山川出版社）

都市と環境

谷口 武

1～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

現代の都市は生活と文化の面では便利であり、快適であるが、街の緑や空気汚染など、自然環境には恵まれているとはいえない。都市をとりまく自然環境の問題を中心に講義する。

【授業計画】

- 第1講 概論1：自然環境とは
- 第2講 概論1：自然環境と人間
- 第3講 各論1：農耕の発見による生活形態の変化
- 第4講 各論2：　　〃
- 第5講 各論3：産業革命と都市形成の促進
- 第6講 各論4：　　〃
- 第7講 各論5：現代都市生活の高度化
- 第8講 各論6：　　〃
- 第9講 各論7：都市巨大化と自然環境
- 第10講 各論8：　　〃
- 第11講 各論9：都市環境の改善
- 第12講 各論10：　　〃
- 第13講 単位認定試験

【評価方法】

出席状況と単位認定試験の成績によって総合的に評価する。

【参考書籍】

都市の論理（藤田弘夫著 中央公論社）

なにが環境の危機を招いたか（バリー・コモナー著 講談社）

メディアと文化

大西 誠

1～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

情報化社会の進展と技術の発達でさまざまなメディアが新しい文化を生み、伝達する。文化の創造と伝達にかかわるメディアのあり方を考察する。

各回の講義では、現代社会の中で、忘れられているメディアそのものと周縁状況との関係性に目を向けながら、メディアとは何か、文化とは何か？を具体的にとりあげていく。特に下記のジャンルに関する物語性に言及したい。

- ・ 絵画・美術
- ・ 写真
- ・ テレビ
- ・ 出版
- ・ 日用品

その他、スポーツやマンガなどにも領域を広げたい。

【授業計画】

各回「読み切り」形式で、テーマとなるメディアや事象とそれに関わった人物・集団などをとりあげ、講義する。

【評価方法】

出席状況、小テスト（数回）と課題レポート

【テキスト】

なし。

【受講上の注意】

自主性、想像力が要求される。歴史に関心のない者は不可。私語厳禁。

メディアと文化

鎌田基子

1～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

情報化社会の発達と技術の進歩でさまざまなメディアが新しい文化を生み、伝達する。文化の創造の伝達とメディアの関わりを考察する。

【授業計画】

- 第1回 どこからどこまでがメディアなのか？
- 第2回 伝達技術と表現手段
- ・ 新しい伝達技術が成熟するとき
- 第3回～6回 「編集」という創造
- ・ 怪物の作り方
 - ・ テーマとコンセプト
 - ・ 人の流れと思考の奥行き
 - ・ 発想の手順
 - ・ WORK SHOP
 - ・ フォトストーリー
 - ・ コラージュ
 - ・ 店内レイアウト
 - ・ 雑誌の企画
- 第7回～10回 現代美術はなぜ分かりにくいのか？
- ・ 作品が持つ言語
 - ・ 素材の力、場の力
 - ・ 感覚解放訓練
 - ・ 作家の生活（ゲスト講師による講演）
 - ・ WORK SHOP
 - ・ 即席インスタレーション
- 第11回～12回 社会が生んだ表現
- ・ 表現の自由と人権
 - ・ 芸術が果たす役割
- 第13回 「見る」「聞く」行為について

【評価方法】

出席状況、レポート等による。

国際情勢

富江良治

1～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

国際化の時代とか、地球は一つなどといいながら、つい身近なことにとらわれて、視野を広げる努力を怠りがちです。世界では何が起きているのか、その背景には何があるのか、どの方向へ進むと考えられるのか。こうした問題意識と関心を持った人間が育つよう、つぎつぎと起こる新しい動きを手掛かりに分かりやすく、面白く解きほぐしていきます。世界歴史の最先端にふれる興奮と緊張を味わえれば、です。

【授業計画】

日々報じられる新聞の国際記事、解説や特集面、テレビのニュース番組、ドキュメンタリーなどのコピーやビデオを用意し、教室で放映または配布して説明します。発生する出来事の中から興味を引くとみられるものを優先します。したがって政治、経済、社会、文化といった体系的な進め方には必ずしもなりません。

【評価方法】

原則として筆記試験によります。出席状況や意見発表とか質問、問題提起、私語、遅刻など受講態度も参考にします。

【テキスト】

特にありません。

【参考書籍】

そのつど、必要に応じて知らせます。

生活と福祉

山口みほ

1～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

人間らしい生活を営むには、今日では福祉は避けられない問題である。しかし、「福祉とは何か」、「福祉はいかにあるべきか」は難しい課題である。障害者福祉や老人介護など、現代的な問題を視野に入れて福祉について学ぶ。

【授業計画】

- 第1講 オリエンテーション：社会福祉とは
- 第2講 生活問題と社会福祉
- 第3講 児童福祉
- 第4講 老人福祉(1)
- 第5講 老人福祉(2)
- 第6講 障害者福祉(1)
- 第7講 障害者福祉(2)
- 第8講 医療福祉
- 第9講 公的扶助
- 第10講 地域福祉
- 第11講 その他の領域における福祉活動
- 第12講 社会福祉の課題と展望
- 第13講 試験

【評価方法】

出席状況と試験の成績によって総合的に評価する。

【テキスト】

新版現代の社会福祉（竹中哲夫他編著 みらい）

【参考書籍】

講義中に紹介する。

こころの世界

植村勝彦

1～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

極度の精神的緊張や不安をはらむ高度情報社会の時代にヒトのこころや行動の仕組みについて改めて熟考することは、将来をより豊かに生きてゆくためにも意義深いと思われる。本講義は心理学的観点から人間を理解することをめざす。

人間の社会的な場面での行動を研究するのが社会心理学であるが、それを「実験」という方法によって明らかにしようとする「実験社会心理学」で得られた興味深い知見を数多く紹介することで、心理学の面白さを味わってもらうことにしたい。

【授業計画】

- 第1講 社会心理学とは何か
- 第2講 同調行動のメカニズム
- 第3講 実験室のナチズム
- 第4講 模擬監獄実験
- 第5講 冷淡な傍観者
- 第6講 社会的手抜き
- 第7講 認知的不協和理論
- 第8講 対人交渉：要請と承諾
- 第9講 類は友を呼ぶ
- 第10講 相互魅力のゲイナーロス効果
- 第11講 情動二要因理論
- 第12講 偽薬効果と逆偽薬効果
- 第13講 実験社会心理学における倫理的問題

【評価方法】

学期末の単位認定試験の成績で評価する。

【テキスト】

社会心理学ショート・ショート－実験でとく心の謎－
(岡本浩一著 新曜社)

こころの世界

吉崎一人

1～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

人間の意識的、無意識の情報処理について、心理学からせまる。

【授業計画】

- 1. 知覚の世界（1）視覚
- 2. 知覚の世界（2）聴覚
- 3. 記憶の世界（1）二つの箱の謎
- 4. 記憶の世界（2）情報の精緻化
- 5. 記憶の世界（3）歪む記憶
- 6. 無意識の情報処理（1）潜在記憶
- 7. 無意識の情報処理（2）注意と自動的処理
- 8. 日常生活での情報処理（1）顔、人物に関する情報処理
- 9. 日常生活での情報処理（2）推論過程
- 10. 脳と心の世界（1）
- 11. 脳と心の世界（2）
- 12. 脳と心の世界（3）
- 13. テスト

【評価方法】

1回以上の心理学実験への参加、並びに調査（アンケート）への回答をノルマとする。
テストと実験、調査への参加を総合的に評価する。

【テキスト】

使用しない。毎回A4の用紙を配布する。

こころの世界

斎藤和志

1～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

極度の精神的緊張や不安をはらむ高度情報社会の時代にヒトのこころや行動の仕組みについて改めて熟考することは、将来をより豊かに生きてゆくためにも意義深いと思われる。本講義は心理学的観点から人間を理解することをめざす。

心理学（特に、社会心理学的な立場から）のテーマを取り上げ解説する予定であるが、その時々興味・関心に応じた話題も取り上げていきたい。

【授業計画】

1. 序章：心理学入門
2. ものの見え方、見方の心理（その1）
3. ものの見え方、見方の心理（その2）
4. 欲望と喜怒哀楽の心理（その1）
5. 欲望と喜怒哀楽の心理（その2）
6. 学ぶこと、考えることの心理（その1）
7. 学ぶこと、考えることの心理（その2）
8. 自己をとらえる心理（その1）
9. 自己をとらえる心理（その2）
10. 人間関係の心理（その1）
11. 人間関係の心理（その2）
12. 人間関係の心理（その3）
13. 試験

【評価方法】

試験による。

【参考書籍】

図説心理学入門（齊藤勇編 誠信書房）

ことばの世界

松本雄子

1～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

日常生活において、ことばによるコミュニケーションは、言語的な意味だけでなく、社会的な意味においても行っている。

ことばによる社会的な意味のちがいを地域、社会的階層、性差、年齢などを軸にして考えてみたい。

【授業計画】

前期は、コミュニケーションの基礎概念や理論を中心に講義する。地域、社会的階層、性別、年齢によるコミュニケーションの違い等に焦点をあてる。

後期は、前期に学んだ概念や理論をもとに、実際にグループで簡単な調査をし、発表してもらう。過去の調査研究や、様々な調査方法を説明しながら、授業時間も使って調査を進める。

【評価方法】

前期はテスト。後期は、グループ研究の成績によって評価する。

【テキスト】

特になし。必要に応じてプリントを配付する。

ことばの世界

山本雅子

1～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

日常生活において、ことばによるコミュニケーションは、言語的な意味だけでなく、社会的な意味においても行っている。

ことばによる社会的な意味のちがいを地域、社会的階層、性差、年齢などを軸にして考えてみたい。

【授業計画】

- 第1回 ウチとソト①
- 第2回 ウチとソト②
- 第3回 ことばと心的距離
- 第4回 職業とことば①
- 第5回 職業とことば②
- 第6回 性差とことば①
- 第7回 性差とことば②
- 第8回 世代差とことば①
- 第9回 世代差とことば②
- 第10回 名古屋方言と東京方言①
- 第11回 名古屋方言と東京方言②
- 第12回 ことばのはたらき

【評価方法】

出席状況・プレゼンテーション・レポートなどによる。

【テキスト】

身の回りの“日本語”。日常生活で見聞きする“日本語”に対してたえずアンテナをはっておくこと。

ビジネスの世界

藤井正志

1～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

21世紀を迎え、いわゆる日本型雇用システムや商慣習は崩壊しつつあるが、ビジネスの世界には、企業を維持・発展させるための企業の倫理や厳しい現実がある。企業での経験をふまえ、ビジネス世界の現実を講義する。

【授業計画】

- 第1講 社会人の心構え(組織人としての意識)
 - 第2講 ♪ (組織内のコミュニケーション)
 - 第3講 ♪ (海外でのビジネス)
 - 第4講 ♪ (異文化とのコミュニケーション)
 - 第5講 主要業種の特徴(銀行・証券・保険)
 - 第6講 ♪ (商社・マスコミ)
 - 第7講 ♪ (製造業・公務員)
 - 第8講 ♪ (シンクタンク他)
 - 第9講 経済金融用語・解説(日本版ビッグバン)
 - 第10講 ♪ (グローバル・スタンダード)
 - 第11講 ♪ (コホート・カパナス)
 - 第12講 ♪ (デリバティブ)
- 経済金融用語・解説で取上げるテーマは、変更されることがあります。

【評価方法】

出席状況とレポートの成績によって総合的に評価する。

【テキスト】

使用しない。

ビジネスの世界

真田幸光

1～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

21世紀を迎え、いわゆる日本型雇用システムや商慣習は崩壊しつつあるが、ビジネスの世界には、企業を維持・発展させるための企業の倫理や厳しい現実がある。企業での経験をふまえ、ビジネス世界の現実を講義する。

【授業計画】

- 第1回 年間計画指示・オリエンテーション
- 第2回 「働く」ことの意義
- 第3回 日本経済概況
- 第4回 米国経済概況
- 第5回 欧州経済概況
- 第6回 アジア経済概況
- 第7回 国際金融ビジネス
- 第8回 国内金融ビジネス
- 第9回 商社ビジネス
- 第10回 製造業ビジネス
- 第11回 通信とビジネス
- 第12回 試験
- 第13回 試験解説

【評価方法】

単位認定試験の成績による。

【テキスト】

授業中に配布する。

メンタルヘルス

江口昇勇

1～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

今、子どもから大人まで多くの人が心を病んでいるといわれる。心の病は少年期や青年期特有のものもあれば、時代や社会的要因によるものもある。講義では臨床的事例にふれながらメンタルヘルスについて考える。

【授業計画】

- 1) 事例からこころの不思議と健康を考えること、事例の取り扱いについて。
- 2) 児童期のメンタルヘルス児童期の発達課題と精神病理
- 3) ヒステリー性失立失歩を呈した少年の事例から
- 4) 思春期のメンタルヘルス；思春期の発達課題、性衝動との出会い－グリム童話「かえるの王様」より－
- 5) 箱庭療法により思春期危機を乗り越えた事例
- 6) 青年期におけるメンタルヘルス；同一性拡散の危機
- 7) 夢分析における同一性獲得の事例
- 8) 影の問題、影への気づき－自分の内なる黒い兄弟の存在、二重人格－
- 9) 共依存の精神病理、虐待、いじめ、ダブルバインドの深層グリム童話「猫とねずみとおともだち」から
- 10) 女性性と母性性獲得の困難さ－グレート・マザーとの直面化－
- 11) 成人期のメンタルヘルス；自分を引き受けるということ－ガン告知を引き受けるまで－
- 12) 老年期のメンタルヘルス；「障害者元型と個性化－自己実現の厳しい道－」
- 13) まとめ

【評価方法】

レポート課題の成績で評価する。課題レポート以外にも講義に関するレポートやコメントを自発的に提出する受講生が毎年いるが、それらは積極的な受講の態度として評価し、内容のレベルが高いものは講義で紹介する。また受講態度の悪さは当然、成績評価に直結する。

【テキスト】

授業において、随時、資料を配布する。

【参考書籍】

なし。

メンタルヘルス

二宮 昭

1～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

今、子どもから大人まで多くの人が心を病んでいるといわれます。心の病は少年期や青年期特有のものもあれば、時代や社会的要因によるものもあります。臨床的事例にふれながらメンタルヘルスについて考えます。

【授業計画】

1. 健常と障害（正常と異常）ということについて
 - 1) 健常（正常）とは？ 障害（異常）とは？
 - 2) 「障害者」とは？
 - 3) 「障害者」の受け入れ
2. 「こころ」と「からだ」
 - 1) 世界を捉える場としての「からだ」
 - 2) 現代における「こころ」と「からだ」の問題－「からだ」から切り離されてしまった「こころ」
 - 3) 臨床心理学的視点からの「からだ」の捉え直し
3. 現代人とストレス
 - 1) ストレスとは？
 - 2) ストレスの処理－リラクゼーション

授業は通常の講義形式で行うが、場合によっては実際のリラクゼーションのやり方などの体験実習を行うこともある。

【評価方法】

出席状況およびレポートによる。

【テキスト】

使用しない。適時参考資料を配付する。

メンタルヘルス

西出隆紀

1～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

今、子どもから大人まで多くの人が心を病んでいるといわれます。心の病は少年期や青年期特有のものもあれば、時代や社会的要因によるものもあります。臨床的事例にふれながらメンタルヘルスについて考えます。

【授業計画】

- 第1回 心の正常と異常
- 第2～3回 心の発達と精神的健康
- 第4回 自分を見つめる
- 第5回～10回 青年期の心の問題
 - 家族関係と不登校
 - 食の病理－拒食と過食
 - 思春期妄想症
 - 対人恐怖
 - 強迫神経症
 - パニック発作
 - 感情の障害
 - 精神分裂病
- 第11回～13回 心の援助・治療

【評価方法】

成績は出欠を考慮してテストで評価する。テストは手書きのノートのみ持ち込み可（コピーを持ち込んだ場合は失格）とするので、毎回出席しないとテストの時に慌てることになる。

【テキスト】

使用テキストなし。講義中に参考文献を紹介。

メンタルヘルス

古井 景

1～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

今、子どもから大人まで多くの人が心を病んでいるといわれます。心の病は少年期や青年期特有のものもあれば、時代や社会的要因によるものもあります。臨床的事例にふれながらメンタルヘルスについて考えます。

【授業計画】

資料配付により講義をすすめていきます。

力動精神医学の立場から、心の働き（自我機能）に目を向け、“心の健康と不健康”について学んでいきます。また、世界保健機関（WHO）の作成した疾病分類「ICD-10」第V章「精神および行動の障害」、および、アメリカ精神医学会の疾病分類「DSM-IV」を紹介し、これに力動精神医学的理解を加えていきます。

I. 精神力動

自我の構造モデルと自我機能・防衛機制

人格構造

情緒発達理論

II. 精神症状学

意識の障害

記憶の障害

幻覚・妄想

精神運動障害

III. ICD-10・DSM-IV

薬物依存障害

精神分裂病、分裂病様障害および妄想性障害

気分（感情）障害

不安障害、身体表現性障害、解離性障害

摂食障害

適応障害

人格障害

IV. その他

【評価方法】

学期末の試験、または、レポートによって判定します。

【テキスト】

使用せず、参考図書はその都度提示します。

暮らしの経済

森下允之

1～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

生活に密着した経済学の入門。特に今や経済社会もグローバル化しており、国際経済の流れや仕組みにもふれ、日常化している経済用語を解説する。

【授業計画】

第1講 国民所得統計

第2講 バブル崩壊と平成不況

第3講 財政の現状と課題

第4講 金融の基礎知識（銀行、金融市場）

第5講 同上（金融政策、金融自由化）

第6講 貿易と国際収支

第7講 為替相場

第8講 世界各国、地域の経済（アジア、中東）

第9講 同上（ヨーロッパ、アフリカ、南北アメリカ）

第10講 アジア通貨危機

第11講 欧州統一通貨ユーロ

第12講 地域経済統合vsグローバリズム

第13講 単位認定試験

【評価方法】

出席状況、小テスト、単位認定試験の成績によって総合的に評価する。

【テキスト】

教材はプリントを配布する。復習のためときどき「小テストを行う。

暮らしの経済

村上貴美子

1～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

生活に密着した経済学の入門。特に今や経済社会もグローバル化しており、国際経済の流れや仕組みにもふれ、日常化している経済用語を解説する。

【授業計画】

- 第1回 最近の経済状況と用語解説
生活と経済の関わり
- 第2回 消費者の権利と意思決定
- 第3回 価値観と消費の多様化
- 第4回 生活をとりまく環境変化
- 第5回 本当の「豊かさ」とは何だろうか
- 第6回 「労働」と言う言葉はなぜキライですか
- 第7回 教育と経済
- 第8回 サービスとはタダ（無料）のことでしょうか
- 第9回 余暇の為に働く
- 第10回 住宅とまちづくり
- 第11回 国際化と生活
- 第12回 未来を考える

【評価方法】

出席状況と単位認定試験の成績によって総合的に評価する。

【参考書籍】

生活の経済学（井原哲夫著 東洋経済新報社）
賢い消費者－アメリカの消費者教育の教科書
（J.Gボニス、R.ボニスター共著 小林紀之・宮原佑弘
監訳 家政教育社）

外国の言語と文化1

角田達朗

1～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

中国語の初歩を学ぶとともに中国の風土・歴史・文化について理解を深める。

【授業計画】

近年、中国映画は国際的な賞を獲得する作品が続出し、注目を集めている。この授業では、中国映画の中から、主として現代小説を原作とする作品を、題材の年代順に鑑賞することによって、中国の近現代史についての理解を深めて行く。中国の近現代は、辛亥革命・抗日戦争・文化大革命などに象徴される動乱の時代であった。中国映画がこのような動乱の時代をいかに描いているかを、映像表現についての分析も織りまぜながら検証する。

同時に、映画の中の「生きた中国語」に触れることを通じて、中国語に親しみ、言語についての理解を深める契機としたい。

- 第1～2回 張芸謀『紅いコーリャン』
（原作 莫言『紅高粱一族』）
- 第3～4回 張芸謀『菊豆くチュイトウ』
（原作 劉恒『菊豆』）
- 第5～6回 陳凱歌『黄色い大地』
（原作 柯蘭『深谷回声』）
- 第7～9回 謝晋『芙蓉鎮』
（原作 古華『芙蓉鎮』）
- 第10～11回 陳凱歌『子供たちの王様』
（原作 阿城『孩子王』）
- 第12～13回 孫周『心の香り』
（原作なし）

【評価方法】

レポート

*受講状況によっては、試験に変更することもある。

【テキスト】

なし。

*授業時に鑑賞する映画が、テキストに相当する。

【参考書籍】

随時紹介する。

外国の言語と文化 1

張 勤

1~4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

中国語の初歩を学ぶとともに中国の風土・歴史・文化について理解を深める。

【授業計画】

- 第1回 現代中国と現代中国語とは
中国語初歩コーナー：声をかけたいとき
- 第2回 中国語の方言と少数民族の言葉
中国語初歩コーナー：感謝をしたとき
- 第3回 中国語の挨拶
中国語初歩コーナー：何かを聞きたいとき
- 第4回 中国人の名前
中国語初歩コーナー：好きな気持ちを表したいとき
- 第5回 食べ物と中国語
中国語初歩コーナー：いやな気持ちを示したいとき
- 第6回 中国語の言葉遊び
中国語初歩コーナー：言い方が分からないとき
- 第7回 中国語と日本語の違い
中国語初歩コーナー：何かしてもらいたいとき
- 第8回 中国語の歴史
中国語初歩コーナー：何かさせてもらいたいとき
- 第9回 中国語の文学
中国語初歩コーナー：私はそう思わないよと言いた
いとき
- 第10回 中国語の文字
中国語初歩コーナー：信じられない気持ちを表した
いとき
- 第11回 中国語の外来語
中国語初歩コーナー：そうしようと提案したいとき
- 第12回 中国語の現実
中国語初歩コーナー：そうしたいと言いたいとき

【評価方法】

出席状況とレポートの成績によって総合的に評価する。

【テキスト】

講義中に指示する。

【参考書籍】

講義中に指示する。

外国の言語と文化 2

伊 大辰

1~4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

韓国・朝鮮語の初歩を学ぶとともに、朝鮮半島の風土・歴史・文化について理解を深める。

【授業計画】

- 第1回 訓民正音について
- 第2回 ハングルの文字と発音（1）
- 第3回 ハングルの文字と発音（2）
- 第4回 基本的な日常会話（1）
- 第5回 基本的な日常会話（2）
- 第6回 基本的な日常会話（3）
- 第7回 言語と文化（1）－衣・食・住
- 第8回 言語と文化（2）－社会的構造
- 第9回 言語と文化（3）－漢字語比較
- 第10回 朝鮮半島の歴史と文化
- 第11回 朝鮮通信使の意義
- 第12回 まとめ－言語表現から見た文化比較

【評価方法】

期末試験とレポート、出席率を加味して評価する。

【テキスト】

ムクゲと桜－日韓異文化コミュニケーション－（窪田守弘著 銀河文庫）
韓国・朝鮮語の教材はプリントを用意する。

【参考書籍】

韓国（金尙基監修 新潮社）
韓国と日本の比較文化論（金渙著 明石書店）

外国の言語と文化 3

杉本一直

1～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

ロシア語の初歩を学ぶとともに、ロシアの風土・歴史・文化について理解を深める。

【授業計画】

みなさん、知っていますか？日本の大学になかでロシア語を学ぶことができるところは本当に少ないんですよ。ということは、「ロシア語がわかる人」は日本ではとても希少価値があるのです！「芸術の国ロシア」の言葉を今すぐ学んでみませんか？映画の鑑賞会もありますから、楽しみにしててくださいね。

初級のわかりやすい辞書を「テキスト」として授業を進めてきます。まず、例の不思議な形をしたキリル文字を覚え、発音を覚え、そのあとは辞書で遊び(?)ながら「使える単語」「使えるフレーズ」を集めていきます。たくさんたくさん集めたら、あれ、いつのまにかロシア語の達人！

辞書以外に補助教材として会話用プリントを配布します。学ぶ項目は以下のとおりです。

- a. キリル文字と発音
- b. 大きな声であいさつしよう
- c. 買い物に行ってみよう
- d. 乗り物に乗ろう
- f. おなかがすいたら…
- g. 自分について話してみよう

【評価方法】

定期試験の成績による。

【テキスト】

「パスポートロシア語辞典」(白水社)

外国の言語と文化 3

丹邊文彦

1～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

ロシア語の初歩を学ぶとともに、ロシアの風土・歴史・文化について理解を深める。

1. ロシア語文字への習熟
2. ロシア語発音およびリズム感の養成
3. テキスト(本文)朗読の習慣づけ
4. ロシア民謡などの鑑賞により、風土・歴史・文化を理解させる

【授業計画】

(前期)

第1回 年間計画ガイダンス

第2～5回 下記教科書を使用してロシア語の初歩的
法、表現、語いを習得させる

第6回 筆記体

第7～12回 5回までの学習をさらに断続・発展させる
期末試験実施

(後期)

第1～7回 『ロシア語へのパスポート』(白水社)終
了

第8～12回 Potapova “Learning Russian”(絶版のため
プリント使用)のテキストの講読、日常表
現の暗誦

期末試験実施

【評価方法】

期末試験成績、日常点(ことに朗読を重視)、出席点
の総合評価。

【テキスト】

(前期)『ロシア語へのパスポート』(白水社)

(後期)同上テキストの継続; “Learning Russian”の講
読

【参考書籍】

東郷正延『ロシア語のすすめ』(講談社現代新書95)

外国の言語と文化 4

藤井たぎる

1～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

ドイツ語の初歩を学ぶとともに、ドイツの風土・歴史・文化について理解を深める。

【授業計画】

ドイツ・オーストリアの生活文化とその言語。現代のドイツ・オーストリア事情の一端を紹介しながら、ドイツ・オーストリアのいろいろな「顔」を発見してもらう。具体的には下記のような日常的なテーマをもとに、ドイツ・オーストリアの事情を日本のそれと比較しながら、両者の類似性と差異をみてゆく。また初歩的なドイツ語会話の練習もあわせておこないたい。

- 1) ドイツ・オーストリアの風土
- 2) ドイツ・オーストリアの近現代史
- 3) ドイツ・オーストリアのマス・メディア
- 4) ドイツ・オーストリアの衣食住
- 5) ドイツ・オーストリアの消費生活
- 6) ドイツ・オーストリアの芸術文化

講義形式ではあるが、授業中にいろいろ意見を求め、各自の考えるところを発言してもらう。必要に応じてプリントを配布する。

【評価方法】

筆記試験。

【テキスト】

適宜、プリントを配布する。

外国の言語と文化 5

清水ベアトリックス

1～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

ヨーロッパ文明の発祥の国フランスについての理解を深めることはヨーロッパ文化を理解するうえで重要である。フランス語とフランス文化の概要を学ぶことにより、フランスへの関心と理解への動機づけとしたい。

前期

このコースは、受講者の興味を考慮に入れ授業内容を考えたい。現代フランス社会と日常使用されているフランス語を学ぶとともに、担当講師（フランス人）の在日体験談を交え、フランス・日本両国を言語・文化の面から比較検討する。

とにかく、下記のテーマで行う。

- フランスの地理
- フランスの建国
- フランス国民の起源
- フランスの社会問題
- フランスの家族
- 教育制度
- フランスとヨーロッパ
- フランス人と余暇など。

後期

前期と同じ。

【授業計画】

毎回、担当教員が指定したテキストの章について議論し、テレビや新聞で報道されたフランスに関する時事問題の中で特に学生の関心を引くようなものを選んで、解説したい。

【評価方法】

定期試験を重視するが、宿題（テキストや映画についての感想文）、出席率、受講態度なども考慮に入れる。

【テキスト】

変貌するフランス（西永良成 日本放送出版協会）

外国の言語と文化 6

木下 登

1～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

スペイン語の初歩を学ぶとともに、スペインの風土・歴史・文化について理解を深める。

【授業計画】

1. スペイン語とスペイン語圏の世界
2. スペインの歴史と文化の特色
3. スペイン語を学びましょう
4. アルファベット、音節、アクセント
5. 名詞の性数、定冠詞と不定冠詞
6. 人称代名詞、serとestar動詞、hay
7. 否定文、疑問文、関係詞、感嘆文
8. 形容詞（性数の一致）、指示形容詞、所有形容詞
9. 動詞（直説法現在）
10. 再帰動詞
11. 動詞（直説法現在完了）、過去分詞と現在分詞
12. 動詞（直説法過去：点過去と線過去）
13. 動詞（直説法未来と過去未来）
14. 動詞（直説法大過去）
15. 動詞（命令法）、無人称文
16. まとめ

【評価方法】

筆記試験に出席状況を加味して評価。

【テキスト】

授業中に指示します。

文章表現論

加藤孝男

1～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

「自分にしか書けないことを誰にもわかるように書く」ことを目標にして、文章表現に必要な基本的事項を実践例をふまえながら学習する。

【授業計画】

- 第1講 はじめに
- 2～3 日記について
- 4～6 名文を読む
- 7～8 表現のレトリック
- 9～10 芸術的表現の手法
- 11～12 表現の実践
- 13～14 まとめ

【評価方法】

試験と提出物（表現の実践）との両方で評価します。また、出席・平常点も重視。

【テキスト】

第一回目の講義で指示します。

文章表現論

青木 健

1～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

「自分にしか書けないことを誰にもわかるように書く」ことを目標にして、文章表現に必要な基本的事項を実践例をふまえながら学習する。

【授業計画】

第1回 人は言葉の織物である。(伝達と表現Ⅰ)

第2回 現実言葉の織物である。(伝達と表現Ⅱ)

第3回～6回

例文をテキストに、文章の構成、語法、リズム、形容など具体的に講義。

第7回～12回

課題を3回提出し、短文(2～5枚、400字詰)を書かせ、そこから文章表現についての共通の問題点を抽出する。

【評価方法】

出席状況、3回の提出原稿などを基準として評価する。

【テキスト】

当方にて用意します。参考書籍は授業中に数冊指示します。

比較文化

文 嬉眞

1～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

世界にはさまざまな国家や民族があり、多様な文化が存在する。文化人類学的な見地から外国の文化や伝統・風俗を学ぶ。

【授業計画】

本講義では、主に「日本の文化」に焦点を当て考えることにする。特に、外国人(見る側)が日本という異文化(見られる側の文化)と直接接触した際、どのように評価(表現方法)・認識したかを考察し、その考察からなぜそのような評価・認識があらわれるかを分析する。そして、得られた分析によって外国人(見る側)がもつ「文化」を再分析する。すなわち、外国人(見る側)が「異文化」(見られる側の文化)を見るまなざしに関して考察することによって、自文化(見る側の文化)を再認識するだろう。

1. 異文化(異民族)との理解・誤解に関する一般的な概論
2. 異文化交流史における本講義の位置付け
3. 前近代の外国人(見る側)における「日本認識」および外国人(見る側)がもつ「文化」に関する考察
4. 近・現代の外国人(見る側)における「日本認識」および外国人(見る側)がもつ「文化」に関する考察

【評価方法】

1. 出席、受講態度、講義時の課題等で全体の50%を評価する。
2. 学期末レポートで残る50%を評価する。

【テキスト】

授業中に指示する。

【参考書籍】

授業中に指示する。

比較文化

田所光男

1～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

世界にはさまざまな国家や民族があり、多様な文化が存在する。文化人類学的な見地から外国の文化や伝統・風俗を学ぶ。

【授業計画】

ワインとか料理、香水にモード、もう少しアカデミック(?)にルーブルとかオルセー... 皆さんのフランス・イメージはどうでしょうか。この授業では、異文化・異民族との関係の中にあるフランスを眺めて行きます。恐らくこれまでのフランス・イメージとはかなり違うフランスの姿にぶつかることになると思います。フランスを少し再発見してみる、ことができるのではないのでしょうか。また、フランスばかりではなく、現代世界に生じている様々な文化摩擦・民族衝突の問題を理解して行くために必要な、いくらかの知的枠組みを自分の中に取り入れることも可能だと思います。

具体的には、まず、異文化・異民族の接触・交渉・衝突についての概論を行います(5回)。次に、フランスの内部にある異文化接触の問題として、ユダヤ人、特に、ジェノサイド以降の、戦後生まれの世代の動向に注目します(4回)。最後に、フランス人による非ヨーロッパ世界の表象を検討します。特に、南太平洋のタヒチを取り上げる予定です(4回)。

こうした検討を通して、同化、植民地化、移民、ヨーロッパ中心主義、反ヨーロッパ主義、文化相対主義、普遍主義、差異への権利、多文化主義など、様々な問題を考えて行きます。

【評価方法】

授業への積極的な参加、及びレポート(大小二回を予定しています)。

【テキスト】

異文化への視線(佐々木英昭編著 名古屋大学出版会)
その他、適宜プリントを配布します。

現代芸術 1

天野節子

1～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

現代芸術としての「書道」の意義と意味を問い、名筆の鑑賞と書写の実技をする。

【授業計画】

- 第1回 年間の授業計画として使用する教本の鑑賞の方法を説明する。
- 第2回～10回 書写の重要なポイントの説明をしながら実技をする。一人一人について添作指導をする。
- 第11回～最終回 課題に有名な作家又は詩人等の美しい文章等を各自に表現をして作品を作成させる。

【評価方法】

出席状況・平常点・課題などによる。

【テキスト】

ペン字テキスト・基本編・実務編・応用編(氏田菖軒著 書道教育社)

現代芸術 1

森美恵子

1~4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

現代芸術としての「書道」の意義と意味を問い、名筆の鑑賞と書写の実技をする。

【授業計画】

楷書・行書・草書の古法帖を拡大臨書コピーし、その手本に基づき書作した清書作品を提出する。

仮名は、若菜帖の全臨にて習得する。

書写中心であるが、中国の書論に則り、古法帖の概略等も講ずる。

【評価方法】

授業内で提出する平素の成績物及び出席状況等にて総合的に評価する。

【テキスト】

書の鑑賞と学び方（上田桑鳩 教育図書研究会）
若菜帖（鳩居堂）

現代芸術 1

小川晃治

1~4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

現代芸術としての「書道」の意義と意味を問い、名筆の鑑賞と書写の実技をする。

各時代に於ける日本の書美の変相を、他の美術と文学と対比、関連させて探求させる。そして現代社会の中にあつて、書のあり方、価値感を考察し、また生活の中に於ける書文化の諸相を観る。漢字から「かな」を創造した日本人の美意識を追求する。

- 他の美術、文学を対比して、書の美学を学ぶ。
- 基本的書技を実習する。楷、行、草、篆、隸書、かなの六体を実習する。
- 日本の三筆、三蹟の古筆の鑑賞、臨書をする。
- 基本的なかなの実技と、古筆を鑑賞する。
- 漢字の細字の実技の実習をする。王羲之の蘭亭叙を臨書させる。
- 和漢の書道史を通じ、書の美の概要を学ぶ。
- 奈良、平安時代の文学、書に於ける、漢字の意義、かなの創成、大成を通じ、上代文化の成立を学ぶ。
- 鎌倉時代に於ける禅文化を墨跡にふれ、貴族文化と武家文化の対比をさせる。
- 室町、桃山時代の絵画、建築、工芸と書芸の動向を観る。また現代社会に於ける美の淵源を探る。
- 江戸時代に於ける庶民文化隆盛の中的美と、和様、唐様の書の諸相を学ぶ。
- 現代社会に於ける、文字、書文化の社会生活の中での意義を考えさせる。

【授業計画】

講義、実技を一日の時間内に進める。前後期共通の為、各時代の書美、他の美術、文学の対比についての講義は概論とする。現代社会に於ける書美と、日本人の美意識を探求することを基準として進める。

【評価方法】

レポート三種、実技作品、学習態度、出欠状況などによる。

【テキスト】

担当者の小文、古典法帖。

現代芸術 2

志水博子

1～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

現代芸術としての「音楽」の意義と意味を問い、名曲を鑑賞し、歌唱をする。

【授業計画】

- 第1回 世界の名演奏家によるオペラのビデオ鑑賞
- 第2回 声の出るしくみ 講義と演習
- 第3回 やさしい曲で楽しくハーモニー演習
- 第4回 外国の歌曲を原語でうたう
- 第5回 名演奏家の演奏をビデオ鑑賞
- 第6回 名演奏家の演奏をビデオ鑑賞
- 第7回 実技演奏発表のリハーサル
- 第8回 (選曲や演奏法のアドバイス)
- 第9回 混声合唱練習
- 第10回 混声合唱練習
- 第11回 演奏会形式による実技発表
- 第12回 演奏会形式による実技発表

【評価方法】

出席状況、実技演奏—各自の得意とする楽器又は歌唱例、独唱、アンサンブル、連弾、カラオケ等。

【テキスト】

プリント配布。

現代芸術 2

浅田まり子

1～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

現代芸術としての「音楽」の意義と意味を問い、名曲を鑑賞し、歌唱をする。

【授業計画】

- 第1講～第4講
 - a. 音や曲の聴き分けや効用について
 - b. 発声のしくみと呼吸法
 - c. 音楽理論を活用して読譜し、歌詞の言葉やフレーズを考えながらユニゾンで歌唱
- 第5講～第8講
 - a. リズムの把握と音によるイメージトレーニング
 - b. 腹筋のトレーニング
 - c. 和声、形式などを理解しながら合唱し、グループレッスン
- 第9講～第12講
 - a. 名曲の歴史的背景からの解釈と表現
 - b. 声を楽器として育てるトレーニング
 - c. 表現の工夫や創作をして個人またはグループで演奏を発表 (楽器を含む)

毎回、それぞれの講義では、鑑賞、発声、歌唱に重点をおいて進めていく。

【評価方法】

実技、課題レポート、出席状況などで評価。

【テキスト】

MUSIK (浅田まり子編 カワイ出版)

現代芸術 3

横山萬里

1～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

現代芸術としての「美術」の意義と意味を問い、名画を鑑賞し、作品を作る。

【授業計画】

国宝に指定されている古い絵画あるいは日本の伝統的な絵巻のなかから鳥獣人物戯画をとりあげて日本画の表現、色彩方法を講義する。

また、授業の中で名古屋市内の美術館を訪問し、古画現代画にふれる。

- ・日本画の特徴
- ・鳥獣人物戯画の説明
- ・鳥獣人物戯画における線の強弱と動き
- ・日本画の模写について
- ・日本画の鑑賞

博物館入場料 600円程

美術館入場料 500円程

筆ペン 500円

費用 計 1,600円程度

【評価方法】

出席状況と感想文レポート（6回提出）を総合的に評価。

【テキスト】

日本の絵巻6「鳥獣人物戯画」

コピーした図を見る。

【参考書籍】

なし。

現代芸術 3

川口 泉

1～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

現代芸術としての「美術」の意義と意味を問い、名画を鑑賞し、作品を作る。特に現代美術には様々な分野がある。絵画・彫刻・工芸・デザイン・書・鑑賞のほかに、最近では映像・コンピューター・建築・環境・都市計画などまでも美術の分野として考えられるようになった。

本講ではそれらの造形美術の概観、実技（課題制作）を通して基礎的な絵画表現・工芸表現・デザイン表現などの創造的能力を養う。（テキストは使用せず。）

〈前期〉

●課題1. 紙による立体造形

われわれの身のまわりには様々な素材があるが、その中でも一番身近で何気なく使っている「紙」から立体造形作品をつくる。

●課題2. 直定規とコンパスを使った平面構成

単紙な構成道具である「直定規とコンパス」を使って画面を平面構成する。

〈後期〉

●課題1. 風景写生

キャンパス内の建物および植物などを、忠実に写生する。

●課題2. 切絵からパズルへ

幾何学的な基本形態である、正方形、長方形、正三角形、円の色紙を直線または曲線で切り、各部品を再構成することによって、具象的な形態をつくる。

●課題3. 一切文字

正方形の紙を何回折ってもよいが、一回だけ直線で切る。（その直線に並行にある幅を持たせて切る。）それを広げるとアルファベット、数字、カタカナの全部および漢字の一部ができる。

【授業計画】

各週とも机間巡視・プロセスのチェックにより、個別に指導・助言をする。

【評価方法】

各課題の制作過程・成果、出欠席、受講態度等により総合して評価する。

女性学・男性学

伊藤公雄

集中 1～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

現代日本社会におけるジェンダー問題について、おもに男性学の視点から考察を加える。

はじめに ジェンダー論入門

1. 女性問題の発展
2. 現代日本の女性問題
3. 男性問題の時代
4. 作られる「男らしさ」「女らしさ」
5. 体験の主夫論／働く主夫の生活と意見
6. ニッポンのお父さん／男性の育児をめぐる
7. 男性学と男性運動の展開
8. 試験

<参考図書> 伊藤公雄・牟田和恵編『ジェンダーで学ぶ社会学』（世界思想社）

【授業計画】

講義を中心に、ビデオ教材なども使用しつつ進める予定である。

【評価方法】

試験によって成績評価を行う。

【テキスト】

男性学入門（伊藤公雄 作品社 1,680円）

女性学・男性学

伊田久美子

集中 1～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

「フェミニスト」といえば、かつての日本では「女にやさしい男」のことだと思われていたが、今日では「男を敵視する怖い女」というパターン化された偏見のイメージがつきまとっている。この講義では多様に発展し、ゆたかな可能性を持つフェミニズムの実像を概観し、今日の私たちにとって身近な諸問題に触れながら、フェミニズムの意義を明らかにしたい。

フェミニズムの起源

リベラル・フェミニズム

社会主義女性解放論

ラディカル・フェミニズム

マルクス主義フェミニズム

家事労働論

エコロジカル・フェミニズム

その他の様々なフェミニズム

国連を中心とする女性問題への取組とフェミニズム

開発と女性問題

女性の人権

日本のフェミニズム

【授業計画】

毎回配布するプリント等により講義、解説する。ビデオ教材を随時使用する。

【評価方法】

最終授業時の筆記試験により評価する。

【テキスト】

フェミニズム入門（大越愛子 ちくま新書）

【参考書籍】

ワードマップ・フェミニズム（江原由美子、金井淑子編 新曜社）

女性学・男性学

井深淳子

1～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

男女についての定説化した知識、それによって作り出された役割、人格の内部に及ぶ性別化の影響とその結果生まれる病理などについて、さまざまな事例や理論を紹介し検討する。

本授業を通して、私達の生活を、女性学・男性学から点検し、そこに「どういう困難があり、どういう課題があるのかを具体的に知ること」をめざす。

【授業計画】

- 第1回 はじめに
- 第2～4回 家族問題
- 第5～7回 女性が働き続けることについて
- 第8～10回 子育て
- 第11～13回 現代の病巣

【評価方法】

期末試験、講義時に行う課題や、受講態度等、総合的に評価する。

【テキスト】

学んでみたい女性学（中田照子他著 ミネルヴァ書房）
テキストとともに、講義中に適宜配布する関連資料を用いてすすめる。

エコロジー

大島光昭

1～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

今や地球規模で自然の環境破壊が進んでいる。自然を保護し、環境を守る観点から地球のエコロジーを考える。

エコロジーとは、生物とそれを取りまく外界すなわち環境との関係についての総合科学である。生物の生存は均衡のとれた有機的および無機的環境の上に成り立っており、均衡の崩壊は人類を含む生物界の未来を危うくする。人類の生活および生産活動はこれらの均衡を乱して多くの生物の生存を脅かしつつあり、地球の未来にさまざまな問題を投げかけている。それらの状況について解説するとともに、今後どうあるべきかについて問題提起を行う。

【授業計画】

- 地球環境と生物
 - 生態学的遷移と地質学的遷移
 - 物質の循環
 - 進化と適応
 - 生物の繁殖戦略
- 自然環境の保護と育成
 - 陸地環境
 - 水域環境
 - 流域圏環境
- 化石燃料と環境
 - 地球の温暖化
 - 酸性雨
 - 光化学オキシダント
 - 浮遊粉塵
- 化学物質と環境
 - オゾン層の破壊
 - 生物濃縮と生態系の攪乱
 - ヒトの健康被害

【評価方法】

出席状況と試験成績をもとに評価する。

【参考書籍】

環境白書（環境庁編）

伝統文化

林 和利

1～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

国際化が進み、さまざまな異文化にふれる機会も多くなったが、日本の伝統文化にも目を向けることが大切だ。伝統文化の中でも芸能・演劇を中心に講義する。舞楽・能・狂言・歌舞伎・文楽など、実際の舞台をビデオ等で確認しつつ、その歴史や演技・作品などについて講じる。

【授業計画】

1. 授業の目的と方針を提示。
2. 日本芸能演劇史概説。
3. 芸能の発生について
4. 神楽について
5. 舞楽について
6. 能について
7. 狂言について
8. 歌舞伎について
9. 文楽について

【評価方法】

出席状況と単位認定試験により総合的に評価する。

【テキスト】

日本文化論序説（林和利著 青山社）

アジアの生活と文化

楊 衛平

1～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

日本は生活も文化もアジアの影響を強く受けている。特に日本と歴史的にも関係の深い近隣の国を中心にアジアの生活と文化を講義する。

【授業計画】

1. 中国の少数民族の構成
2. 仏教と道教の相異
3. 中国の年中行事
4. 南北食文化の比較
5. 中医学と西洋医学
6. 気の文化（気功）
7. 飲茶の文化と歴史
8. 伝統武術と健康
9. 少数民族の音楽
10. 少数民族の服装
11. 中国人の姓の色々
12. 中国の名勝物語
13. 中国人と日本人の考え方の相異

【評価方法】

出席状況とレポートによって総合的に評価する。

【テキスト】

プリント配布。

生命の科学

富田 武

1～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

動物の生命の誕生、生体を構成する物質や生殖と遺伝の仕組みなど、動物の生命の維持のメカニズムについて学ぶ。

【授業計画】

- 第1講 生命の科学序説
- 第2講 生命誕生と進化
- 第3講 動物細胞の分化
- 第4講 動物体を構成する物質
- 第5講 動物の生殖と発生
- 第6講 動物の遺伝（1）
- 第7講 動物の遺伝（2）
- 第8講 動物の生命維持（1）
- 第9講 動物の生命維持（2）
- 第10講 脳の進化、成長、老化
- 第11講 動物の生殖現象操作
- 第12講 動物の遺伝現象操作
- 第13講 単位認定試験

【評価方法】

出席状況と単位認定試験で総合的に評価する。

【参考書籍】

生命科学への誘い（大島泰郎他編 東京化学同人）
生物小事典（丘英通、岩波洋造監修 三省堂）

食品の科学

千葉善根

1～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

基礎的な科学と食品の科学との関わり、食品のもつ機能や性質、貯蔵などを学び、食品と酵素の関係や化学物質としての理解を深め、多様化した食生活や加工食品の氾濫の中で生活に役立つ講義をする。

【授業計画】

1. 現代食生活の問題点
食生活の変化と食糧資源について。
2. 糖質と食品
デンプンの機能と利用、食物せんい、最近の甘味料について。
3. たんぱく質と食品
変性と加工・調理との関係、加工食品と食物性たんぱく質の利用。
4. 脂質と食品
脂肪の性質と脂肪酸、油脂の劣化、乳化と乳化食品。
5. 無機質と食品
骨粗鬆症等。
6. ビタミン
食品加工・調理との関係、生物学的触媒としての働き。
7. 発酵食品
食品と酵素・微生物との関係。

【評価方法】

定期試験にて評価。

【テキスト】

使用しない（プリント配布）。

生活の化学

八代 有

1～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

健康で豊かな生活を維持していくには、化学の知識と活用は必要不可欠からざるものである。身近な生活に必要な化学の知識と関係について事例をあげて学ぶ。

【授業計画】

1. 栄養のバランスと健康増進を考える
2. 食品成分の化学と食品の安全性
3. ビタミンの化学的性質と病気のしくみ
4. 生活習慣の改善と疾病予防
5. 薬についての正しい認識
6. 薬が生体に影響を与える因子
7. 尿はからだの健康情報源
8. 食べ物および体内における酵素の働き
9. 話題となった環境公害
10. 生活のなかでの不思議

【評価方法】

テストおよび出席状況により総合的に判定する。

【テキスト】

テキスト使用せず、プリントを適宜配布する。

生き物の世界 1

服部 一三

1～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

地球上には多種多様な植物が生存しているが、これらの植物は食物連鎖の基本を成すものである。植物の生物界における位置付けや植物の成育地について紹介し、植物と人間との関わりについて認識を深める。

【授業計画】

- 第1回 1. 生物界の分類
2. 生物の進化
- 第2～6回 3. 植物と人の関わり
1) 農耕の始まり
2) 世界の農耕文化
3) 日本農耕文化の起源と発展
4. 人が手を加えた植物—作物
1) 作物とは？
2) 世界の作物の起源
- 第7～8回 5. 作物改良の原理と方法
1) 作物改良の原理
(1) メンデルの法則—遺伝学
(2) 遺伝の物質的基礎
- 第9回
- 第10回 2) 作物の改良方法
- 第11～12回 6. バイオテクノロジー
1) バイオテクノロジーとは？
2) 作物の改良とバイオテクノロジー
(1) 細胞・組織培養
(2) 遺伝子操作
(3) バイオテクノロジーで得られた作物をいかに考えるか？
(1) 倫理
(2) 安全性

【評価方法】

受講資格についてはあえて問わないが、成績評価には出席点を重視し、単位認定試験の成績によって総合的に評価する。

【参考書籍】

下記の書籍を参考書籍として使用するが、テキストなどを作成して講義を進めるので、特に買い求める必要はない。

平田豊著『生物的自然と人間』開成出版

生き物の世界 2

石崎宏矩

1~4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

身近に見られる昆虫や鳥などの生態のメカニズムを解説し、生命の進化について学び、動物への関心といたわりを深めたい。

【授業計画】

次のような項目について講義する。○カイコはどうしてクワシか食べないのか○モンシロチョウの雄はどのようにして雌を見分けるか○生物がもっている時計（生物時計）とはどういうものか、時差ボケはどうして起こるか○モンシロチョウの蛹はどのようにして寒い冬をのりこえるか○アヒルのひなは生まれて初めて見た生き物を親として認識し、終生変わらない（刷り込み）。刷り込みの起こる機構は？○生命が地球上に生まれてから40億年、さまざまな生物はどのようにして進化してきたのか、DNAの性質、遺伝子の突然変異、自然淘汰とは。

他に、NHKスペシャル「生命-40億年はるかな旅」他のVTRを放映し、解説を加える。

全体として、生物の進化、近未来における地球上の生命-人間を含めての危機について、正しく理解してもらえるようにつとめる。

【評価方法】

出欠、レポート、期末試験によって総合評価する。欠席した時は、友人のノートを書かせてもらって、内容を理解しておくこと。試験問題が、たまたま欠席した日の授業内容だったからといって白紙であれば、特に区別はしない。

【テキスト】

なし。

【参考書籍】

随時、授業で指示する。図書館に備えつけてあるので、自主的に勉強してほしい。

人類と宇宙

安野志津子

1~4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

宇宙観の始まり、星の生と死、地球の生成と進化など、日進月歩の宇宙の科学の課題をふまえて、人類にとっての宇宙についても考察する。

【授業計画】

一地球のまわり、太陽系、銀河系を知り、宇宙を身近に引き寄せるために-

1. 宇宙モデルの変遷
2. 太陽系を探る
3. 星の世界
4. 銀河から宇宙へ
5. 宇宙の歴史と進化
6. 宇宙の始めと未来

毎回プリントを配布し、講義を主とするがその内容を中心としたOHP、ビデオ等も利用する。また、講義に関連した質問を出してもらい次回に解答する。なお、随時ホットな話題も取り入れたい。

【評価方法】

基本的には、期末テスト（配布プリント、ノート持ち込み可）によるが、出席状況も考慮して判定する。

【テキスト】

使用しない。

【参考書籍】

- (1) 宇宙論のすべて 池内 了（新書館）
- (2) 図解雑学 天文学 二間瀬敏史（ナツメ社）
- (3) 星と宇宙の物理学読本 並木雅俊（丸善）
- (4) 図解 SPACE ATLAS 宇宙のすべてがわかる本 三品隆司・河島信樹（PHP）
- (5) 見えてきた宇宙の神秘 野本陽代（草思社）
- (6) 太陽 -その素顔と地球環境との関わり- ケネス.R.ラング著 渡辺 堯/桜井邦朋訳（シュプリンガー・フェアラーク東京）
- (7) 理科年表 国立天文台編（丸善）

数学の世界

仁科浩二郎

1～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

我々は日常、知らず知らず近代数学の成果を利用して
いる。ここでは初歩的、あるいは基本的な数学の各手法
を解説して概念を理解させたあと、各手法について応用
例を挙げて、改めてこれらの恩恵を実感する。例として
は、計算機における2進法の利用、極限值、微分の概念、
対数の利用、保険計算における確率などがある。

【授業計画】

第1回 当講義の目的と計画の提示

第2～11回

以下の各項目に1～2回をかけて解説し、実際に例
題を解く。

第12回 まとめ

いろいろな単位と換算

2進法とその利点

グラフの利用

極限値の精神

微分という操作

文字と式の活用

確率

対数を使う利点

平均の手順

【評価方法】

毎回、小プリントを配布して当日の課題を提示し、解
説によって授業の最後に答を提出できるようにする。

【テキスト】

プリントを毎回配る。

生命の倫理

加藤太喜子

1～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

現代の医学の進歩と発達によって今や人間の生命の誕
生も医学よりも倫理の問題になった。現代社会が抱えて
いる「生命」を倫理や哲学の面から考察する。この「誕
生」という場面では、人工生殖技術にまつわる倫理的問
題から人工妊娠中絶にまつわる倫理的問題まで、様々な
問題が広がっている。代理母・出生前診断といった技術
を通して、私たちが本当に考えるべきは何かを共に探つ
て行きたい。

【授業計画】

次の主な項目に従って授業を展開する。

1. オリエンテーション
2. 人工授精
3. 体外受精
4. 代理母
5. 人工妊娠中絶
6. 出生前診断
7. 優生思想とは
8. よりよい自己決定権へ
9. まとめ

【評価方法】

授業への積極的参加を重視し、レポートを課す。

【テキスト】

なし。適宜資料を配布する。

【参考書籍】

『生命誕生をめぐるバイオエシックス』（金城清子著
日本評論社）

『生命観を問いなおす』（森岡正博著 ちくま新書）

『出生前診断』（佐藤孝道著 有斐閣選書1634）

『死の選択』（森下直貴著 窓社）

健康と医学

阪 正和

1~4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

日本はますます高齢化社会に入り、人生80年の時代になった。しかし、長生きするための健康は自分で管理し、自立自助によって初めて達成される。健康を保ち、命を守り育てるにはどうすればよいか。医学の立場から、病気と健康について講義する。

【授業計画】

出生前からの健康をめざして

- 1) 健康とは何か
健康の定義 健康管理 生命の尊さ
- 2) 母と子の絆
母子相互作用 児童虐待
- 3) 子どもの心と身体
子どもの特徴 発育・発達 しつけ (基本的生活習慣)
- 4) 女性の健康
思春期への対応 ピル 更年期
- 5) 生活習慣病 (成人病) とは
その予防は幼児期から KYB運動
- 6) アレルギーの話
アレルギーと免疫 アレルギー病 (気管支喘息など)
- 7) 食物と健康
母乳と人工乳 離乳 幼児食 食中毒
- 8) 歯の健康
歯の生理 虫歯と歯周病 高齢者と歯
- 9) 嗜好品と健康
アルコール タバコ
- 10) セクシュアリティに関わる問題
性感染症 (クラミジア感染症・B型肝炎) 性教育
- 11) 高齢社会の健康問題
ライフスタイルへの介入 介護 死を考える
- 12) インフォームド・コンセントとは
3大要素 ムンテラとの違い 診療情報の提供

【評価方法】

主に筆記試験によるが、時々講義の感想を提出させ評価の参考にする。

【テキスト】

健康と保健の科学 (坂口他著 日本小児医事出版社)

健康とくすり

永井 慎一

1~4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

現代は飽食の時代といわれ、運動不足やストレス過多のため薬品の助けがなければ健康の維持が難しい。薬品についての正しい知識を学び、薬品への依存性や副作用について理解を深める。

【授業計画】

- 第1回 受講生に「病気とくすりについて、今最も知りたいこと」をアンケート調査後、くすりとは何か、創薬の歴史から新薬開発まで解説
- 第2~3回 くすりの基礎知識について、くすりのしくみと生体内運命、くすりの効くメカニズムと受容体など2回にわたり解説
- 第4回 くすりの正しい知識をイラスト入りの質問形式でわかりやすく教える
- 第5~6回 繁用される一般医薬品 (OTC) 500種と医者がよく処方する医療用医薬品200種を薬効別に解説
- 第7回 頭痛、生理痛の原因と治療薬のメカニズム
- 第8回 受講生の多くが苦しむアトピー性皮膚炎や花粉症の発症メカニズムとくすりの効き方
- 第9回 病気の早期発見に役立つ成人病検査値の見かたと最新の画像診断法
- 第10~13回 検診で見つかる生活習慣病を中心に、高血圧、ガン、糖尿病、エイズなどの発症原因、予防法と現在開発中の治験薬を含めた治療薬の作用機作

【評価方法】

配布したプリントからテーマを出題し、レポートの内容で成績評価する。

【テキスト】

家庭でも保存、利用できるようなA3大の両面プリントを毎回配布し (21枚)、講義する。

ライフサイクルと健康

松田秀子

1～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

人間は年齢に伴い体型も変化し、健康も害しやすくなる。ライフサイクルに合せた運動と健康の維持について身近な問題を取りあげて講義する。

【授業計画】

1. ライフサイクルと健康とは
2. 姿勢
3. プロポーション（理想と現実）
4. 身体意識
5. 肥満とやせ
6. 隠れ肥満
7. 体脂肪
8. 体脂肪を正しく落とす方法
9. 筋肉と運動神経
10. 健康づくりのための運動
11. Walking
12. 学生の性意識
13. 性意識と性行動
14. 性への理解（避妊法）
15. 人間と性

【評価方法】

出席状況とレポートによって評価する。

【テキスト】

使用せず。

必要に応じて参考資料を配付し、参考書籍を指示する。

スポーツ基礎

杉山 和 山本啓子 松田秀子 寺田邦昭 門間 博

1～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

各種スポーツ（テニス、ゴルフ、バドミントン）をはじめ、ストレッチ体操、トレーニングなどの運動の基礎技術を習得することを目標として行う。

【授業計画】

曜日	限	担当者	種 目	
月	2	杉山	テニス	バドミントン
	3	寺田	バドミントン	ゴルフ
		杉山	テニス	バドミントン
	4	寺田	バドミントン	ゴルフ
火	1	松田	テニス	ゴルフ
	2	松田	テニス	ゴルフ
	3	山本	卓球	バレーボール
		松田	バドミントン	ゴルフ
4	山本	卓球	バレーボール	
水	2	門間	バドミントン	テニス
	3	門間	バドミントン	テニス
		山本	卓球	バレーボール
	4	門間	バドミントン	テニス
山本		卓球	バレーボール	
木	2	杉山	テニス	バドミントン
	3	門間	ソフトボール	テニス
	4	門間	ソフトボール	テニス
金	2	杉山	テニス	バドミントン
	3	杉山	テニス	バレーボール
	4	杉山	テニス	バレーボール

- ・第1週目の授業は教室にてガイダンスを行います。
- ・原則として、半期間に2種目を行います。（天候によって種目を変更する場合があります。）
- ・授業については、健康科学教育センターの掲示板を参照のこと。

【評価方法】

70点－（欠席回数×2／授業実施回数×70点）＝出席点
30点＝実技点

スポーツ応用

杉山 和

1～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

より高度なスポーツ技術の習得を目標とし、各種スポーツを半期間通して行う。また、スクーバダイビング、スキーなどのシーズンスポーツを集中授業として行う。

【授業計画】

曜日	限	種目	
月	2	ゴルフ	・第1週目の授業は教室にてガイダンスを行います。
	3	ゴルフ	
木	2	ゴルフ	・授業については、健康科学教育センターの掲示板を参照のこと。
金	2	バレーボール	
	3	バドミントン	
	4	バドミントン	

〔ゴルフ〕

1. ガイダンス
2. グリップ、スタンス、アドレス
- 3～6. アイアン練習（ショート・ミドルアイアン）
- 7～8. ウッド練習（1、3ウッド）
9. 学外のゴルフ練習場にて練習
- 10～12. PW、SW、パッティング練習
- 13～14. ショートコース（グラウンドにて）
15. 学外のゴルフ練習場にて練習

〔バレーボール〕

1. ガイダンス
2. ボールに慣れる、構え、動きの基本姿勢
3. サーブの種類と打ち方
- 4～6. パス、トス、レシーブ、スパイク、ブロック
- 7～15. ゲームの進め方、ルール説明、ゲーム

〔バドミントン〕

1. ガイダンス
- 2～3. 歴史的ゲームの追体験、ラケットワーク
4. ストローク練習（アンダーハンドを中心に）
5. ストローク練習（サイドハンドを中心に）
6. ストローク練習（オーバーヘッドを中心に）
- 7～15. ゲームの進め方、ルール説明、ダブルスゲーム

【評価方法】

70点－（欠席回数×2／授業実施回数×70点）＝出席点
30点＝実技点

スポーツ応用

杉山 和

1～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

〈スキー・集中〉

より高度なスポーツ技術の習得を目標とし、各種スポーツを半期間通して行う。また、スクーバダイビング、スキーなどのシーズンスポーツを集中授業として行う。

【授業計画】

〈内容〉

1. 期日
実習 平成13年2月25日（日）～3月1日（木）
4泊5日の予定
第1回説明会 平成12年11月1日（水）5限目
第2回説明会 平成13年1月10日（水）5限目
2. 場所 長野県 信州菅平高原スキー場
3. 宿泊所 福美津屋旅館
4. 実習費 約40,000円
（宿泊費・交通費・食事代・保険料・雑費）
5. その他の費用
リフト券代 約12,000円（レベルによって異なる）
レンタルスキー（板、ブーツ、ストック） 6,500円
レンタルウェア 4,000円
小物（帽子、手袋、ゴーグル） 1,500円
6. 定員 約40名
7. オプション企画（1日体験）
スノーボード（レンタル、講習費） 6,000円
ヘリスキー（ヘリコプターの搭乗費） 5,500円
スキー検定（検定料） 3,000円
*定員に大きく満たない場合は中止になります。
*実習費及びその他の費用に関しての料金は、11年度のものであります、変更になる場合があります。
*説明会には必ず参加すること。（やむを得ない場合を除く）

【評価方法】

1. 実習中の技術の上達度と、実習に対する取り組み方。
2. 実習期間中、欠席した場合は単位が認められません。

スポーツ応用

杉山 和

1～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

〈スクーバダイビング・集中〉

より高度なスポーツ技術の習得を目標とし、各種スポーツを半期間通して行う。また、スクーバダイビング、スキーなどのシーズンスポーツを集中授業として行う。

【授業計画】

《内容》

1. 期日

プール実習 平成12年8月24日(木)～30日(水)

海洋実習 平成12年9月4日(月)～7日(木)

3泊4日

第1回説明会 平成12年5月24日(水)5限目

第2回説明会 平成12年7月22日(土)午前中

2. 場所

プール実習 ロコダイバーズ 室内プール(一社)

海洋実習 沖縄県 伊江島

3. 諸経費

実習費 約50,000円(講習費、テキスト代、申請料)

用具代 約50,000円(重器材レンタル代、個人器材)

海洋実習費 約40,000円(交通費、宿泊費)

その他 約30,000円(ウェットスーツ)希望者のみ

4. 定員 約20名

*諸経費については、11年度のものでありますので変更になる場合があります。

*説明会には必ず参加すること。(やむを得ない場合を除く)

【評価方法】

1. 実習中の技術の上達度と、実習に対する取り組み方。
2. 実習期間中、欠席した場合は単位が認められません。

スポーツ応用

杉山 和

1～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

〈ボウリング・集中〉

より高度なスポーツ技術の習得を目標とし、各種スポーツを半期間通して行う。また、スクーバダイビング、スキーなどのシーズンスポーツを集中授業として行う。

【授業計画】

《内容》

1. 期日

実習 平成12年8月17日(木)・18日(金)・

19日(土)・21日(月)・

22日(火)・23日(水)

計6日間 午前のみ

第1回説明会 平成12年5月24日(水)5限目

第2回説明会 平成12年7月5日(水)5限目

2. 場所 星が丘ボウル

3. 実習費 約7,000円

4. 募集人数 約40名

*最終説明会にて、現金で徴収します。

*実習費に関しては、11年度のものでありますので変更する場合があります。

*説明会には必ず参加すること。(やむを得ない場合を除く)

【評価方法】

1. 実習中の技術の上達度と、実習に対する取り組み方。
2. 実習期間中、欠席した場合は単位が認められません。

スポーツ応用

山本啓子

1～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

より高度なスポーツ技術の習得を目標とし、各種スポーツを半期間通して行う。また、スクーバダイビング、スキーなどのシーズンスポーツを集中授業として行う。

【授業計画】

曜日	限	種目
火	3	バドミントン
	4	バドミントン
水	3	バドミントン
	4	バドミントン

- ・第1週目の授業は教室にてガイダンスを行います。
- ・天候によって種目を変更する場合があります。
- ・授業については、健康科学教育センターの掲示板を参照のこと。

[バドミントン]

1. ガイダンス
2. 歴史的ゲームの追体験
3. ラケットワーク
4. ストローク練習（アンダーハンドを中心に）
5. ストローク練習（サイドハンドを中心に）
6. ストローク練習（オーバーヘッドを中心に）
7. ゲームの進め方、ルール説明
8. ダブルスゲーム（フォーメーションを中心に）
- 9～15. ダブルスゲーム

【評価方法】

70点－（欠席回数×2／授業実施回数×70点）＝出席点
30点＝実技点

スポーツ応用

松田秀子

1～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

より高度なスポーツ技術の習得を目標とし、各種スポーツを半期間通して行う。また、スクーバダイビング、スキーなどのシーズンスポーツを集中授業として行う。

【授業計画】

曜日	限	種目
火	1	バドミントン
	2	バドミントン
	3	テニス

- ・第1週目の授業は教室にてガイダンスを行います。
- ・天候によって種目を変更する場合があります。
- ・授業については、健康科学教育センターの掲示板を参照のこと。

[バドミントン]

1. ガイダンス
2. 歴史的ゲームの追体験
3. ラケットワーク
4. ストローク練習（アンダーハンドを中心に）
5. ストローク練習（サイドハンドを中心に）
6. ストローク練習（オーバーヘッドを中心に）
7. ゲームの進め方、ルール説明
8. ダブルスゲーム（フォーメーションを中心に）
- 9～15. ダブルスゲーム

[テニス]

1. ガイダンス
2. ボールとラケットに慣れる
3. グランドストローク（フォアハンドを中心に）
4. グランドストローク（バックハンドを中心に）
5. サービス、レシーブ
6. ボレー、スマッシュ
7. ゲームの進め方、ルール説明
8. ダブルスゲーム（フォーメーションを中心に）
- 9～15. ダブルスゲーム

【評価方法】

70点－（欠席回数×2／授業実施回数×70点）＝出席点
30点＝実技点

スポーツ応用

松田秀子

1～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

〈スケート・集中〉

より高度なスポーツ技術の習得を目標とし、各種スポーツを半期間通して行う。また、スクーバダイビング、スキーなどのシーズンスポーツを集中授業として行う。

【授業計画】

《内容》

1. 期日 (実習)

実習 平成13年2月8日(木)・9日(金)・
10日(土)・13日(火)・
14日(水)・15日(木)

6日間 午前のみ

第1回説明会 平成12年11月1日(水) 5限目

第2回説明会 平成13年1月10日(水) 5限目

2. 場所 名古屋スポーツセンター (大須)

3. 実習費 約7,200円

4. 定員 約40名

*最終説明会にて、現金徴収します。

*実習費に関しては、11年度のものでありますので変更する場合があります。

*説明会には必ず参加すること。(やむを得ない場合を除く)

【評価方法】

1. 実習中の技術の上達度と、実習に対する取り組み方。

スポーツ応用

松田秀子

1～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

〈マリンスポーツ・集中〉

より高度なスポーツ技術の習得を目標とし、各種スポーツを半期間通して行う。また、スクーバダイビング、スキーなどのシーズンスポーツを集中授業として行う。

【授業計画】

《内容》

1. 期日

実習 平成12年8月7日(月)～10日(木)
3泊4日

第1回説明会 平成12年5月24日(水) 5限目

第2回説明会 平成12年7月5日(水) 5限目

2. 場所 ヤマハマリーナ浜名湖 静岡県

3. 実習種目

ウェイクボード、ボードセーリング、
セーリングクルザー等

4. 実習費 約74,000円

5. 定員 約20名

*履修決定後、銀行振込にて徴収します。

*実習費に関しては、11年度のものでありますので変更する場合があります。

*説明会には必ず参加すること。(やむを得ない場合を除く)

【評価方法】

1. 実習中の技術の上達度と、実習に対する取り組み方。

スポーツ応用

寺田邦昭

1～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

より高度なスポーツ技術の習得を目標とし、各種スポーツを半期間通して行う。また、スクーバダイビング、スキーなどのシーズンスポーツを集中授業として行う。

【授業計画】

曜日	限	種目
月	3	テニス
	4	テニス

- ・第1週目の授業は教室にてガイダンスを行います。
- ・天候によって種目を変更する場合があります。
- ・授業については、健康科学教育センターの掲示板を参照のこと。

[テニス]

1. ガイダンス
2. ボールとラケットに慣れる
3. グランドストローク（フォアハンドを中心に）
4. グランドストローク（バックハンドを中心に）
5. サービス、レシーブ
6. ボレー、スマッシュ
7. ゲームの進め方、ルール説明
8. ダブルスゲーム（フォーメーションを中心に）
- 9～15. ダブルスゲーム

【評価方法】

70点－（欠席回数×2／授業実施回数×70点）＝出席点
30点＝実技点

スポーツ応用

門間博

1～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

より高度なスポーツ技術の習得を目標とし、各種スポーツを半期間通して行う。また、スクーバダイビング、スキーなどのシーズンスポーツを集中授業として行う。

【授業計画】

曜日	限	種目
水	2	ソフトボール
	3	サッカー
	4	サッカー
木	2	バドミントン
	4	バドミントン

- ・第1週目の授業は教室にてガイダンスを行います。
- ・天候によって種目を変更する場合があります。
- ・授業については、健康科学教育センターの掲示板を参照のこと。

[ソフトボール]

1. ガイダンス
2. キャッチボールの基本、練習、ゲーム
- 3～5. バッティングの基本、練習、ゲーム
- 6～8. 守備の基本、練習、ゲーム
- 9～11. リーグ戦 1
- 12～15. リーグ戦 2、まとめ（記録整理・レポート）

[サッカー]

1. ガイダンス
2. 個人技能の確認
- 3～5. ボールコントロールの正確性、巧みに運ぶための基本技術、基本技術を生かしたミニゲーム
- 6～7. 個人技能をもとにチーム編成をし、ミニゲーム
- 8～10. ミニゲームのリーグ戦
- 11～15. リーグ戦、まとめ（記録整理・レポート）

[バドミントン]

1. ガイダンス
- 2～4. 各種ストローク、各種フライト、サービス練習
- 5～7. シングルス、ダブルスの試合方法の理解
- 8～11. シングルス、ダブルスの戦術の理解と練習
- 12～15. リーグ戦、まとめ（記録整理・レポート）

【評価方法】

70点－（欠席回数×2／授業実施回数×70点）＝出席点
30点＝実技点

スポーツ文化論

勝部篤美

1～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

スポーツが文化であることを歴史的・社会的事実から論証し、さらにスポーツの生成・発展・衰退に関する諸要因（政治・経済・産業・社会・教育・科学・宗教・地理的環境等）について考え、現代社会における「人間性復権」への道程を展望する。

【授業計画】

1. スポーツは遊びから出発する
2. スポーツは技能を追求する
3. スポーツは競争と協力の両面をもつ
4. スポーツはフェアプレイの精神によって成り立つ
5. スポーツは自己実現を志向させる
6. スポーツは舞踊とともに祭礼と結びついていた
7. スポーツには富と閑暇が関係する
8. スポーツは社会生活と関係が深い
9. スポーツには教育が関係する
10. スポーツには政治が関係する
11. スポーツには科学が関係する
12. スポーツは地理的環境に影響されることが大きい
13. スポーツには民族性が反映される
14. スポーツには商業主義がつきまとう
15. スポーツにはジャーナリズムがつきまとう
16. スポーツはガス抜き装置としての役割を果たす
17. スポーツのルールは法の体系に似た構造をもつ
18. スポーツは「強いもの」から「弱いもの」へと対象を拡げつつある
19. スポーツは「強いこと」から「美しいこと」へと対象を拡げつつある
20. スポーツは今や人間性の復権へ向って進む
21. スポーツの生成・発展・衰退の過程は、文化の場合と同じである

【評価方法】

単位認定試験の成績によって評価する。

【テキスト】

使用せず。参考図書は授業のとき指示する。

スポーツ文化論

松田秀子

1～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

スポーツが文化であることを歴史的・社会的事実から論証し、さらにスポーツの生成・発展・衰退に関する諸要因（政治・経済・産業・社会・教育・科学・宗教・地理的環境等）について考え、現代社会における「人間性復権」への道程を展望する。

【授業計画】

1. スポーツは遊びから出発する
2. スポーツは技能を追求する
3. スポーツは競争と協力の両面をもつ
4. スポーツはフェアプレーの精神によって成り立つ
5. スポーツは自己実現を志向させる
6. スポーツ舞踊とともに祭礼と結びついていた
7. スポーツには富と閑暇が関係する
8. スポーツは社会生活と関係が深い
9. スポーツには教育が関係する
10. スポーツには政治が関係する
11. スポーツには科学が関係する
12. スポーツには地理的環境に影響されることが大きい
13. スポーツには民族性が反映される
14. スポーツには商業主義がつきまとう
15. スポーツにはジャーナリズムがつきまとう
16. スポーツはガス抜き装置としての役割を果たす
17. スポーツのルールは法の体系に似た構造をもつ
18. スポーツは「強いもの」から「弱いもの」へと対象を拡げつつある
19. スポーツは「強いこと」から「美しいこと」へと対象を拡げつつある
20. スポーツは今や人間性の復権へ向って進む
21. スポーツの生成・発展・衰退の過程は、文化の場合と同じである

【評価方法】

出席状況とレポートによって評価する。

【テキスト】

使用せず。

必要に応じて参考資料を配付し、参考書籍を指示する。

コミュニケーション入門

植村勝彦 藤井正志 松本青也

オムニバス 1年 前期 必修 2単位

【授業の概要】

(概要) コミュニケーション学部の教育について、コミュニケーション心理、ビジネスコミュニケーション、言語コミュニケーションの3領域からの学習の動機づけをオムニバス方式で行う。★(オムニバス方式)★(植村勝彦教授) コミュニケーションの問題を心理学の立場からの理解の仕方を紹介する。中でも対人コミュニケーションについて、その理論を現実社会の問題とからめて取上げる。★(藤井正志兼担教授) コミュニケーションの問題について、現実的なビジネスの立場に立って、効果的なコミュニケーションの在り方を考察する。★(松本青也兼担教授) 言語や文化の異なるもの同士が相互に伝達を図り、交流しようとする場合に生じる様々な問題について、言語特有の発想や文化のもつ価値観、更に言語教育・政策までを比較対照しながら考察する。

【授業計画】

- 第1講 導入
- 第2講 ありのままを知らせるコミュニケーション：自己開示
- 第3講 自分を演出するコミュニケーション：自己呈示
- 第4講 対人交渉のコミュニケーション：要請と承諾
- 第5講 非言語コミュニケーション：ボディ・ランゲージ
- 第6講 職場の活性化とコミュニケーション
- 第7講 職場における人材教育とコミュニケーション
- 第8講 企業経営のコンセプトの変化とコミュニケーション
- 第9講 国際ビジネスの場におけるコミュニケーション
- 第10講 言語と思考
- 第11講 言語と社会
- 第12講 言語と教育
- 第13講 言語と文化

【評価方法】

出席状況と単位認定試験の成績により総合的に評価する。

【テキスト】

コミュニケーション学入門—心理・言語・ビジネス—
(植村勝彦・松本青也・藤井正志著 ナカニシヤ出版)

心とコミュニケーション

江口昇勇

1年 前期 必修 2単位

【授業の概要】

個人は意識の中心にある自我を軸とした人格と無意識にあるもうひとりの自分の両者のバランスを生きることになる。また、人と人とのコミュニケーションの歪みが個人の病理を生じさせることが今日、明らかになってきており、そうした家族コミュニケーションのあり方も含めた、心の不思議について述べていきたい。

【授業計画】

- 1)「自己探求」は臨床心理学の基礎であり、最終目標である、2)エゴグラムによる自己理解;現実自己と5本柱の説明と各種パターンの説明、3)エゴグラムによる自己理解;理想自己と現実自己という視点からの比較、ペルソナと他者評価の差から見る人間関係の不思議、4)精神分析の基本的考え方(1);無意識の存在、局所論、三層説、防衛機制、5)精神分析の基本的考え方(2);力動論、適応論、発達と固着、6)Projectionを体験的に味わう(1);バウムテストに投影するもの(解説を理解する前後で試行)、7)Projectionを体験的に味わう(2);F-C-C-Dにより家族力動を実際に探索してみる、8)イメージ療法を体験する;感受性訓練の一環としてのイメージ体験、球体アクティブ・イマジネーション体験、体験を意識化することの大切さ、9)心理療法の実際;事例を通しての人間理解の視点、10)心理療法からコミュニティへ;スクールカウンセラーの体験、虐待へのコミュニティ・アプローチ、11)心理療法からコミュニティへ;学校、児童相談所、家庭裁判所、福祉施設等、現場でのスーパービジョンから分かること、12)現在社会における臨床家の役割;時代の要請の中で自分の臨床活動を組み立てる、13)自我の野心と魂の野心

【評価方法】

基本的には授業中に与える課題レポートによって評価する。その他、講義中、その後での質問やE-mail等での質問、コメントも評価に加える場合もある。

【テキスト】

必要な資料を授業中に配布する。

【参考書籍】

なし。

言葉とコミュニケーション

張 勤

1年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

人間のコミュニケーションの手段は様々あるが、本講義では言葉によるコミュニケーションにスポットライトをあて、言葉とコミュニケーションの複雑な関係を整理し、言葉のコミュニケーションにおける役割を考える。

【授業計画】

- 第1回 言葉によるコミュニケーションとは
実践：中国語コミュニケーション（1）
- 第2回 依頼のストラテジー（1）
実践：中国語コミュニケーション（2）
- 第3回 人間関係とコミュニケーション
実践：中国語コミュニケーション（3）
- 第4回 依頼のストラテジー（2）
実践：中国語コミュニケーション（4）
- 第5回 丁寧さとコミュニケーション
実践：中国語コミュニケーション（5）
- 第6回 挨拶のストラテジー
実践：中国語コミュニケーション（6）
- 第7回 社会関係とコミュニケーション
実践：中国語コミュニケーション（7）
- 第8回 質問のストラテジー
実践：中国語コミュニケーション（8）
- 第9回 言語行為とコミュニケーション
実践：中国語コミュニケーション（9）
- 第10回 コミュニケーションにおける言葉と文化
実践：中国語コミュニケーション（10）
- 第11回 コミュニケーションにおける日本語の可能性
実践：中国語コミュニケーション（11）
- 第12回 コミュニケーションにおける中国語の可能性
実践：中国語コミュニケーション（12）

【評価方法】

出席状況とレポートの成績によって総合的に評価する。

【テキスト】

講義中に指示する。

【参考書籍】

講義中に指示する。

ビジネスとコミュニケーション

浅井敬一郎

1年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

日本企業の海外戦略の方向性をケーススタディーを通して学習。その中でビジネス交渉に関するキーポイントを解説し、生きたコミュニケーション術を考察する。

【授業計画】

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 公式組織と非公式組織
- 第3～4回 多国籍企業における国際化の段階
- 第5回 日本の多国籍企業の問題点
- 第6～8回 海外子会社の経営のケース
- 第9～11回 組織感覚の違いとコミュニケーション
- 第12回 まとめ

【評価方法】

レポートおよび定期試験によって評価する。

【テキスト】

特に指定しない。

【参考書籍】

- アジアからの視線
(今田高俊・園田茂人編著 東京大学出版会)
- 国際経営 (吉原英樹著 有斐閣アルマ)
- 地球市場時代の企業戦略
(パートレット&ゴシャル著 日本経済新聞社)

コンピュータ入門

三和義秀 出口智子 元吉忠寛 坂本剛

1年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

コンピュータの初心者を対象にWindowsの基本操作、ワープロソフトの操作、並びにインターネットの使用方法について学習する。授業のゴールは2つで、(1) レポートをワープロで作成できるようになること、(2) メールを使つてのコミュニケーションができること、である。

【授業計画】

- 第1回 Windowsの基本操作(1)
- 第2回 Windowsの基本操作(2)
- 第3回 ワープロソフトの操作(1)
- 第4回 ワープロソフトの操作(2)
- 第5回 ワープロソフトの操作(3)
- 第6回 ワープロソフトの操作(4)
- 第7回 メールの使い方(1)
- 第8回 メールの使い方(2)
- 第9回 ブラウザ使用法
- 第10回 ブラウザの活用
- 第11回 画像ソフトの使用法
- 第12回 その他アプリケーションの操作法
- 第13回 テスト

【評価方法】

出席、レポートの提出、並びにテストの総合評価による。

【テキスト】

授業中に指示する。

コンピュータ応用

松尾貴司 吉崎一人

1年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

データ集計、整理、分析を行うために不可欠の道具である表計算ソフトの基本的操作方法を習得する。

【授業計画】

1. エクセルの基本操作(1) (エクセルへのデータ入力、並びに編集。)
2. エクセルの基本操作(2) (コピー、移動、文字装飾等)
3. エクセルでの計算(四則演算、セルを使った計算)
4. エクセルでの計算(相対参照、絶対参照)
5. 表作成とエクセルでの印刷
6. グラフ作成(1)
7. グラフ作成(2)
8. 関数を使った計算(1)
9. 関数を使った計算(2)
10. 実際のデータを使つてのデータ処理(1)
11. 実際のデータを使つてのデータ処理(2)
12. 実際のデータを使つてのデータ処理(3)
13. 実際のデータを使つてのデータ処理(3)

【評価方法】

出席、レポートの提出、並びにテストの総合評価による。

【テキスト】

授業中に指示する。

TOEFL・TOEICトレーニングⅠ

ディビッド・C. ダイカス ジョナサン・E. ロング
ハリー・T. ノリス ディビッド・レヴィ

1・2年 前・後期 選択 2単位

【Course Content】

TOEFL、TOEICなどの英語能力測定試験を利用することにより、各自の英語能力を客観的に把握させ、そこから自主的な英語学習を促すものである。授業では、TOEFL500点、TOEIC640点などを到達目標として演習を行い、英語の総合運用能力を強化し、英語能力測定試験スコアの向上を目指す。

【Schedule】

Students must attend a minimum of 9 classes. There will be a precourse test and a post-course test.

Students must sit for at least one TOEFL/TOEIC test during the semester. This test will be used as part 3. of the assessment (See ASSESSMENT below). It will be the students responsibility to submit these test scores to their teacher.

【Assessment】

Assessment will be based on:

- 1 .Attendance
- 2 .Speed of progression
- 3 .TOEFL/TOEIC score

【Textbooks】

TOEFL TEXT : To be announced

TOEIC TEXT : To be announced

別途配付予定

TOEFL・TOEICトレーニングⅡ

ジョナサン・E. ロング

1～3年 前・後期 選択 2単位

【Course Content】

The aim of this course is to equip students with the skills and knowledge they will require to achieve at least 550 points on the TOEFL and 720 points on the TOEIC tests. This will done by intensive classroom work with exercises and practice tests. All instruction and explanation will be in English.

【Schedule】

To be announced.

【Assessment】

To be announced.

【Textbooks】

To be announced.

別途配付予定

レポート作成法

植村勝彦 江口昇勇 二宮昭 森久美子

1年 後期 必修 2単位

【授業の概要】

専門の講義科目、研究法演習科目の開始とともに、レポートを作成する機会がきわめて多くなる。最終目標の卒業論文作成のためにも、これは必須のスキルであり、テーマの設定、資料の検索・収集、論理の構成、文章表現、図表の作成などの要点を講義と実践によって学習する。

【授業計画】

全体構想として、授業4コマ分を1セッションとし、3セッションの課題と冬休みの宿題から講義を組み立て、最後にまとめを行う。1回～4回は課題図書；「子どもの虐待」（森田ゆり 岩波ブックレット）を読み、指定された視点からのまとめを行う。5回～8回は実験データに基づくレポート作成方法について学ぶ、そして9回～12回は、観察実習によるデータの収集・分析とそれに基づくレポートの作成を行う。なお授業以外に、冬休みの課題として、「子どもの生活実態についてのインタビュー・レポート」があるので、あらかじめ準備しておくこと。

【評価方法】

評価は、出席およびレポートの提出に基づいて行うが、全ての課題レポートを提出することが重要である。

【テキスト】

子どもの虐待—その権利が虐待されるとき—（森田ゆり 著 岩波ブックレット No.385）
その他の使用教材は、授業中に指示する

【参考書籍】

リポートライティングで学ぶ人間科学（平野信喜 ナカニシヤ出版）
大学生と大学院生のためのレポート・論文の書き方（吉田健正 ナカニシヤ出版）

英語論文講読入門Ⅰ

キース・イーズリー

1年 前期 必修 2単位

【Course Content】

英語読解の基礎を養成する。コンピュータ活用、インターネット活用においても、また、3年次以降の研究論文の講読においても、英語読解能力は不可欠であり、この能力の個人差を無くすように、理解度をチェックしながら基礎トレーニングを行う。

【Schedule】

Schedule to be decided.

【Assessment】

Assessment will be based on attendance, participation, course-work and final examination.

【Textbooks】

The textbook will be announced during the first class.

英語論文講読入門Ⅰ

ベヴァリー・F・M. カレン

1年 前期 必修 2単位

【Course Content】

英語読解の基礎を養成する。コンピュータ活用、インターネット活用においても、また、3年次以降の研究論文の講読においても、英語読解能力は不可欠であり、この能力の個人差を無くすように、理解度をチェックしながら基礎トレーニングを行う。

【Schedule】

The course will begin with an introduction to the language and register usually found in academic reading. Using paragraphs, and later, longer passages, the basic skills of accurate understanding and rephrasing will be practised using a variety of academic reading material in English, of interest to the students.

【Assessment】

Assessment will be ongoing and based on attendance, effort, and ability. Short reading tests to check progress will be conducted in class.

【Textbooks】

No textbook is required.

英語論文講読入門Ⅱ

キース・イズリー

1年 後期 必修 2単位

【Course Content】

講読入門Ⅰに続いて、平易な科学論文の講読を通して、学生個々の英語読解能力の向上に努める。語彙の習得、重要な語句・文の構造に対する理解を深めながら授業を進める。

【Schedule】

Schedule to be decided.

【Assessment】

Assessment will be based on attendance, participation, course-work and final examination.

【Textbooks】

The textbook will be announced during the first class.

英語論文講読入門Ⅱ

ベヴァリー・F・M. カレン

1年 後期 必修 2単位

【Course Content】

講読入門Ⅰに続いて、平易な科学論文の講読を通して、学生個々の英語読解能力の向上に努める。語彙の習得、重要な語句・文の構造に対する理解を深めながら授業を進める。

【Schedule】

The course will continue to increase the length and level of difficulty in a selection of academic reading material. Focussing on scientific texts, students will practice reading to recognize essential words and phrases and deepen their understanding.

【Assessment】

Student assessment will be ongoing, and based on attendance, effort, and ability. Reading tests to check progress will be conducted throughout the course.

【Textbooks】

No textbooks is required.

統計基礎

斎藤和志

1年 前期 必修 2単位

【授業の概要】

コミュニケーション行動・心理学に関する実証的研究を進めていく場合、さまざまな種類の資料・データを集めて分析を進めていくことになる。多くの場合、得られた資料・データは数値として扱われる。この数値はどのような特徴をもち、そこからどのようなことが読みとれるのであろうか。こうした数値を扱う際に必要となる統計的な考え方、方法の基礎について講義する。また、各内容の確認の意味で、必要に応じて小テストやレポートを課すことがある。

【授業計画】

1. 統計とは何か、そして、統計はなぜ必要か？
2. 変数とデータ
3. Σの記号の意味
4. 度数分布表とは
5. 量的変数における度数分布表の表わし方
6. 質的変数における度数分布の表わし方
7. 量的変数に関するデータの数値要約
8. 質的変数に関するデータの数値要約
9. 線形変換
10. 非線形変換
11. 2つの変数の関係についての分析
12. 統計的検定の基礎
13. 試験

【評価方法】

定期試験による。また、前述の小テストやレポートを評価の対象にすることがある。

【テキスト】

本当にわかりやすい すごく大切なことが書いてある
ごく初歩の統計の本 (吉田寿夫著 北大路書房)

下記の科目は、本年度開講しません。

プレゼンテーション

松田照美

集中 2・3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

一般社会人として、コミュニケーションを円滑に行なうに必要な対人接遇の在り方について、電話による応待、面談の効果的な仕方、文書の取り扱いなどについて学習する。

異文化コミュニケーション

高井次郎

2～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

異文化の相手との相互作用を円滑に運ぶために必要な知識、態度、および対人行動技術について、言語および非言語行動を中心に考察する。日本の対人行動パターンの自覚を通じて、異文化コミュニケーションの障壁となりうる要因を考察する。

異文化トレーニング

近藤祐一

2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

異なる文化背景を持つ人々がともに生活し、問題を解決するためにどのような知識・態度をもちながらコミュニケーションを取るべきかについて、ロールプレイやシミュレーションを用い分析・考察する。

国際交流論

榎田勝利

2～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

経済大国となった日本は、国際社会の有力な一員として責任ある行動をとることが必要となってきた。近年の「国際化」に伴い、政治、経済、学術、芸術、スポーツなどの分野でも、盛んに国際交流が行われているが、果たして真の交流が実現しているのだろうか。主に日本に滞在する多くの外国人との異文化接触を通しての国際交流のありかたについて論ずる。

TOEFL・TOEICトレーニングⅢ

ジョアン・M. ウッドマン

2～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

TOEFL、TOEICなどの英語能力測定試験を利用することにより、意欲ある学生のさらなる自主的英語学習を促すものである。授業では、TOEFL600点、TOEIC860点などを到達目標として演習を行い、英語の総合運用能力を強化し、英語能力測定試験スコア向上を目指す。

メディア論

遠藤雄久

2～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

本構の目的は、マルチメディア時代といわれる現代のメディア状況をよりよくとらえるために、歴史社会的視点に立ってメディアと人間・社会の関わり方を振り返って見ようというものである。十九世紀後半に出現した電信、電話から始めテレビジョンそしてパーソナルコンピュータに至る電子メディアの発展の過程を、人間や社会がどのようにメディアをデザインしてきたかという観点からたどっていく。

国際関係論

明石陽至

2~4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

冷戦対戦後の国際関係の変様を概観し、日本を中心に
して新しい国際関係の在り方を考えてみたい。

異文化教育論

霜田一敏

2~4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

日本においても国際化が進展し、さまざまな国の人
たちが急速に増大している。私たちは益々異なった文化と
言語を持った人々と共存して生きていかなければなら
ない。世界の人々との平和的な交流を図る上で、異文化
理解はこれからの教育の重要な問題である。この問題を
国際理解教育の観点から具体的に論究する。

比較教養論

渡辺かよ子

2~4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

言語を中心とする「教養」に関する各国の思想史を概
説し、国際化・高齢化・情報化の進展の中で今後の自己
教育としての「教養」の在り方、普遍的教養の有無、コ
ミュニケーションの基礎としての「教養」の問題を論じ
る。

比較文化論Ⅰ（日・米）

松本青也

2~4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

集団が共有する価値観や規範の体系としての文化につ
いて、日本とアメリカを比較対照して、それぞれの文化
の特質を浮き彫りにするとともに、異文化理解を深める
方法についても考察する。

比較文化論Ⅱ（日・欧）

トマー・トドロヴィック

2~4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

西ヨーロッパの主な諸国（フランス、英国、ドイツ、
イタリア、スペイン）と日本におけるさまざまな文化活
動の状況、問題点に関する最新のデータを利用して比較
を行う。

比較文化論Ⅲ（日・アジア）

馮富榮 他

オムニバス 2~4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

（概要）アジア諸国の中でも、特に日本と深い関りのあ
る中国と韓国を取り上げ、歴史認識や政治までを含めた
広範囲な文化を日本と比較する。
（オムニバス方式）
（馮富榮兼担助教授）日本と中国の文化・習慣の違いに
ついて説明する。主として、両国の政治・食文化、風俗
習慣・建築文化、漢字の文化、交流文化及びお茶とお酒
の文化などをテーマにし、講義し、比較する。
（尹大辰兼任講師）「日韓両国の歴史認識への接近」をテ
ーマに韓国近代史に焦点をあて、まず自らを点検し、共
有する歴史認識の確立をめざし、今後のあるべき姿を模
索していこうとするものである。

比較文化論Ⅳ（日・中東）

岡 真理

集中 2～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

アラビア語という言語の問題、その歴史言語学的性格と社会言語学的特徴、「小説」という近代的認識の枠組みの問題、そして主体としての民族あるいは女性とその表象の問題等を主要なテーマとし考察する。

英語論文講読Ⅰ

杉本助男 他

2年 前期 必修 2単位

【授業の概要】

3年生以降の専門教育を受けるのに必要な英語読解力の基礎を養成することをめざす。心理学を中心とするやさしい科学論文をテキストとしてとりあげ、論文英語に固有の表現や学術用語に慣れることが目標となる。

英語論文講読Ⅱ

杉本助男 他

2年 後期 必修 2単位

【授業の概要】

講読Ⅰに続いて、心理学を中心とする研究論文を読みこなす力の養成をめざす。比較的新しいトピックスをとりあげている実験論文や調査論文をテキストとして、そのスタイルに慣れるとともに読解スピードをあげることが目標になる。

研究法実験演習Ⅰ・Ⅱ

清水 道 他

2年 前期 選択 4単位

【授業の概要】

- I：生理心理学の領域で扱われる生理学測定法を学習する。種々の心理状態での脳波や自律神経ポリグラフの測定や分析法について習得させる。
- II：認知心理学の領域で扱われる心理学実験の手法を学習する。記憶研究等の基礎的実験を通じて実験の計画と実施法データの分析法、結果のまとめ方等を習得させる。

研究法観察演習Ⅰ・Ⅱ

斎藤和志 他

2年 前期 選択 4単位

【授業の概要】

- I：コミュニケーション行動・心理学に関する実証的研究を進めていく場合、さまざまな種類の資料・データを集めて分析を進めていくことになる。その研究法の一つである観察法の基礎技法（自然的観察、参加的観察、実験的観察など）を実際に体験しながら学ぶ。演習Ⅰでは問題設定、データ収集について学習する。
- II：研究法観察演習Ⅰで得られたデータについて、分析し、報告書を作成するといった一連の研究プロセスを学習する。

研究法調査演習Ⅰ・Ⅱ

新美明夫 他

2年 後期 選択 4単位

【授業の概要】

- I：コミュニケーション行動などの実証的研究を進めていく際の研究法の一つである、質問紙調査法の演習を行う。調査テーマの検討から始まり、調査票の作成と印刷、調査の実施等を学習する。
- II：研究法調査演習Ⅰで得られた調査データについて、データ入力・集計・分析・調査レポートの作成の一連のプロセスを少人数のグループ単位で行い、調査法の科学的方法論を身につける。

研究法面接演習 I・II

西出隆紀 他

2年 後期 選択 4単位

【授業の概要】

- I：心理学的な研究方法の一つである「面接法」の基礎を学び、実習を行う。内容は調査面接法と臨床面接法とに大別され、演習 I では研究史から問題意識を明確に構成し、厳密な方法でデータを収集した上で、統計的な手法を中心に分析を進め、考察を加える。
- II：臨床面接法について心理臨床現場で行われるカウンセリングをはじめとする心理療法の基本的態度と基礎知識を身につけていくことを学習する。

データ解析 I

新美明夫 他

2年 前期 必修 2単位

【授業の概要】

統計パッケージソフトを利用して、複雑で冗長なデータを適切に集約し、そこに含まれる情報について正しく解釈・推論する能力を身につける。具体的にはデータ解析の基礎的技法を習得することを目標とし、質的データと量的データのそれぞれについて、a) データの集約を適切に行えること、b) 変数の連関を数量的に検討できること、の2点を主な目標とする。

データ解析 II

斎藤和志

3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

データ解析 I に引き続き、統計パッケージソフトを利用したデータの分析について、実際にデータを処理しながら学ぶ。主に、実験計画法に基づいて収集されたデータを分析する分散分析と質問紙調査から得られた尺度得点の扱い方について取り上げる。

心理検査法 I・II

西出隆紀 他

3年 前期 選択 4単位

【授業の概要】

- I：各種の心理検査についての基礎知識と実施方法を学ぶ。扱う心理検査としては全訂版田中ビネー知能検査、WAIS-R、PFスタディ、YG性格検査、ミネソタ多面人格目録、内田クレペリン精神作業検査、津守・稲毛乳幼児発達診断検査、遠城寺式乳幼児分析的発達検査法、等を予定している。
- II：心理検査法 I で習得した基礎知識と実施方法に基づいて実際に検査を実施し、結果を解釈し、報告書（臨床レポート）を作成することで、心理診断の基礎を身につける。

心理学概論 I

松尾貴司

2年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

心理学の研究対象および研究方法の特徴を明らかにすることによって、行動科学としての心理学を展望する。心理学概論 I では、感覚、知覚、記憶、学習、思考などの人間の基本的な心理過程を実験心理学に基づく知見を中心に講義する。

心理学概論 II

斎藤和志

2年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

心理学概論 I に引き続き、心理学の研究対象および研究方法の特徴を明らかにすることによって、行動科学としての心理学を展望する。心理学概論 II では、社会心理学、人格心理学、発達心理学などの分野における知見を概観する。

発達心理学

西出隆紀

3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

Freud,S.の精神性発達理論やErikson,E.H.の心理社会的発達論、Piaget,J.の認知発達論など各発達論を解説し、各発達期における特徴を概観した上で、知的発達の遅れや情緒発達の歪みなど、発達のな問題について触れていきたい。人間の発達のすばらしさと困難さを同時に伝えられたらと考えている。

教育心理学

二宮 昭

3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

教育活動を進めていく上で重要な問題となる、発達、教授・学習、人格、評価・測定、障害児指導等について、心理学的な見方や考え方を解説するとともに、そうした心理学的な見方・考え方と教育実践との関わりについて検討する。

組織心理学

斎藤和志

3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

組織における人間行動を質問紙や面接、観察に基づく調査などから得られた実証的データを用いて、一定の仮説に基づき説明しようとする行動科学的アプローチとしての組織心理学の領域から、いくつかのテーマを取り上げ、考察する。仕事への動機づけと満足の問題、組織におけるリーダーシップの問題、組織内のキャリア発達の問題などを取り上げる。

生活ストレス論

植村勝彦

3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

現代人の最新の関心事となっている「ストレス」について、心理学の立場から考察する。コミュニケーション行動との関連については、コミュニケーション行動がストレスを引き起こすストレスラー（ストレス源）となる場合もあれば、ストレスをもつ人へのソーシャル・サポート（社会的支援）としてコミュニケーション行動を有効に用いることも可能である。

社会心理学

森久美子

3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

社会心理学における主要な理論・研究について、特に実験的研究を紹介しながら概説する。これを通して、実験社会心理学の枠組みによって、社会的な行動や現象を理解するための基礎的知識を身につける。具体的には、実験社会心理学の方法論のほか、社会的認知、社会的態度、対人魅力、社会的影響過程、集団行動、など社会心理学に関する幅広いテーマに関する実証的研究について解説する。

視聴覚論

松尾貴司

3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

人の知覚のメカニズムを理解すると同時に、視聴覚メディア、マルチメディア等と呼ばれるさまざまなコミュニケーションメディアの技術的特性を理解することによって、視聴覚メディアが人のコミュニケーションに及ぼす影響、およびその可能性について考える。

尺度構成法

廣岡秀一

3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

心理学の領域では質問紙によってデータを収集することが少なくない。社会的態度や性格特性を測定するための尺度や心理テストを構成する際には信頼性と妥当性の検討が必要となり、そのために因子分析や多変量解析といった統計的処理を行うことになる。こうした尺度構成を行う場合に必要、統計的な考え方とその技法について学習する。

脳とコミュニケーション

杉本助男

2年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

対人コミュニケーション場面における心理的諸現象を脳の機能から解明することを目的とする。特に左右脳半球と対人行動、大脳扁緑系機能と情動行動、顔面筋活動と情動表出・認知などについて詳しく解説する。

脳のエイジング

杉本助男

3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

胎児から老年期までの脳の生涯発達と人間行動との関係を解説する。特に、脳の発達に関わる環境の問題、個人の生活史と左右脳の発達、脳の老化と高齢者のコミュニケーションの問題などについて考察する。

精神生理学

清水 遼

3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

ヒトの行動の生理学的指標に関する基礎知識について概説した後、現代社会で特に問題となっている情動やストレスをテーマにして、これらの問題に対する精神生理学的アプローチについて論ずる。

生理心理学

清水 遼

2年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

ヒトや動物の行動の諸側面を脳を中心とする中枢神経系や自律神経系の構造や機能とに対応づけて考察することで心理的側面と生理的側面間の相互関係の理解をめざす。また、これまでになされてきたモデル動物の行動と脳内物質の関連からヒトの種々の疾患との対応関係についても考察する。

認知心理学

吉崎一人

2年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

1970年代から盛んになってきた認知心理学の概説をする。人間を一つの情報処理系とみなして、人間が外界の情報をもどのように取り入れて処理し、出力するのかについて学ぶ。具体的には、人間の知覚、記憶活動、知識構造やその利用、思考活動、意識と無意識の情報処理、イメージの処理、日常生活の認知活動、認知能力の個人差、等に関する情報処理モデルについて紹介する。

神経心理学

吉崎一人

3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

「脳と行動」の関係の解明を目指す神経心理学の概説をする。特に、認知心理学的な視点から考察を中心とする。まず、基礎的な知識として(1)脳、特に大脳の基本構造論じ、(2)さらに神経心理学の研究法を論じ、(3)最後に大脳半球機能差(ラテラリティ)について論じる。次に、重要な認知活動ごとに脳との関連について論じる。具体的には、脳とことば、脳と記憶、脳と物体の認知、脳と注意、脳と情動、脳と運動である。

記憶と思考

川口潤

3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

認知心理学の領域で中心となる「記憶」と「思考」について講義する。「記憶」においては、情報の貯蔵システムの紹介とモデル間の比較、意識と記憶、記憶の区分等について最近のトピックを含め論じる。「思考」においては、問題解決、意志決定、確率推論等について論じる。できるだけ多くの研究事例を紹介して理解を深める。

生体情報学

田丸政男

集中 3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

生態は外界の情報を感覚刺激として受容し処理する。これら生態情報処理の中核として、脳は最も重要な働きを担っている。生態情報学では脳に入力された情報が如何なるメカニズムで知覚・認識・学習・記憶・情緒などの反応を生じるかについて、神経生理学および神経化学的手法で明らかにする。

空間認知の発達

二宮 昭

2年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

人間と環境とのコミュニケーションの基本にある空間認知の基本的諸能力が誕生から大人になるまでにどのように発達していくか(個体発生)を論ずるとともに、大人の日常生活空間の分節化が時間とともにどのように変わるか(微視発生)についても考察する。移動空間のイメージ形成、年齢にともなう地理的空間知識の増大、都市のイメージを規定する諸要因の検討、などが具体的に取り上げるテーマである。

表現行為の発達

二宮 昭

3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

コミュニケーションを成り立たせる表現の問題に焦点を当てて、その発達を論ずる。ことばによる表現、ことばによらない身振りや手振りの表現、絵による表現の発達をそれぞれ取り上げ、子どもの豊かな表現行為の獲得を保障する条件とは何かについて考察を深める。

言語行動

二宮 昭

2年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

人間にとって最も重要なコミュニケーション手段となっていることばについて、どのような特性を有しているのか、他のコミュニケーション手段と比較しながら検討し、また、日常の様々な場面における言語行動について、その実態を明らかにするための分析の枠組みについて考察する。

ことばの発達と障害

二宮 昭

3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

人間のことばによるコミュニケーション行動に関して、それは一体どのような過程を経て発達してくるのか、また、その障害はどのような場合にどのようなかたちで現れ、それを改善していくにはどういうことが重要であるか、ということを通して、人間にとってことばのもつ意義を考える。

ノンバーバル行動

松尾貴司

2年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

ジェスチャー、表情、視線、接触などのヒトのコミュニケーションにおける非言語的なシグナルの諸相について概説し、個々のノンバーバル行動について、発達、因果、機能、進化といった行動学的な視点から論ずる。

動物のコミュニケーション

松尾貴司

3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

ヒト以外の動物が示す、さまざまなコミュニケーション行動の特徴を動物行動学の知見を基に概観し、ヒトにおけるコミュニケーションと比較しながら、コミュニケーションの生物学的な基礎について論じる。

ビジュアルコミュニケーション

後藤伸男

3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

視覚的な情報媒体を用いたコミュニケーションの比重は、現代社会においてますます高まっている。本講では、人間の視覚の仕組みからはじまって、環境の知覚が外界の刺激の正確な反映でなく、いかに人間の側の条件に依存するかを論じ、コミュニケーションにおける望ましい視覚情報の利用について考察を深める。

福祉社会心理学

植村勝彦

2年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

今日ほど家族と地域が福祉の問題と密接に関わり合っている時代はない。こうした現代社会の問題を、社会心理学およびコミュニティ心理学の視点を導入して、福祉社会心理学という発想で考察する。テーマとしては、障害者、高齢化、コミュニティ、ボランティアなどである。

対人行動論

斎藤和志

2年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

現実の対人関係にはさまざまな問題が存在する。それらの中にみられる共通した特徴や法則性を、社会心理学的観点から考察する。社会の中で暮らす個人がどのように自己や環境をとらえているかといった社会的認知の問題、社会的な事象や他者に対してどのような心の姿勢をもっているかという態度の問題や対人的欲求の問題などを取り上げる。

集団行動論

森久美子

2年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

我々の生活は、さまざまな集団や社会の中で営まれている。そうした集団や社会で発生するダイナミクスについて、社会心理学的理論をもとに解説し、個人と集団・社会の相互作用過程について考察する。意志決定や課題遂行における集団内の影響過程、集団間の葛藤と協調、個人行動と集合行動の関連、などの問題を取り上げて論じる。

パーソナルメディア論

新美明夫

2年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

個人が手軽に情報を受発信できるパーソナルメディアの浸透は、既存の人的ネットワークと重なりつつも、新たな人的ネットワークを形成している。各種のパーソナルメディアが既存のネットワークに及ぼす影響や、それらを介して形成される新たなネットワークにおいて展開される人間関係やコミュニケーションについて考察する。

マン-マシン・インタラクション

新美明夫

3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

コンピュータテクノロジーの浸透は個人のまわりにあるさまざまな機器を知的化し、人間との疑似的コミュニケーションを可能にした。現代において人々はさまざまな場面でこれらの機器と向き合わざるをえない。本講義では個人がこれらの知的機器と対面する際の諸問題について考察する。

マスコミュニケーション

遠藤雄久

2年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

マスコミュニケーションの機能、マスメディアの利用、マスの送り手と受け手、ジャーナリズムと世論などについて概説する。また、日本のテレビ放送の歩みをたどり、21世紀の映像メディアの将来像を考える。

放送メディア論

遠藤雄久

3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

多メディア化、多チャンネル化、更には国際化の趨勢のなかで、放送システムとりわけテレビ放送の地位は大きく揺らぎ、新しい対応を迫られている。本講義は、テレビ放送の「過去・現在・未来」を具体的な事実、データに基づいて考察し、情報化社会のなかでのテレビ放送の新しい可能性を探る。

分析心理学

江口昇勇

2年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

心理療法の理論のひとつにC.G.Jungの分析心理学があり、ここではFreudの精神分析学と同様、無意識の存在を仮定している。しかし分析心理学では個人無意識の深層に普遍的無意識を仮定し、その世界を意識化する技法として夢分析や箱庭、芸術療法等イメージを介在させることが特徴である。言語化の困難なこの領域を、体験的に理解できるよう心理テストを行ったり、グリム童話等、親しみの持てる素材からイメージの共有化を行うなど、様々な媒体を駆使して分析心理学の本質を伝える。

カウンセリング

江口昇勇

3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

我々が人の話を傾聴するとき、その話を自分にとって都合の良いように切り取って聞いているか、反対に自分に都合の悪い部分を切り捨てて聞いているか、という事実である。そうした事実を体験的に理解するために試行カウンセリングを行い、傾聴の際の学生が陥りやすいタイプを学ばせたい。従来、ロジャースのいう受容、共感、自己一致の中でも受容と共感に力点が過重に置かれ過ぎてきたように思われるので、自己一致の重要性を伝えていきたい。

心理療法

西出隆紀

2年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

数多く存在する心理療法の基礎理論について講義をする。精神分析各学派、現象学的人間学派、家族療法・短期療法など各学派の発達論、治療論、症候論、人格論などを具体的な事例も交えながら紹介し、心理療法というものもののイメージをつかめるように説明していきたい。

児童臨床

西出隆紀

3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

不登校をはじめとする情緒障害、自閉症や学習障害などの発達障害、低出生体重児などハイリスク児の発達の問題や摂食障害など、思春期までの心の問題を取り上げ、そのような子どもたちをどう理解し、どう関わっていくかを解説したい。

臨床心理学

古井景

2年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

臨床心理学の基礎として、様々な治療理論とその背後にある基本的な人間観の差異を明確化する。次に臨床心理学が対象とする人々のアウトラインを示したい。発達の観点から乳幼児から児童期、思春期、青年期、成人期から熟年期までの発達課題とそれが挫折した場合の障害、そして、障害の種類の違いによる臨床心理学アプローチの違いを提示していく。

精神医学

古井景

3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

人間の精神現象を扱い、治療していくために必要な、生物学的・心理学的方法論を論じ、多角的な視野を持って精神症状を把握する必要性を説く。又、具体的な各精神疾患の事例を織り交ぜながら、力動的精神医学の観点から症状をどう理解し、患者とのコミュニケーションを通してどのように治療をしていくかを解説していく。

コミュニケーションの精神病理

北畑英樹

3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

コミュニケーションとは、つまるところ対人関係であり、一方、精神医学で取り扱う疾患も、その症状の中心は対人関係の障害である。それ故に、そこには健常者の中に時折みられるコミュニケーションのゆがみの先鋭化したものが認められる。そこで、ノイローゼ、うつ病、精神分裂症などの疾患について、やさしくかつ具体例をあげて解説する。

専門演習Ⅰ

杉本助男 他

3年 前期 必修 2単位

【授業の概要】

専任教員全員が担当するゼミ形式の少人数授業であり、専門領域の論文を学生各自が講読し、質疑、応答を行う。この過程で学生各自が興味をもてる研究課題を明確化していく。

専門演習Ⅳ

杉本助男 他

4年 後期 必修 2単位

【授業の概要】

専門演習Ⅲに引き続き、学生各自の研究の進捗状況に応じて、助言、指導を行う。特に、調査、面接、実験等で得られた各自のデータに基づく分析方法などについて個別指導を行う。

専門演習Ⅱ

杉本助男 他

3年 後期 必修 2単位

【授業の概要】

専任教員全員が担当し、4年次の卒業研究に必要な科学的な表現方法、実証的な研究方法、研究計画法、資料やデータの分析方法などを学習する。

卒業論文

杉本助男 他

4年 通年 必修 8単位

【授業の概要】

専門演習Ⅱで計画立案した卒業研究を実行に移し、各専任教員の指導の下で各学生は明確な問題意識と自覚をもって研究活動に取り組む。

専門演習Ⅲ

杉本助男 他

4年 前期 必修 2単位

【授業の概要】

専任教員全員が担当し、学生が各自設定した研究テーマに沿って文献を講読し、調査、面接、実験等を通して卒業研究の指導を行う。

社会言語学Ⅰ

アンドリュー・J・ムーディー

2~4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

世界における言語使用の実態に目を向け、さまざまな言語に見られる変種の使い分け、多言語・二言語使用、言語政策、およびビジン・クレオールについて考察し、言語使用に反映される社会的要因の理解を深める。

社会言語学Ⅱ

アンドリュウ・J・ムーディー

2～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

地域、社会階級、性別、年齢、民族に基づく社会的グループに属する人々の言語使用にみられる特徴を見ていく。さらに個人が、会話の目的や会話参加者間の人間関係などの言語使用の状況的因子により、どのような言語変種の選択を行うかについても考察する。

社会学概論

長濱一夫

2～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

わが国現代社会の主要な動向をとりあげ、社会学的手法—個人・集団・社会の相互遡及—と実証的・総合的観点から、検討・分析を加える。すなわち、都市化、情報化、国際化、高度消費化、高齢化などの考察により、現代社会に関する基礎的知識を修得させたい。

哲学概論

河邑光夫

2～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

ギリシアでの、特にプラトンとアリストテレスによる哲学の形式について述べ、続いて近代の哲学、デカルト、ロック、カント、ヘーゲル、マルクスや実在主義を述べた後、日本において独創的な哲学をつくった西田幾多郎や和辻哲郎の意義について講ずる。

倫理学概論

加藤太喜子

2～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

社会福祉や環境倫理・生命倫理が例になるように、倫理的なものが人々の関心を集めています。何故なら人間は倫理的な動物であるからです。そこで、本講義では、ソクラテス以降の倫理学を概説しながら、特に、人間の尊厳について考えていきたいと思います。

宗教学概論

川口高風

2～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

日本には異なった多くの宗教文化が混在している。宗教に関する基礎的知識を習得するため、世界の九種の宗教を概観し、続いて日本の宗教の神道、仏教、キリスト教、諸教に焦点をあてて役割や現代の状況などをながめてみる。

政治学

西尾林太郎

2～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

18、19世紀的市民社会と20世紀の大衆社会とを比較対照させつつ、現代社会の特質とそこで発生・展開する政治現象について、多角的に考察するとともに政治学理論を体系的に学び、ポータリティと相互依存性が高まった国際社会における国家についても考察する。

国際政治論

明石陽至

2～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

現在人類が直面している「紛争と平和」をめぐるさまざまな具体的問題について、国際紛争構造の形成・展開・変容の視点からとらえ、国際政治の意味について考えたい。

経済学概論 I

石坂綾子

2～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

最初に「経済学とは何か」について述べ、次に「資本主義経済システムの特徴」と「市場経済と政府の役割」について経済学の基礎的知識を与え、さらに「資本主義経済システムの成立と展開」について歴史的視点から考察する。

法学概論

大嶽 浩

2～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

現代社会は「法」という社会規範が網の目のようにはりめぐらされている。日常生活の中で「法」がいかにかかわっているかをふまえつつ、法学の基礎について学ぶ。

国際経済事情

真田幸光

2～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

外国系主要各紙、雑誌等の経済トピックスを毎週採り上げ、世界情勢を分析した上で日本経済がそれにどう対応していくかを考察する。

国際法概論

岡田 泉

2～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

主権国家間の法として成立した国際法の基本概念を把握した上で、個人、民族、国際機構という新たな主体が登場する現代国際社会で、国際法がいかに変貌しつつあるかを、戦争の規制や人権の保障などの分野を中心に見ていく。

コミュニケーション入門

藤井正志 植村勝彦 松本青也

1年 前期 必修 2単位

【授業の概要】

(概要) コミュニケーション学部の教育について、コミュニケーション心理、ビジネスコミュニケーション、言語コミュニケーションの3領域からの学習の動機づけをオムニバス方式で行う。★(オムニバス方式)★(藤井正志教授) コミュニケーションの問題について、現実的なビジネスの立場に立って、効果的なコミュニケーションの在り方を考察する。★(松本青也兼任教授) 言語や文化の異なるもの同士が相互に伝達を図り、交流しようとする場合に生じる様々な問題について、言語特有の発想や文化のもつ価値観、更に言語教育・政策までを比較対照しながら考察する。★(植村勝彦兼任教授) コミュニケーションの問題を心理学の立場からの理解の仕方を紹介する。中でも対人コミュニケーションについて、その理論を現実社会の問題とからめて取上げる。

【授業計画】

- 第1講 導入
- 第2講 職場の活性化とコミュニケーション
- 第3講 職場における人材教育とコミュニケーション
- 第4講 企業経営のコンセプトの変化とコミュニケーション
- 第5講 国際ビジネスの場におけるコミュニケーション
- 第6講 言語と思考
- 第7講 言語と社会
- 第8講 言語と教育
- 第9講 言語と文化
- 第10講 ありのままを知らせるコミュニケーション：自己開示
- 第11講 自分を演出するコミュニケーション：自己呈示
- 第12講 対人交渉のコミュニケーション：要請と承諾
- 第13講 非言語コミュニケーション：ボディ・ランゲージ

【評価方法】

出席状況と単位認定試験の成績により総合的に評価する。

【テキスト】

コミュニケーション学入門ー心理・言語・ビジネスー
(植村勝彦・松本青也・藤井正志著 ナカニシヤ出版)

心とコミュニケーション

西出隆紀

1年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

個人は意識の中心にある自我を軸とした人格と無意識にあるもうひとりの自分の両者のバランスを生きることになる。また、人と人とのコミュニケーションの歪みが個人の病理を生じさせることが明らかになってきており、そうした家族コミュニケーションのあり方も含めた、心の不思議について述べていきたい。

【授業計画】

授業は講義形式で、以下のタイトルに従って進められる。感想などを募って、興味深い内容については掘り下げて検討するつもりなので、主体的に参加して欲しい。

1. ものの世界とところの世界
2. ところと人間関係
3. ところ？性格？人格？
4. 自分のところ
5. ところの育ち
6. ところの問題
7. ところを癒す

【評価方法】

成績は出欠を考慮してテストで評価する。テストは手書きのノートのみ持ち込み可(コピーを持ち込んだ場合は失格)とするので、毎回出席しないとテストの時に慌てることになる。

【テキスト】

使用テキストなし。講義中に参考文献を紹介。

言葉とコミュニケーション

張 勤

1年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

人間のコミュニケーションの手段は様々あるが、本講義では言葉によるコミュニケーションにスポットライトをあて、言葉とコミュニケーションの複雑な関係を整理し、言葉のコミュニケーションにおける役割を考える。

【授業計画】

- 第1回 言葉によるコミュニケーションとは
実践：中国語コミュニケーション（1）
- 第2回 依頼のストラテジー（1）
実践：中国語コミュニケーション（2）
- 第3回 人間関係とコミュニケーション
実践：中国語コミュニケーション（3）
- 第4回 依頼のストラテジー（2）
実践：中国語コミュニケーション（4）
- 第5回 丁寧さとコミュニケーション
実践：中国語コミュニケーション（5）
- 第6回 挨拶のストラテジー
実践：中国語コミュニケーション（6）
- 第7回 社会関係とコミュニケーション
実践：中国語コミュニケーション（7）
- 第8回 質問のストラテジー
実践：中国語コミュニケーション（8）
- 第9回 言語行為とコミュニケーション
実践：中国語コミュニケーション（9）
- 第10回 コミュニケーションにおける言葉と文化
実践：中国語コミュニケーション（10）
- 第11回 コミュニケーションにおける日本語の可能性
実践：中国語コミュニケーション（11）
- 第12回 コミュニケーションにおける中国語の可能性
実践：中国語コミュニケーション（12）

【評価方法】

出席状況とレポートの成績によって総合的に評価する。

【テキスト】

講義中に指示する。

【参考書籍】

講義中に指示する。

ビジネスとコミュニケーション

真田幸光

1年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

日本企業の海外戦略の方向性をケーススタディーを通して学習。その中でビジネス交渉に関するキーポイントを解説し、生きたコミュニケーション術を考察する。

【授業計画】

- 第1回 年間計画指示・オリエンテーション
- 第2回 「働く」ことの意義
- 第3回 日本経済概況
- 第4回 米国経済概況
- 第5回 欧州経済概況
- 第6回 アジア経済概況
- 第7回 国際金融ビジネス
- 第8回 国内金融ビジネス
- 第9回 商社ビジネス
- 第10回 製造業ビジネス
- 第11回 通信とビジネス
- 第12回 試験
- 第13回 試験解説

【評価方法】

単位認定試験の成績による。

【テキスト】

授業中に配布する。

コンピュータ入門

三和義秀 出口智子 元吉忠寛 坂本 剛

1年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

コンピュータの初心者を対象にWindowsの基本操作、ワープロソフトの操作、並びにインターネットの使用法について学習する。授業のゴールは2つで、(1) レポートをワープロで作成できるようになること、(2) メールを使つてのコミュニケーションができること、である。

【授業計画】

- 第1回 Windowsの基本操作 (1)
- 第2回 Windowsの基本操作 (2)
- 第3回 ワープロソフトの操作 (1)
- 第4回 ワープロソフトの操作 (2)
- 第5回 ワープロソフトの操作 (3)
- 第6回 ワープロソフトの操作 (4)
- 第7回 メールの使い方 (1)
- 第8回 メールの使い方 (2)
- 第9回 ブラウザ使用法
- 第10回 ブラウザの活用
- 第11回 画像ソフトの使用法
- 第12回 その他アプリケーションの操作法
- 第13回 テスト

【評価方法】

出席、レポートの提出、並びにテストの総合評価による。

【テキスト】

授業中に指示する。

コンピュータ応用

森久美子 森 雅俊

1年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

「コンピュータ基礎」からさらに一歩進んだ形でコンピュータを心理学研究で活用する方法について学習する。目的は2つである。1つは、実験、調査、観察、面接等で得られた心理学的なデータの基本的な整理法並びに分析法を学ぶことである。そのために主に表計算ソフトの操作法を学ぶ。もう1つは、研究情報の収集あるいはコンピュータを使ったコミュニケーションの方法を学ぶことである。そのために、メールソフトやブラウザの操作を習得する。

【授業計画】

1. エクセルの基本操作 (1) (エクセルへのデータ入力、並びに編集)
2. エクセルの基本操作 (2) (コピー、移動、文字装飾等)
3. エクセルでの計算 (四則演算、セルを使った計算)
4. エクセルでの計算 (相対参照、絶対参照)
5. 表作成とエクセルでの印刷
6. グラフ作成 (1)
7. グラフ作成 (2)
8. 関数を使った計算 (1)
9. 関数を使った計算 (2)
10. 実際のデータを使つてのデータ処理 (1)
11. 実際のデータを使つてのデータ処理 (2)
12. 実際のデータを使つてのデータ処理 (3)
13. 実際のデータを使つてのデータ処理 (4)

【評価方法】

出席、レポートの提出、並びにテストの総合評価による。

【テキスト】

授業中に指示する。

TOEFL・TOEICトレーニングⅠ

ディビッド・C. ダイカス ジョナサン・E. ロング
ハリー・T. ノリス ディビッド・レヴィ

1・2年 前・後期 選択 2単位

【Course Content】

TOEFL、TOEICなどの英語能力測定試験を利用することにより、各自の英語能力を客観的に把握させ、そこから自主的な英語学習を促すものである。授業では、TOEFL500点、TOEIC640点などを到達目標として演習を行い、英語の総合運用能力を強化し、英語能力測定試験スコアの向上を目指す。

【Schedule】

Students must attend a minimum of 9 classes. There will be a precourse test and a post-course test.

Students must sit for at least one TOEFL/TOEIC test during the semester. This test will be used as part 3. of the assessment (See ASSESSMENT below). It will be the students responsibility to submit these test scores to their teacher.

【Assessment】

Assessment will be based on:

1. Attendance
2. Speed of progression
3. TOEFL/TOEIC score

【Textbooks】

TOEFL TEXT : To be announced

TOEIC TEXT : To be announced

別途配付予定

TOEFL・TOEICトレーニングⅡ

ジョナサン・E. ロング

1～3年 前・後期 選択 2単位

【Course Content】

The aim of this course is to equip students with the skills and knowledge they will require to achieve at least 550 points on the TOEFL and 720 points on the TOEIC tests. This will done by intensive classroom work with exercises and practice tests. All instruction and explanation will be in English.

【Schedule】

To be announced.

【Assessment】

To be announced.

【Textbooks】

To be announced.

別途配付予定

ビジネスジャーナル講読

藤井正志 森下允之 梅田敏文 真田幸光
浅井敬一郎 石川雅之 石坂綾子 浅野敬志

1年 前期 必修 2単位

【授業の概要】

日経ビジネス、東洋経済、ダイヤモンドなどの経済誌から毎週テーマを決め、輪読と質疑応答を通じて現実の経済状況の把握と、経済学の専門用語を学ぶとともに経済学的な解説を加える。

【授業計画】

第1～12講 経済、金融、ビジネスコミュニケーションなど幅広いテーマを取上げる。

第13講 単位認定試験

【評価方法】

出席状況と単位認定試験の成績によって総合的に評価する。

【テキスト】

第1講の開始前に配布する。

英文ビジネスジャーナル講読

藤井正志 森下允之 梅田敏文 真田幸光
浅井敬一郎 石川雅之 石坂綾子 浅野敬志

1年 後期 必修 2単位

【授業の概要】

ビジネスウィークやインターネット上のBBC、ABCの経済ニュース記事を英文教材として用い、世界でどのような経済問題が起きているのか、海外から見た日本経済の評価などについて英語での理解を深める。

【授業計画】

第1～12講 経済、金融、ビジネスコミュニケーションなど幅広いテーマを取上げる。

第13講 単位認定試験

【評価方法】

出席状況と単位認定試験の成績によって総合的に評価する。

【テキスト】

第1講の開始前に配布する。

経済学概論 I

石坂綾子

1年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

最初に「経済学とは何か」について述べ、次に「資本主義経済システムの特徴」と「市場経済と政府の役割」について経済学の基礎的知識を与え、さらに「資本主義経済システムの成立と展開」について歴史的視点から考察する。

【授業計画】

- I 経済学とは何か
- II 資本主義市場経済 —政府の役割—
- III 資本主義経済システムの成立と展開
 - ①自由主義局面（1820-1913年）
—自由放任の経済政策—
- IV ②構造転換局面（1914-1945年）
—恐慌下の経済政策—
- V ③黄金期（1945-1973年）
—IMF・GATT体制—
- VI ④新自由主義局面（1973年-現在）
—多極化と相互依存—

【評価方法】

出席状況と単位認定試験の成績によって総合的に評価する。

【参考書籍】

新訂 欧米経済史（藤瀬浩司著 放送大学教育振興会）
世界経済史（石見 徹著 東洋経済新報社）
ゼミナール経済学入門（福岡正夫著 日本経済新聞社）

経営学概論 I

浅井敬一郎

1年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

経営学の基本的な概念と理念を体系的に学ぶとともに、現代の企業と経営者の役割と意義について考察する。

【授業計画】

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 イントロダクション
- 第3～4回 企業の諸形態
- 第5回 日米株式会社構造の相違点
- 第6～7回 経営組織の諸形態
- 第8回 会社分割・持株会社制度
- 第9～11回 経営戦略
- 第12回 まとめ

【評価方法】

レポートおよび定期試験によって評価する。

【テキスト】

特に指定しない。

【参考書籍】

経営のしくみ（青木三十一著 日本実業出版社）
入門経営学（亀川雅人・鈴木秀一著 新世社）
はじめての経営学（森川英正著 有斐閣ブックス）

基礎数学

坂井貞彦

1・2年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

専門科目を学ぶ際に必要な基礎的数学として、線形数学、微分法および積分法の初歩を学習する。

【授業計画】

講義方式による。

第1回～第5回 線形代数

連立1次方程式、行列式、行列、数ベクトル

第6回～第10回 微分法

極限值、連続、導関数、初等関数の微分、極大極小、平均値の定理、2変数の関数、偏導関数

第11回～第12回 積分法

不定積分、定積分

【評価方法】

おもに期末試験（筆記）による。（毎回出欠席を調査する。欠席回数が多い場合は受験資格を失う。）期中にレポートを提出させ、また小テストを実施した場合は、成績評価に反映させる。

【テキスト】

ブラクティカル基礎数学（永田幸令・三好武雄 開成出版 1,732円（税込））

統計学基礎

坂井貞彦

1・2年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

身近なデータを教材にして、統計学の基本的な概念と手法を講義し、社会統計が現代社会生活にどのようにかかわっているか、いかに必要であるかについて学習する。

【授業計画】

講義方式による。

1 統計と統計分析

2 日本の統計調査

3 代表値、標準偏差、時系列データ

4 相関、相関係数

5 順序、組合せ、確率

6 確率変数、確率分布、期待値

7 標本抽出、標本平均、標本分数

8 点推定、区間推定、平均値の推定

9 仮説の検定

10 総合指数、物価指数

11 回帰分析、単純回帰、多重回帰

【評価方法】

おもに期末試験（筆記）による。（毎回出欠席を調査する。欠席回数が多い場合は受験資格を失う。）期中にレポートを提出させ、また小テストを実施した場合は、成績評価に反映させる。

【テキスト】

入門統計学（木下宗七 有斐閣 2,520円（税込））

情報システム概論Ⅰ

梅田敏文

1年 前期 必修 2単位

【授業の概要】

コンピュータの原理と歴史、ハードウェア、ソフトウェア、ネットワークの概説、情報化の課題を通して、情報システムの基礎知識を取得する。

【授業計画】

- 第1講 ガイダンス
- 第2講 ビジネスとコンピュータ
- 第3講 コンピュータの歴史
- 第4講 データの表現
- 第5講 ハードウェアの概要
- 第6講 ソフトウェアの概要
- 第7講 プログラムの設計と開発
- 第8講 データベースシステム
- 第9講 通信ネットワーク
- 第10講 コンピュータの基本構成
- 第11講 情報システムの今後の課題
- 第12講 まとめ

【評価方法】

ひとつのテーマが終了した時点でミニテストを実施する(2-3回)。出席点40%、ミニテストその他60%で評価する。

【テキスト】

最初に全体のプリントを配布する。
授業の途中に適宜、資料を配布する。

金融論

藤井正志

1年 後期 必修 2単位

【授業の概要】

資金循環勘定と企業の資金調達、直接金融・間接金融に係る金融仲介機関の機能、金融市場と金利等、金融の役割・仕組みについて論ずる。

【授業計画】

- 第1講 わが国の金融構造
- 第2講 銀行の基本的機能
- 第3講 わが国の金融制度と金融機関
- 第4講 金融市場と金利
- 第5講 預金業務
- 第6講 貸出業務
- 第7講 デリバティブ・証券化
- 第8講 証券業務
- 第9講 国際業務
- 第10講 バブルの崩壊と日本の金融システム
- 第11講 銀行経営と情報開示
- 第12講 金融制度改革と金融機関の将来展望
- 第13講 単位認定試験

【評価方法】

出席状況と単位認定試験の成績によって総合的に評価する。

【テキスト】

全国銀行協会調査部編『図説 わが国の銀行』財経詳報社

簿記Ⅰ

前川三喜男

1年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

複式簿記の基礎原理と仕訳から財務諸表の作成にいたる会計手続の全体系を概説し、簿記の基礎の理解を完全にするため記帳練習も行う。

【授業計画】

- 第1回 簿記を学ぶにあたって
- 第2回 損益計算書と貸借対照表
- 第3回 取引と勘定
- 第4回 仕訳帳と総勘定元帳
- 第5回 商品売買の記帳方法
- 第6回 現金・預金と手形の記帳方法
- 第7回 その他の勘定の記帳方法
- 第8回 補助簿の記帳方法
- 第9回 試算表
- 第10回 決算
- 第11回 決算修正の記帳方法
- 第12回 損益計算書と貸借対照表の作成
- 第13回 単位認定試験

【評価方法】

出席状況と単位認定試験の成績によって総合的に評価する。

【テキスト】

例解演習基本簿記（山本孝夫・前川邦生編著 創成社）

簿記Ⅰ

森 恒夫

1年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

複式簿記の基礎原理と仕訳から財務諸表の作成にいたる会計手続の全体系を概説し、簿記の基礎の理解を完全にするため記帳練習も行う。

【授業計画】

- 第1回 簿記の成立及び現代社会と会計情報
- 第2回 複式簿記の基本原則
- 第3～4回 現金・預金及び商品売買に関する記帳処理
- 第5回 債権・債務及び手形に関する記帳処理
- 第6回 有価証券・資産管理及び資本に関する記帳処理
- 第7回 費用・収益に関する記帳処理
- 第8回 帳簿組織
- 第9～11回 決算の簿記
- 第12回 単位認定試験

【評価方法】

出席状況・平常点及び単位認定試験によって総合的に評価。

【参考書籍】

現代簿記会計（大塚宗春他著 中央経済社）
簿記教科書五訂新版（沼田嘉穂著 同文館）

簿記Ⅱ

森 恒夫

1・2年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

複式簿記の理解を深めることを目的にして、内容的により高度な個別問題を詳論するとともに、取引の仕訳、勘定記入や財務諸表の作成という具体的処理を論ずる。

【授業計画】

- 第1回 前期簿記Ⅰの復習
- 第2回 債権及び棚卸資産の管理と評価
- 第3回 有価証券及び固定資産の管理と評価並びに繰延資産
- 第4～5回 特殊な商品売買
- 第6～8回 株式会社の資金調達
- 第9回 引当金と偶発債務
- 第10回 本文店会計及び連結会計
- 第11回 コンピューター会計
- 第12回 単位認定試験

【評価方法】

出席状況・平常点及び単位認定試験によって総合的に評価。

【参考書籍】

現代簿記会計（大塚宗春他著 中央経済社）
簿記教科書五訂新版（沼田嘉穂著 同文館）

日本経済事情

真田幸光

1年 前期 必修 2単位

【授業の概要】

日系主要各紙、雑誌等の経済トピックスを毎週採り上げ、日々刻々と変化する日本の経済情勢を金融マン的視野から考察する。

【授業計画】

- 第1回 年間計画指示・オリエンテーション
- 第2～11回 前週に配布した時事経済トピックスに関する資料につき解説を行った上で経済情報に関する意見交換を行う。
- 第12回 試験
- 第13回 試験解説

【評価方法】

単位認定試験の成績による。

【テキスト】

授業中に配布する。

下記の科目は、本年度開講しません。

プレゼンテーション

松田照美

集中 2・3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

一般社会人として、コミュニケーションを円滑に行なうに必要な対人接遇の在り方について、電話による応待、面談の効果的な仕方、文書の取り扱いなどについて学習する。

異文化コミュニケーション

高井次郎

2～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

異文化の相手との相互作用を円滑に運ぶために必要な知識、態度、および対人行動技術について、言語および非言語行動を中心に考察する。日本的対人行動パターンの自覚を通じて、異文化コミュニケーションの障壁となりうる要因を考察する。

異文化トレーニング

近藤祐一

2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

異なる文化背景を持つ人々がともに生活し、問題を解決するためにどのような知識・態度をもちながらコミュニケーションを取るべきかについて、ロールプレイやシミュレーションを用い分析・考察する。

国際交流論

榎田勝利

2～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

経済大国となった日本は、国際社会の有力な一員として責任ある行動をとることが必要となってきた。近年の「国際化」に伴い、政治、経済、学術、芸術、スポーツなどの分野でも、盛んに国際交流が行われているが、果たして真の交流が実現しているのだろうか。主に日本に滞在する多くの外国人との異文化接触を通しての国際交流のありかたについて論ずる。

TOEFL・TOEICトレーニングⅢ

ジョアン・M. ウッドマン

2～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

TOEFL、TOEICなどの英語能力測定試験を利用することにより、意欲ある学生のさらなる自主的英語学習を促すものである。授業では、TOEFL600点、TOEIC860点などを到達目標として演習を行い、英語の総合運用能力を強化し、英語能力測定試験スコア向上を目指す。

メディア論

遠藤雄久

2～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

本構の目的は、マルチメディア時代といわれる現代のメディア状況をよりよくとらえるために、歴史社会的視点に立ってメディアと人間・社会の関わり方を振り返って見ようというものである。十九世紀後半に出現した電信、電話から始めテレビジョンそしてパーソナルコンピュータに至る電子メディアの発展の過程を、人間や社会がどのようにメディアをデザインしてきたかという観点からたどっていく。

国際関係論

明石陽至

2～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

冷戦対戦後の国際関係の変様を概観し、日本を中心に
して新しい国際関係の在り方を考えてみたい。

比較文化論Ⅰ（日・米）

松本青也

2～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

集団が共有する価値観や規範の体系としての文化につ
いて、日本とアメリカを比較対照して、それぞれの文化
の特質を浮き彫りにするとともに、異文化理解を深める
方法についても考察する。

異文化教育論

霜田一敏

2～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

日本においても国際化が進展し、さまざまな国の人た
ちが急速に増大している。私たちは益々異なった文化と
言語を持った人たちと共存して生きていかなければなら
ない。世界の人々との平和的な交流を図る上で、異文化
理解はこれからの教育の重要な問題である。この問題を
国際理解教育の観点から具体的に論究する。

比較文化論Ⅱ（日・欧）

トマー・トドロヴィック

2～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

西ヨーロッパの主な諸国（フランス、英国、ドイツ、
イタリア、スペイン）と日本におけるさまざまな文化活
動の状況、問題点に関する最近のデータを利用して比較
を行う。

比較教養論

渡辺かよ子

2～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

言語を中心とする「教養」に関する各国の思想史を概
説し、国際化・高齢化・情報化の進展の中で今後の自己
教育としての「教養」の在り方、普遍的教養の有無、コ
ミュニケーションの基礎としての「教養」の問題を論じ
る。

比較文化論Ⅲ（日・アジア）

馮富榮 他

オムニバス 2～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

（概要）アジア諸国の中でも、特に日本と深い関りのあ
る中国と韓国を取り上げ、歴史認識や政治までを含めた
広範囲な文化を日本と比較する。
（オムニバス方式）
（馮富榮兼担助教授）日本と中国の文化・習慣の違いに
ついて説明する。主として、両国の政治・食文化、風俗
習慣・建築文化、漢字の文化、交流文化及びお茶とお酒
の文化などをテーマにし、講義し、比較する。
（尹大辰兼任講師）「日韓両国の歴史認識への接近」をテ
ーマに韓国近代史に焦点をあて、まず自らを点検し、共
有する歴史認識の確立をめざし、今後のあるべき姿を模
索していこうとするものである。

比較文化論Ⅳ（日・中東）

岡 真理

集中 2～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

アラビア語という言語の問題、その歴史言語学的性格と社会言語学的特徴、「小説」という近代的認識の枠組みの問題、そして主体としての民族あるいは女性とその表象の問題等を主要なテーマとし考察する。

経済学概論Ⅱ

太田聡一

2年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

マクロ経済学とミクロ経済学の基礎について概説する。

経営学概論Ⅱ

浅井敬一郎

2年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

経営学の知識をさらに深めるために、経営手法として経営戦略、組織形態、人事労務、インセンティブシステムについて考察する。

情報システム概論Ⅱ

石橋善弘

2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

計算機械、通信技術、制御技術の発展の跡をたどり、「情報システム」という概念が生まれた必然性について解説する。また、情報に関する基礎概念を、情報の表現形式、加工、変形およびそれらに基づく情報の発生、処理という一連の流れを通して把握させる。さらに、情報システムがいかに構築され、いかに活用されているかについての理解を深める。

プログラミングⅠ

石橋善弘

2・3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

コンピュータを道具として問題解決をはかるという過程が、諸方面で進展している。プログラミングの基本的な考え方を概説し、FORTRAN、BASIC等を用いて日常生活、社会活動において有用なプログラムを作成する能力を養う。

プログラミングⅡ

梅田敏文

2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

プログラミング言語の機能と特徴を理解し、簡単なプログラム（VB、JAVAなど）を作成することによって、マン・マシン・インターフェースの実際と課題を考察する。

システムデザインⅠ

梅田敏文

3・4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

金融情報システムのパッケージや最新業務システムを分析することによって、アプリケーションプログラムやデータベースシステムのデザインの概念、方法、手順などを学ぶ。

システムデザインⅡ

内野明

集中 3・4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

会計システムデザインの方法、仕組みを会計パッケージを分析、解決しながら講義し、会計システムの機能と構造の知識、およびデザインの技法を習得する。

国際金融論

藤井正志

2・3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

国際金融市場、国際証券市場の動向、起債に関する実務、デリバティブの動向とリスク管理等、基礎と現実の動きを幅広く考察し、今後の課題についても検討する。

国際投融资論

森下允之

2・3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

「国際金融論」のファイナンスの側面である。「国際金融論」が理論面を中心にするのに対し、国際投融资論は歴史と統計に基づき国際資本の動きとその各国経済発展への影響について説明する。具体的には以下の通りである。①国際資本推移の形態：直接投資、証券投資、投資決定要因、②国際資本推移の歴史と現状：地域別・形態別推移およびその影響、③ユーロ市場の発展と役割、④企業活動の国際化と直接投資：特に戦後の本邦企業の対外直接投資の推移とグローバル戦略、⑤証券投資増大とその功罪

外国為替論

森下允之

2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

「国際金融」のExchange（交換、為替）の側面。基礎的な概念・理論から今日の制度・為替政策、さらに経済への影響まで触れる。具体的には以下の通りである。①外国為替の仕組み、②外国為替相場、③外国為替市場、④外国為替リスクと回避方法、⑤為替相場と国際収支、⑥為替相場制度と政策

銀行ビジネス論

森下允之

2・3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

「金融論」が理論面の分析が中心なのに対し、その担い手である金融機関・銀行の制度、役割、変化を国際的に比較しながら論ずる。具体的には以下の通りである。①金融システムの基礎知識、②日本の金融システムの特徴と変貌、③銀行ビジネスの多様化・国際化、④金融リスク管理と銀行監督行政

保険ビジネス論

跡部浩一

2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

保険業法の基本事項を学習し、現代の企業経営にとって不可欠な各種保険の意義と役割についての理解を深めたい。

ファイナンス特論

水谷研治

3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

企業経営資金の需要者と供給者との間には、現在多種多様な金融機関が存在している。これらの金融構造を学習し、現在の各種金融機関の特色とその役割を理解する。

証券ビジネス論

島田舒一

2・3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

ビッグバン後、証券市場、証券会社、証券行政などいずれも変革が進みつつあり、またグローバル化の中で証券ビジネスは質量とも変わろうとしている。そこで広範囲にわたる証券ビジネスを具体的に論ずるとともに、金融システムや市場の変化の中でどう変わっていくか、その背景と方向性についても考察する。

会計学概論

石川雅之

2・3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

一般に公正妥当と認められている会計の諸原則や手続きを学習し、会計諸帳簿の記載事項についての基本的理解を深める。

金融システム論

石坂綾子

2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

中央銀行と金融政策、銀行と証券市場、国際的金融制度（IMF、世界銀行など）など金融システムについての基本的特徴をその機能と歴史的背景から考察する。

原価計算

木村彰吾

2・3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

企業活動の原点である物作りと生産物の原価の仕組みを理解するとともに、製品原価の計算方法、目的、手段、利用方法について考察する。

管理会計

木村彰吾

2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

現代の企業経営における意志決定には、予測情報と実績情報が必要不可欠である。企業内の各階層の経営管理者は、これらの提供された情報の分析・解明を通じてどのように合理的な企業経営を行っているか、具体例をあげて講ずる。

財務会計論

石川雅之

2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

企業等が公表する財務諸表の作成につき、その基礎となる会計処理および手続と、財務諸表の表示方法の基礎的理論を講ずる。

国際会計

山川勝 他

3年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

企業の経営活動の国際化に伴い、各国の会計基準の相違が問題になる。特に、米国会計基準、国際会計基準の動向に注目して会計基準の国際的調和について考察する。また、個別の企業会計の問題として、為替レート変動が企業に与える影響に関して、会計的な側面から論じる。

経営分析

浅野敬志

2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

会計理論の基礎構造をなす会計公準や会計原則とともに、資産会計論、負債会計論、資本会計論、損益会計論といった伝統的な会計学に関する基礎知識を、できるだけ通説に従って検討する。

監査論

前川三喜男

2・3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

近年、都市銀行や大手証券会社等の上場企業の倒産が相続き、会計士監査のあり方が問題とされている。このような現状下における監査の実態と歴史的な考察ならびに今後の発展のための監査理論について考える。

会計学特論Ⅰ

友杉芳正

2・3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

国際化・情報化に直面している企業経営において、会計学が果たす社会的役割を理論的・実証的に研究し、ビジネスの言語としての会計学が、スチークホルダーの意思決定に有用な会計情報を提供する要件とその信頼性の保証問題を論じる。

会計学特論Ⅱ

杉本典之

3・4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

企業や経済の国際化に不可欠な会計制度の国際比較、会計基準の国際的統一化・調和化に資する各国における制度改正の動向把握、企業情報開示政策をめぐる諸問題の解明等を通じて国際的会計政策について論じる。

国際経済事情

真田幸光

2～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

外国系主要各紙、雑誌等の経済トピックスを毎週採り上げ、世界情勢を分析した上で日本経済がそれにどう対応していくかを考察する。

経済交流史

清水 洋

3・4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

国際経済交流の歴史的意義を明らかにし、明治期から今日に至るまでの日本と東南アジアの経済交流を事例として、移民、金融、通商、直接投資、ODAなどの面を多目的に考察する。

ビジネスプレゼンテーション

梅田敏文

2～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

ビジネスの場面における自己表現の効果的な技法を理論面、実践面から考察する。ビジネスの諸局面で発生する課題を各自で分析し、プレゼンテーションツール（パソコンなど）を使用して実践することにより、プレゼンテーションスキルを取得する。

スキルマネージメント

浅井敬一郎

2～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

工学技術が進展するに伴ってスキルが企業の競争力として重要となっている。企業経営におけるスキルの意味を明らかにした上で、スキルの獲得、移転のプロセスについて論じる。

比較文化特論

國信潤子

2～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

この講座ではジェンダー概念とは何かを紹介し、ジェンダー関係の文化多様性がどのような現象として見られるか、またジェンダー間の勢力関係のアンバランスが差別となる様相について考察する。統計データ分析や英文資料による講読も含まれる。

異文化コミュニケーション特論

霜田一敏

2～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

異なったライフ・スタイルや価値観を持った人々との共存が時代の要請であり、異質なもの、異文化的なものを知ることは自国文化の本質を知ることでもある。その意味からも、日本人の常識と社交性の特徴を取り上げ、究明するなかから外国人とのコミュニケーションを良くする方途を考えてみたい。

集団行動論

森久美子

3・4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

我々の生活は、さまざまな集団や社会の中で営まれている。そうした集団や社会で発生するダイナミックスについて、社会心理学的理論をもとに解説し、個人と集団・社会の相互作用過程について考察する。意思決定や課題遂行における集団内の影響過程、集団間の葛藤と協調、個人行動と集合行動の関連、などの問題を取り上げて論じる。

社会心理学

森久美子

3・4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

社会心理学における主要な理論・研究について、特に実験的研究を紹介しながら概説する。これを通して、実験社会心理学の枠組みによって、社会的な行動や現象を理解するための基礎的知識を身につける。具体的には、実験社会心理学の方法論のほか、社会的認知、社会的態度、対人魅力、社会的影響過程、集団行動、など社会心理学に関する幅広いテーマに関する実証的研究について解説する。

マスコミュニケーション

遠藤雄久

3・4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

マスコミュニケーションの機能、マスメディアの利用、マスの送り手と受け手、ジャーナリズムと世論などについて概説する。また、日本のテレビ放送の歩みをたどり、21世紀の映像メディアの将来像を考える。

組織心理学

斎藤和志

3・4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

組織における人間行動を質問紙や面接、観察に基づく調査などから得られた実証的データを用いて、一定の仮説に基づき説明しようとする行動科学的アプローチとしての組織心理学の領域から、いくつかのテーマを取り上げ、考察する。仕事への動機づけと満足の問題、組織におけるリーダーシップの問題、組織内キャリア発達の問題などを取り上げる。

放送メディア論

遠藤雄久

3・4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

多メディア化、多チャンネル化、更には国際化の趨勢のなかで、放送システムとりわけテレビ放送の地位は大きく揺らぎ、新しい対応を迫られている。本講義は、テレビ放送の「過去・現在・未来」を具体的な事実、データに基づいて考察し、情報化社会のなかでのテレビ放送の新しい可能性を探る。

現代マーケティング論

石田米一

3・4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

本講義では、様々な関係性に注目した新たな消費者—生活者像、消費の本質、生活価値観の転換あるいはマルチメディアによる情報伝様式等々に焦点を当てた新たな時代のマーケティングのあり方を、様々なデータや事例等を交えて議論していきたい。

消費者行動

石田好江

3・4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

消費者行動分析は、非常に学際的な分野である。本講では経済学による消費選択行動、家計行動を中心に扱うが、他の学問分野の枠組みも取り入れながら、変化する消費者の行動を分析したい。

Communication Strategies I

ダニー・T. モルデン

3・4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

議論やディベートについて基本的な概念を学びながら、その際の主張や証拠、論理の組み立てについて分析し、話し合う。

Communication Strategies II

ダニー・T. モルデン

3・4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

議論やディベートについての様々な概念を考察しながら、実際に自分の主張を発表し、その主張を証拠や論拠をあげて反論から守る訓練をする。

Communication Strategies III

ダニー・T. モルデン

4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

主張や証拠、理論の組み立てを論破する様々な方法を学びながら、議論やディベートへの対応について考察する。

Communication Strategies IV

ダニー・T. モルデン

4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

議論やディベートにおける相互作用という側面に焦点をあてながら、実際にディベートを準備してクラスで行い、ディベートのもつ様々な要素について考察を加える。

ビジネス英語

蜂須賀幸志

3・4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

21世紀、いかにインターネット上の取り引きが主流であっても、ビジネス界で使用される公式社外用ビジネスレターの作成並びに社内報メモランダム作成能力の修得は不可欠である。このコースはこうした実践的ビジネス英語の能力養成をゴールとする。

専門演習Ⅰ

藤井正志 他

3年 前期 必修 2単位

【授業の概要】

学生の関心に基づき、それぞれの分野の演習を選択する。卒業論文を選択する学生の指導を併せ行う。

基礎演習Ⅰ

藤井正志 他

2年 前期 必修 2単位

【授業の概要】

それぞれの分野の演習は、学生が選択し、双方向の授業の中で、学生の関心を引き出していく。

専門演習Ⅱ

藤井正志 他

3年 後期 必修 2単位

【授業の概要】

学生の関心に基づき、それぞれの分野の演習を選択する。卒業論文を選択する学生の指導を併せ行う。

基礎演習Ⅱ

藤井正志 他

2年 後期 必修 2単位

【授業の概要】

それぞれの分野の演習は、学生が選択し、双方向の授業の中で、学生の関心を引き出していく。

専門演習Ⅲ

藤井正志 他

4年 前期 必修 2単位

【授業の概要】

学生の関心に基づき、それぞれの分野の演習を選択する。卒業論文を選択する学生の指導を併せ行う。

専門演習Ⅳ

藤井正志 他

4年 後期 必修 2単位

【授業の概要】

学生の関心に基づき、それぞれの分野の演習を選択する。卒業論文を選択する学生の指導を併せ行う。

職業指導論

須田宣洋

3年 前後期 選択 2単位

【授業の概要】

職業生活に必要な基本的な能力、態度、勤労観及び職業観の育成を目指し、自己の将来の生き方や進路について考えることの出来る人間の育成を目標とする。

商業学校出身者の進路と必要な知識、技能について学習することによって、専門教育に積極的に取り組み、各種技能検定によってより専門的な知識と技能を習得し、経済社会に主体的に生きる人材育成を目指す職業指導の在り方を学習する。

卒業論文・制作

藤井正志 他

4年 通年 選択 8単位

【授業の概要】

専門演習Ⅰ、専門演習Ⅱを通じて興味と関心のある分野を発見し、専門演習Ⅲ、専門演習Ⅳにおいての中間研究発表をもとにして、演習指導教員の個別指導により卒業論文・制作に結実させる。

法律学概論

大嶽 浩

2～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

現代社会は「法」という社会規範が網の目のようにはりめぐらされている。日常生活の中で「法」がいかにかかわっているかをふまえつつ、法律学の基礎について学ぶ。

国際法概論

岡田 泉

2～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

主権国家間の法として成立した国際法の基本概念を把握した上で、個人、民族、国際機構という新たな主体が登場する現代国際社会で、国際法がいかに変貌しつつあるかを、戦争の規制や人権の保障などの分野を中心に見ていく。

政治学

西尾林太郎

2～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

18、19世紀的市民社会と20世紀の大衆社会とを比較対照させつつ、現代社会の特質とそこで発生・展開する政治現象について、多角的に考察するとともに政治学理論を体系的に学び、ボーダレス化と相互依存性が高まった国際社会における国家についても考察する。

国際政治論

明石陽至

2～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

現在人類が直面している「紛争と平和」をめぐるさまざまな具体的問題について、国際紛争構造の形成・展開・変容の視点からとらえ、国際政治の意味について考えたい。

倫理学概論

加藤太喜子

2～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

社会福祉や環境倫理・生命倫理が例になるように、倫理的なものの人々の関心を集めています。何故なら人間は倫理的な動物であるからです。そこで、本講義では、ソクラテス以降の倫理学を概説しながら、特に、人間の尊厳について考えていきたいと思っています。

社会学概論

長濱一夫

2～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

わが国現代社会の主要な動向をとりあげ、社会学的手法一人・集団・社会の相互適及一と実証的・総合的観点から、検討・分析を加える。すなわち、都市化、情報化、国際化、高度消費化、高齢化などの考察により、現代社会に関する基礎的知識を修得させたい。

宗教学概論

川口高風

2～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

日本には異なった多くの宗教文化が混在している。宗教に関する基礎的知識を習得するため、世界の九種の宗教を概観し、続いて日本の宗教の神道、仏教、キリスト教、諸教に焦点をあてて役割や現代の状況などをながめてみる。

哲学概論

河邑光夫

2～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

ギリシアでの、特にプラトンとアリストテレスによる哲学の形式について述べ、続いて近代の哲学、デカルト、ロック、カント、ヘーゲル、マルクスや実在主義を述べた後、日本において独創的な哲学をつくった西田幾多郎や和辻哲郎の意義について講ずる。

心理学概論 I

松尾貴司

2～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

心理学の研究対象および研究方法の特徴を明らかにすることによって、行動科学としての心理学を展望する。心理学概論 I では、感覚、知覚、記憶、学習、思考などの人間の基本的な心理過程を実験心理学に基づく知見を中心に講義する。

民法基礎

川地宏行

3・4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

「権利と義務の体系」を中心にして講義を進め、「権利の濫用」と「信義誠実の原則」について具体例をふまえて、日常生活と関わりの深い民法への入門としたい。

税務特講

森 恒夫

3・4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

税法の内税理士試験では必修とされている法人税法および所得税法の重要項目について、徹底的に解明し、理解を深め、計算ミス等のない様に講ずる。

商法基礎

上田純子

3・4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

本講では、商法総則と商行為法に視点をあて、現代社会における企業の組織と活動との関係を具体的事例に基づいて講ずる。

会計特講

前川三喜男

3・4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

株式会社が公表する財務諸表の基礎となる会計理論、財務諸表の作成方法および財務諸表の見方について論求する。

税法基礎

上田純子

3・4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

税法の内容を、租税実体法、租税手続法、および租税罰法に大別して、それぞれについて具体的事例に基づいて解説し、税法への理解を深めたい。

コミュニケーション入門

松本青也 藤井正志 植村勝彦

1年 前期 必修 2単位

【授業の概要】

(概要) コミュニケーション学部の教育について、コミュニケーション心理、ビジネスコミュニケーション、言語コミュニケーションの3領域からの学習の動機づけをオムニバス方式で行う。★(オムニバス方式)★(松本青也教授) 言語や文化の異なるもの同士が相互に伝達を図り、交流しようとする場合に生じる様々な問題について、言語特有の発想や文化のもつ価値観、更に言語教育・政策までを比較対照しながら考察する。★(植村勝彦兼担教授) コミュニケーションの問題を心理学の立場からの理解の仕方を紹介する。中でも対人コミュニケーションについて、その理論を現実社会の問題とからめて取上げる。★(藤井正志兼担教授) コミュニケーションの問題について、現実的なビジネスの立場に立って、効果的なコミュニケーションの在り方を考察する。

【授業計画】

- 第1講 導入
- 第2講 言語と思考
- 第3講 言語と社会
- 第4講 言語と教育
- 第5講 言語と文化
- 第6講 ありのままを知らせるコミュニケーション：自己開示
- 第7講 自分を演出するコミュニケーション：自己呈示
- 第8講 対人交渉のコミュニケーション：要請と承諾
- 第9講 非言語コミュニケーション：ボディ・ランゲージ
- 第10講 職場の活性化とコミュニケーション
- 第11講 職場における人材教育とコミュニケーション
- 第12講 企業経営のコンセプトの変化とコミュニケーション
- 第13講 国際ビジネスの場におけるコミュニケーション

【評価方法】

出席状況と単位認定試験の成績により総合的に評価する。

【テキスト】

コミュニケーション学入門ー心理・言語・ビジネスー(植村勝彦・松本青也・藤井正志著 ナカニシヤ出版)

心とコミュニケーション

西出隆紀

1年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

個人は意識の中心にある自我を軸とした人格と無意識にあるもうひとりの自分の両者のバランスを生きることになる。また、人と人とのコミュニケーションの歪みが個人の病理を生じさせることが明らかになってきており、そうした家族コミュニケーションのあり方も含めた、心の不思議について述べていきたい。

【授業計画】

授業は講義形式で、以下のタイトルに従って進められる。感想などを募って、興味深い内容については掘り下げて検討するつもりなので、主体的に参加して欲しい。

1. ものの世界とところの世界
2. ところと人間関係
3. ところ?性格?人格?
4. 自分のところ
5. ところの育ち
6. ところの問題
7. ところを癒す

【評価方法】

成績は出欠を考慮してテストで評価する。テストは手書きのノートのみ持ち込み可(コピーを持ち込んだ場合は失格)とするので、毎回出席しないとテストの時に慌てることになる。

【テキスト】

使用テキストなし。講義中に参考文献を紹介。

言葉とコミュニケーション

張 勤

1年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

人間のコミュニケーションの手段は様々あるが、本講義では言葉によるコミュニケーションにスポットライトをあて、言葉とコミュニケーションの複雑な関係を整理し、言葉のコミュニケーションにおける役割を考える。

【授業計画】

- 第1回 言葉によるコミュニケーションとは
実践：中国語コミュニケーション（1）
- 第2回 依頼のストラテジー（1）
実践：中国語コミュニケーション（2）
- 第3回 人間関係とコミュニケーション
実践：中国語コミュニケーション（3）
- 第4回 依頼のストラテジー（2）
実践：中国語コミュニケーション（4）
- 第5回 丁寧さとコミュニケーション
実践：中国語コミュニケーション（5）
- 第6回 挨拶のストラテジー
実践：中国語コミュニケーション（6）
- 第7回 社会関係とコミュニケーション
実践：中国語コミュニケーション（7）
- 第8回 質問のストラテジー
実践：中国語コミュニケーション（8）
- 第9回 言語行為とコミュニケーション
実践：中国語コミュニケーション（9）
- 第10回 コミュニケーションにおける言葉と文化
実践：中国語コミュニケーション（10）
- 第11回 コミュニケーションにおける日本語の可能性
実践：中国語コミュニケーション（11）
- 第12回 コミュニケーションにおける中国語の可能性
実践：中国語コミュニケーション（12）

【評価方法】

出席状況とレポートの成績によって総合的に評価する。

【テキスト】

講義中に指示する。

【参考書籍】

講義中に指示する。

ビジネスとコミュニケーション

浅井敬一郎

1年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

日本企業の海外戦略の方向性をケーススタディーを通して学習。その中でビジネス交渉に関するキーポイントを解説し、生きたコミュニケーション術を考察する。

【授業計画】

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 公式組織と非公式組織
- 第3～4回 多国籍企業における国際化の段階
- 第5回 日本の多国籍企業の問題点
- 第6～8回 海外子会社の経営のケース
- 第9～11回 組織感覚の違いとコミュニケーション
- 第12回 まとめ

【評価方法】

レポートおよび定期試験によって評価する。

【テキスト】

特に指定しない。

【参考書籍】

- アジアからの視線
(今田高俊・園田茂人編著 東京大学出版会)
- 国際経営 (吉原英樹著 有斐閣アルマ)
- 地球市場時代の企業戦略
(バートレット&ゴシャル著 日本経済新聞社)

コンピュータ入門

三和義秀 出口智子 元吉忠寛 坂本剛

1年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

コンピュータの初心者を対象にWindowsの基本操作、ワープロソフトの操作、並びにインターネットの使用方法について学習する。授業のゴールは2つで、(1) レポートをワープロで作成できるようになること、(2) メールを使つてのコミュニケーションができること、である。

【授業計画】

- 第1回Windowsの基本操作(1)
- 第2回Windowsの基本操作(2)
- 第3回ワープロソフトの操作(1)
- 第4回ワープロソフトの操作(2)
- 第5回ワープロソフトの操作(3)
- 第6回ワープロソフトの操作(4)
- 第7回メールの使い方(1)
- 第8回メールの使い方(2)
- 第9回ブラウザ使用法
- 第10回ブラウザの活用
- 第11回画像ソフトの使用法
- 第12回その他アプリケーションの操作法
- 第13回テスト

【評価方法】

出席、レポートの提出、並びにテストの総合評価による。

【テキスト】

授業中に指示する。

コンピュータ応用

森久美子 森雅俊

1年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

「コンピュータ基礎」からさらに一歩進んだ形でコンピュータを心理学研究で活用する方法について学習する。目的は2つである。1つは、実験、調査、観察、面接等で得られた心理学的なデータの基本的な整理法並びに分析法を学ぶことである。そのために主に表計算ソフトの操作法を学ぶ。もう1つは、研究情報の収集あるいはコンピュータを使ったコミュニケーションの方法を学ぶことである。そのために、メールソフトやブラウザの操作を習得する。

【授業計画】

1. エクセルの基本操作(1) (エクセルへのデータ入力、並びに編集)
2. エクセルの基本操作(2) (コピー、移動、文字装飾等)
3. エクセルでの計算 (四則演算、セルを使った計算)
4. エクセルでの計算 (相対参照、絶対参照)
5. 表作成とエクセルでの印刷
6. グラフ作成(1)
7. グラフ作成(2)
8. 関数を使った計算(1)
9. 関数を使った計算(2)
10. 実際のデータを使つてのデータ処理(1)
11. 実際のデータを使つてのデータ処理(2)
12. 実際のデータを使つてのデータ処理(3)
13. 実際のデータを使つてのデータ処理(4)

【評価方法】

出席、レポートの提出、並びにテストの総合評価による。

【テキスト】

授業中に指示する。

TOEFL・TOEICトレーニングⅠ

ディビッド・C. ダイカス ジョナサン・E. ロング
ハリー・T. ノリス ディビッド・レヴィ

1・2年 前・後期 選択 2単位

【Course Content】

TOEFL、TOEICなどの英語能力測定試験を利用することにより、各自の英語能力を客観的に把握させ、そこから自主的な英語学習を促すものである。授業では、TOEFL500点、TOEIC640点などを到達目標として演習を行い、英語の総合運用能力を強化し、英語能力測定試験スコアの向上を目指す。

【Schedule】

Students must attend a minimum of 9 classes. There will be a precourse test and a post-course test.

Students must sit for at least one TOEFL/TOEIC test during the semester. This test will be used as part 3. of the assessment (See ASSESSMENT below). It will be the students responsibility to submit these test scores to their teacher.

【Assessment】

Assessment will be based on:

1. Attendance
2. Speed of progression
3. TOEFL/TOEIC score

【Textbooks】

TOEFL TEXT : To be announced

TOEIC TEXT : To be announced

別途配付予定

TOEFL・TOEICトレーニングⅡ

ジョナサン・E. ロング

1～3年 前・後期 選択 2単位

【Course Content】

The aim of this course is to equip students with the skills and knowledge they will require to achieve at least 550 points on the TOEFL and 720 points on the TOEIC tests. This will done by intensive classroom work with exercises and practice tests. All instruction and explanation will be in English.

【Schedule】

To be announced.

【Assessment】

To be announced.

【Textbooks】

To be announced.

別途配付予定

言語学概論 I

田中春美

1年 前期 必修 2単位

【授業の概要】

日本語学と英語学の基盤となる言語学の広大な分野を概観し、人間の言語に共通する特性、どの言語にも適用できる音声面・文法面・語彙面の分析の手順、言語の変化と系統などについて学ぶ。

【授業計画】

言語の習得、動物の伝達と人間の言語、言語の構造などの概論から始め、各論として音声学と音韻論、文法、意味論、歴史・比較言語学などに進む予定。

【評価方法】

筆記試験を中心に、学期中に提出してもらう1～2回のレポートも評価に加える。

【テキスト】

言語学入門（田中春美ほか著 大修館書店 1,700円）

応用言語学概論 I

松本青也 B. サン・ジャック

アンドリュー・J. ムーディー

オムニバス 1年 前期 必修 2単位

【授業の概要】

応用言語学の分野を概観しながら、言語について様々な問題を考える。オムニバス方式。

1. 松本青也：母語と外国語の習得、日本語と英語の、背景文化も含めた比較対照、マルチメディアにおける言語の機能、人間関係において言語が果たす役割、異なる言語間に起こる問題、などを概説する。
2. バーナード・サンジャック：「教養としての応用言語学」をテーマに、言葉の多様性と普遍性、世界の言語、地理的、及び社会的方言、言語干渉、翻訳、通訳などの問題を考察する。
3. アンドリュー・ムーディー：社会言語学の視点から、共通語としての世界の多様な英語の歴史と現状、非英語圏の人々の英語に対する意識、言語政策などを考察する。

【授業計画】

第1～5回：松本青也担当

第6～9回：バーナード・サンジャック担当

第10～14回：アンドリュー・ムーディー担当

【評価方法】

レポート、学習態度、出席状況による総合評価。

【テキスト】

プリント、等。

English Interaction I

ジョリー幸子

1年 前期 必修 2単位

【Course Content】

概念、機能、状況など、様々なレベルでの話し言葉としての英語への導入。学生は英語を使用してお互いにやり取りしながら、基本的な会話に焦点を絞って多様な表現を学ぶ。

【授業計画】

基本的には、毎授業に1章ずつ学習する予定である。教科の内容は以下の通りである。

- 第1週 Course Orientation
- 第2週 Dating
- 第3週 Weekends
- 第4週 Movies
- 第5週 Staying Healthy
- 第6週 Illness
- 第7週 Fashion
- 第8週 Shopping
- 第9週 Special Topic
- 第10週 Special Topic
- 第11週 Special Topic
- 第12週 Special Topic

【評価方法】

毎回の授業への参加、グループ発表（会話寸劇）の成績、及び期末試験の結果に基づいて、総合的に判定する。

【テキスト】

- ① Conversation Topics for Japanese University Students.
Diane Hawley Nagamoto.
Kinseido, 1994. ¥1800
- ② A Handbook of Daily Conversation.
大学生のための日常英会話 Jim Knudsen
Nan' un-do, 1996. ¥1900

English Interaction I

アンドリュース・J・ムーディー

1年 前期 必修 2単位

【Course Content】

概念、機能、状況など、様々なレベルでの話し言葉としての英語への導入。学生は英語を使用してお互いにやり取りしながら、基本的な会話に焦点を絞って多様な表現を学ぶ。

This course will emphasize the importance of speaking and listening to English in an interactive approach. Students will be asked to study a particular topic each week in depth in an attempt to develop interaction skills. The purposes of the course will assume interaction with English speakers that students would likely have while living in Japan.

【Schedule】

Some of the specific topics that will be address in this class include:

- ・ introductions
- ・ small talk
- ・ friendships
- ・ meals
- ・ formal rituals
- ・ student interaction
- ・ close friendships
- ・ sociolinguistics
- ・ non-verbal communication
- ・ listening activities
- ・ persuasion & society
- ・ academic discussion

【Assessment】

daily participation 25%
homework 25%
report 25%
examination 25%

【Textbooks】

The textbook for this class will be announced at the first class meeting. Depending on the level of students when they enter the class, text materials will be developed that respond to the particular needs and interests of the students.

English Interaction I

ダニー・T. モルデン

1年 前期 必修 2単位

【Course Content】

概念、機能、状況など、様々なレベルでの話し言葉としての英語への導入。学生は英語を使用してお互いにやり取りしながら、基本的な会話に焦点を絞って多様な表現を学ぶ。

This course aims to help students interact in English. The focus of the course will be on English as it is used in real, daily interactions. Speaking and listening skills will be stressed.

【Schedule】

The course will cover topics dealing with actual interactions such as:

1. Greetings
2. Small talk
3. Social encounters.

The final four days of the course will feature guest lectures on:

1. Communicative Activities: Listening
2. Nonverbal Communication
3. Academic Discussion
4. Socio Linguistics

【Assessment】

Assessment will be based on attendance, participation, homework and quizzes.

【Textbooks】

A text may be assigned on the first day of the course.

English Interaction I

ジョナサン・E. ロング

1年 前期 必修 2単位

【Course Content】

This section of English Interaction I will stress the language and thought patterns that are used in the academic setting. Special attention will be given to developing the mental and verbal skills to present one's ideas with clarity, factual support and in a logical manner. The students will be expected to do some research, discussion, oral presentations.

【Schedule】

Not yet determined.

【Assessment】

Assessment will be based upon

1. outside research (10%)
2. class attendance (10%)
3. participation (10%)
4. oral presentations (50%)
5. final exam (20%)

【Textbooks】

To be announced.

English Interaction I

ポール・C. リンガー

1年 前期 必修 2単位

【Course Content】

概念、機能、状況など、様々なレベルでの話し言葉としての英語への導入。学生は英語を使用してお互いにやり取りしながら、基本的な会話に焦点を絞って多様な表現を学ぶ。

The overall goals of this course are twofold: to promote lively interaction and to heighten student sensitivities to the diversity of others' thoughts, ideas, opinions, and values.

Communicative activities will be organized to stimulate real conversation as much as possible and therefore will provide motivation for the students to speak and increase their ability to communicate effectively.

【Schedule】

Each topic will be covered over a 2 or 3 week period and will include the following themes:

- ・ college life
- ・ dating and marriage
- ・ leisure
- ・ changing cultures
- ・ roles of men and women
- ・ beliefs and values

【Assessment】

Assessment will be continuous and will be based on the following criteria:

- ・ ATTENDANCE
- ・ CLASS EFFORT/ PARTICIPATION
- ・ HOMEWORK AND ASSIGNMENTS
- ・ END OF SEMESTER REPORT

【Textbooks】

To be announced.

Cyber-English I

ジェニファ・J. マギー

1年 前期 必修 2単位

【Course Content】

Eメールやメーリングリスト、さらにリアルタイムなチャットなどによる、コンピュータを介しての英語コミュニケーションを実際に経験する。お互い同士の英語によるやり取りも活動に含めながら、インターネットの歴史と仕組みにも触れる。

【Schedule】

1. Introduction to the Internet
2. Looking at English Web pages
3. Exchanging English email with classmates
4. Real-time chat with classmates

【Assessment】

Assessment will be based on classroom attendance, effort, and completion of assignments.

【Textbooks】

None. There may be readings on the Internet assigned by the teacher.

中国語概論

馮 富榮

1年 前期 必修 2単位

【授業の概要】

中国語の漢字、発音、文の構成規則などにおける中国語全体の特徴について重点的に説明する。また日本語と中国語の比較をしながら、両言語の相違による中国語の学習の困難点を探る。

【授業計画】

主として以下のステップを踏んで授業を進める予定である。

- ① 日本語の発音との違いによる中国語の発音の難点を詳しく説明し、その難点を克服する方法を提示する。学生の一人一人が立派な発音を身に付けることができるように、発音を徹底的に訓練する。学生の一人一人が研究室に来て、一対一で発音の練習ができるような時間帯を設定する。
- ② 中国語表現の基本的、尚且つ重要な文型を中心に説明する。
- ③ 単語リストを用意し、授業で習った基本文型の使用練習を繰り返して行う。よって中国語の実際実用能力を高め、中国語の基礎を固める。
- ④ 日本語の基本文型との違いを比較することによって、中国語の基本文型への理解を深め、中国語表現の特色を掴める。
- ⑤ 練習問題を宿題に出し、宿題に出た問題点について説明をする。

【評価方法】

学期末試験の成績に、出席状況及び平日の宿題の完成状況、小テストの成績を加味して、総合的に判断する。

【テキスト】

未定。

【参考書籍】

《初級漢語課本》第1冊と第2冊 北京語言学院出版社

中国語読解 I

馮 富榮

1年 前期 必修 2単位

【授業の概要】

主として、「是」による判断文、形容詞による描写文、動詞による叙述文と存在文などを中心にして説明していく。いわゆる中国語の入門編にあたる講義である。

【授業計画】

学生の中国語を読んで理解する力を養成することを目的としているので、中国の学校、社会、経済及び文化習慣などを紹介する多くの楽しい話題を提供する。授業の展開の仕方としては、主として以下のステップを踏む。

- ① 文法現象などを詳しく分析しながら読む。この段階では、内容と文法を含めて文章の徹底的な理解を追求する。
- ② 本文を概略的に読んで、内容を要約する。この段階では、文章を完全に理解しなくてもよいが、できるだけ速く大体の意味を理解する訓練を行う。
- ③ 時間を制限して読んで、文章の意味を理解する。この段階では、文章の読む時間を制限する。制限時間が来ると、学生たちをグループに分け、グループ内で文章の内容について話しあう。よって自分の理解できない部分を補う。
- ④ 《西遊記》などのような楽しい中国の映画や童話、またはアニメーションの台本を事前に読んでおき、それを鑑賞する。いわゆる耳からも中国語が理解できるように訓練する。

【評価方法】

期末テストの成績と出席状況及び平日の宿題の提出状況などを考えて、総合的に判断する。

【テキスト】

未定。

【参考書籍】

《閲読理解》北京語言学院出版社

中国語読解 I

郭伏良

1年 前期 必修 2単位

【授業の概要】

主として、「是」による判断文、形容詞による描写文、動詞による叙述文と存在文などを中心にして説明していく。いわゆる中国語の入門編にあたる講義である。

【授業計画】

学生の中国語を読んで理解する力を養成することを目的としているので、中国の学校、社会、経済及び文化習慣などを紹介する多くの楽しい話題を提供する。授業の展開の仕方としては、主として以下のステップを踏む。

- ① 文法現象などを詳しく分析しながら読む。この段階では、内容と文法を含めて文章の徹底的な理解を迫る。
- ② 本文を概略的に読んで、内容を要約する。この段階では、文章を完全に理解しなくてもよいが、できるだけ速く大体の意味を理解する訓練を行う。
- ③ 時間を制限して読んで、文章の意味を理解する。この段階では、文章の読む時間を制限する。制限時間が来ると、学生たちをグループに分け、グループ内で文章の内容について話しあう。よって自分の理解できない部分を補う。
- ④ 《西遊記》などのような楽しい中国の映画や童話、またはアニメーションの台本を事前に読んでおき、それを鑑賞する。いわゆる耳からも中国語が理解できるように訓練する。

【評価方法】

期末テストの成績と出席状況及び平日の宿題の提出状況などを考えて、総合的に判断する。

【テキスト】

未定。

【参考書籍】

《閲読理解》北京語言学院出版社

中国語作文 I

馮富榮

1年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

中国語の学習者にとって、読んで理解するだけでなく、自分で中国語が書けることも必要である。ゆえに、本講義では、作文の練習を反復して行なう。よって、中国語に関する基礎的な文法知識と基本的な語彙の使い方をマスターする。

【授業計画】

中国語は、格助詞などもなく、述語の語尾変化もない。中国語を作文する時、語彙を並べれば、それだけで文になる。ゆえに、中国語の作文をするとき、一番大切なことは語彙の並べ順序である。ゆえに、この授業では、中国語の語彙の並べ順序と並べる時のコツを徹底的に説明する。語学の力は作文にあると言われているように、この授業に出れば中国語の力を一段と高めることが期待できよう。具体的には、以下のステップを踏んで授業を進める予定である。

- ① メッセージの書きかたの練習をする。
- ② 日記の書き方の練習をする。
- ③ 手紙の書き方の練習をする。
- ④ 知らせの書き方の練習をする

もちろん、上述した各練習に入る前に、教師側から、書き方の説明、書くときの注意事項などについて講義するほか、例文も提供する。そして学生の作文に出ている問題点も詳しく説明する。

【評価方法】

出席状況や平日の宿題の提出状況などを考えて総合的に評価する。期末テストは実施しない。

【テキスト】

未定。

【参考書籍】

《基礎漢語写作》北京語言学院出版社

中国語会話Ⅰ

郭伏良

1年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

自己紹介、初対面の挨拶、家庭で交わされている家族の間での基本的な挨拶、また友達同士でよく使われている基本的な会話、要するに中国語会話の基本を中心に説明する。会話の練習をすると同時に、発音の徹底的な指導を行う。

【授業計画】

以下のステップを踏んで、授業を展開する予定である。

- ①まず常用表現について、統語論と語用論の両方から説明する。つまり文法現象のみでなく、中国語の表現習慣と日本語の表現習慣の違いについても説明を加える。
- ②読む練習を繰り返して行う。初歩から正しい発音を身につけることが極めて大切であるので、そのための徹底的な訓練を行う。
- ③本文の内容をめぐって学生と中国語で会話をする。
- ④単語のリストを配って、置き換え練習などをする。よって、学生たちの会話の応用能力を高める。
- ⑤本文の内容と関連する実際の場面を設定し、その場面で行われる会話を学生同士で練習する。

この授業では、本文の暗記ではなく、中国語の生きている会話表現を身につけることができるように工夫がなされている。しかもみんな楽しく中国語の会話ができるような授業としてデザインがされている。要するに、この授業を履修することによって、中国人と簡単な会話ができるように期待している。

【評価方法】

出席状況及び平日の宿題の提出状況などを考えて、総合的に判断する。期末テストは実施しない。

【テキスト】

〈説漢語〉 北京語言学院出版社

日本語論Ⅰ

窪田守弘

1年 前期 必修 2単位

【授業の概要】

日本語とはどういう言語かについて、その系統、周辺の言語との関係、また日本語の位置などを概観する。そして、特に日本人の話し言葉と書き言葉の違い、地域による違い、性別による違い、階層による違いなどをまとめ、日本人がどのような言語生活を送っているかについて、資料やデータを十分活用しながら言及していく。

【授業計画】

日本語には多くの特徴や面白さがあり、それが現代の日本人の言語運用にどのように反映されているかを解明する。そして日本語の構造を中心として生きた日本語の諸相について、具体的な例をあげながら考えていく。本講義は、日本語と外国語との比較も随時行ない、広い視野より日本語を考え、発音・語彙・文法・文体などの領域が概観できるように配慮する。主な内容は次のようになっている。

〈日本語の世界に触れる〉

1. 日本語の特色
2. 新しい日本語の特徴
3. 日本語の国際化
4. 方言の魅力

【評価方法】

学期末の試験結果、提出レポート、出席状況などで総合的に判断する。

【テキスト】

- ①日本語論 窪田守弘著 晃学出版 2,000円
- ②ムクゲと桜 窪田守弘著 晃学出版 350円

日本語表現演習 I

山内啓介 窪田守弘

1年 前期 必修 2単位

【授業の概要】

この演習は、学生が書いた小論文を毎回添削することに大きな特徴がある。それは、日本人として日本語の文章の基本的な表現力を身につけることを目標としているからである。そのために、学生は新聞や週刊誌などを主な教材として、毎回提示されたテーマに従って自分の考えをまとめ、書く練習を繰り返して文章の完成を図る。そして、それを他学生の前で発表して、お互いがディスカッションを通じてテーマの内容を深めていくようにする。

【授業計画】

- 1 演習ガイダンス 自己紹介文の作成 350字
- 2 作文課題 大学に入学して 800字
- 3 小論文 最近のニュースから 1200字
- 4 要約を作る 200字文に要約してみる<1>
- 5 要約を作る 200字文に要約してみる<2>
- 6 要旨を作る 100字文にしてみる<3>
- 7 要旨を作る 100字文にしてみる<4>
- 8 小論文 政治と経済と 2000字
- 9 小論文 社会と国際と 2000字
- 10 小論文 教育と専門と 2000字
- 11 小論文 地域と環境と 2000字
- 12 ディスカッション テーマについて
- 13 ディスカッション 文章について
- 14 ディスカッション 論文について
- 15 論文課題 愛知淑徳大学の未来像について

【評価方法】

作文・小論文による。

【テキスト】

樺島忠夫『文章表現法』角川選書

【参考書籍】

授業中に指示する

言語コミュニケーション研究方法論

高井次郎

1年 後期 必修 2単位

【授業の概要】

言語・非言語コミュニケーション行動を研究するために用いられる様々な計量的な手法、すなわち実験法、調査法、面接法、自然観察法の各方法、及びそれらから得られたデータの解析法について検討する。

【授業計画】

科学的研究の基礎、理論の実証、測定的基础、実験研究の基礎、調査法的基础、面接法的基础、統計学的基础、および統計実習を予定する。

【評価方法】

期末試験および数回の課題によって評価する。

【テキスト】

社会心理学研究入門 (末永俊郎 東京大学出版)

言語学概論Ⅱ

田中春美

1年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

日本語と英語を中心として、音韻論・形態論・統語論・意味論などの諸分野を具体的に学び、さらに、言語類型論や、応用言語学との接点となる分野についても概観する。

【授業計画】

音韻論・形態論・統語論・意味論などをさらに詳しく検討した上で、言語類型論・言語地理学・応用言語学の諸分野などにも触れる。

【評価方法】

筆頭試験を主とするが、出席とレポートも評価に加える。

【テキスト】

言語学入門（田中春美ほか著 大修館書店 1,700円）

応用言語学概論Ⅱ

松本青也 B. サン・ジャック
アンドリュース・J. ムーディー

オムニバス 1年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

応用言語学の研究分野を展望させ、言語について様々な問題意識を持たせる。オムニバス方式。

1. 松本青也：日本人の言語生活の視点から、英語を中心とする第二言語習得論と言語政策などのマクロな社会言語学を中心に考察し、日英対照言語学、語用論、などの分野にも触れる。
2. バーナード・サンジャック：「文化と応用言語学」をテーマに、文化の構造と機能、言葉と文化の関係、言葉と思想、非言語コミュニケーション、多民族の文化、対人関係と異文化コミュニケーション能力、などの問題を考察する。
3. アンドリュース・ムーディー：多様な社会的状況における談話分析、非英語圏の各国別の言語政策を考察した後、応用言語学の分野における調査研究方法の概要にも言及する。

【授業計画】

第1～5回：松本青也担当

第6～9回：バーナード・サンジャック担当

第10～14回：アンドリュース・ムーディー担当

【評価方法】

レポート、学習態度、出席状況による総合評価。

【テキスト】

プリント、等。

English Linguistics I

アンドリュー・J・ムーディー

1年 後期 選択 2単位

【Course Content】

英語学の諸分野の紹介をした後、英語音声学・音韻論に関して、日本語と対照しながら、母音と子音、音節、アクセント、リズム、イントネーションについて学習する。

This course will serve as an introduction to the study of linguistics through the study of the English Language. The primary focus of the course will be on structural descriptions of English. Particular attention will be paid to study of the phonological and grammatical structure of English. While reference may be made to structures in other languages, especially Japanese, the primary purpose of the course will be to develop structural analyses of English.

In addition to structural description, this course will also introduce students to some applied fields of English linguistics. Applied Linguistics (応用言語学) topics will include:

- ・ pragmatics
- ・ language acquisition
- ・ language teaching
- ・ language policy
- ・ sociolinguistics
- ・ history of English

【Schedule】

前期 : language universals, phonetics, phonology, morphology, syntax, and semantics

後期 : history of English, Speech Act Theory, sociolinguistics, language acquisition, writing, and World Englishes

【Assessment】

quizzes 20%
homework 20%
notebook 20%
final exam 40%

【Textbooks】

Textbook for the class will be announced at the first meeting. In addition to a regular text, there will be handouts.

【References】

Ohio State University (1998) *Language Files*. 7th Edition.
Finegan, Edward (1999) *language: Its Structure and Use*. 3rd Edition.
Students are encouraged to consult the instructor for references on specific areas.

English Interaction II

ジョリー幸子

1年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

English Interaction I の内容をもとに、引き続き話し言葉を中心に学習を深める。ここでは小グループなどの形も取り入れ、英語によるやり取りを学ぶ。

【授業計画】

前学期の授業内容を継続して授業を進めていく。前期の音声学 (Articulatory Phonetics) 的内容に加え、後期は語彙 (Vocabulary) の強化を図るため、word-roots approach を考慮している。

- 第1週 Fashion
- 第2週 Exercises
- 第3週 Shopping
- 第4週 Exercises
- 第5週 Travel
- 第6週 Exercises
- 第7週 Partier
- 第8週 Exercises
- 第9週 Driving
- 第10週 Exercises
- 第11週 The Telephone
- 第12週 Exercises

【評価方法】

毎回の授業への参加、グループ発表 (会話、寸劇) の成績、及び期末試験の結果に基づいて総合的に判定する。

【テキスト】

Diane Hawley Nagamote (1994). Conversation Topics for Japanese University Students.
Kenseido, Tokyo.

【参考書籍】

Jim Knudsen (1996). A Handbook of Daily Conversation.
Nan' un-Do, Tokyo

English Interaction II

アンドリュー・J. ムーディー

1年 後期 選択 2単位

【Course Content】

English Interaction I の内容をもとに、引き続き話し言葉を中心に学習を深める。ここでは小グループなどの形も取り入れ、英語によるやり取りを学ぶ。

This course will emphasize the skills of oral English listening and speaking. The class will use extensive group work to develop the skills necessary for success in studying in a University in North America. Typical activities will include things like group presentations, interaction simulation, and study of cultural differences.

【Schedule】

A survey of student needs for English communication will be made at the beginning of the semester and the course design will be adjusted to accommodate those needs. Some likely topics will include:

- ・ studying abroad
- ・ travel and tourism
- ・ English as an International Language
- ・ Japanese uses of English

【Assessment】

daily participation 25%
homework 25%
report 25%
examination 25%

【Textbooks】

The textbook for this class will be announced at the first class meeting. Depending on the level of students when they enter the class, text materials will be developed that respond to the particular needs and interests of the students.

English Interaction II

ダニー・T. モルデン

1年 後期 選択 2単位

【Course Content】

English Interaction I の内容をもとに、引き続き話し言葉を中心に学習を深める。ここでは小グループなどの形も取り入れ、英語によるやり取りを学ぶ。

This course continues to aim to help students interact in English. The focus of the course will be on English as it is used in real, daily interactions. Speaking and listening skills will be stressed.

【Schedule】

The course is flexible, and the content will be determined by the students in combination with the instructor. We will cover topics dealing with actual interactions such as:

1. Classroom behavior
2. Seeking help in a library.

【Assessment】

Assessment will be based on attendance, participation, homework and quizzes.

【Textbooks】

A text may be assigned on the first day of the course.

English Interaction II

ジョナサン・E. ロング

1年 後期 選択 2単位

【Course Content】

This section of English Interaction II will stress the language and thought patterns that are used in the academic setting. Special attention will be given to developing the mental and verbal skills to present one's ideas with clarity, factual support and in a logical manner. The students will be expected to do some research, discussion, oral presentations.

【Schedule】

Not yet determined.

【Assessment】

Assessment will be based upon

1. outside research (10%)
2. class attendance (10%)
3. participation (10%)
4. oral presentations (50%)
5. final exam (20%)

【Textbooks】

To be announced.

Cyber-English II

ジェニファ・J. マギー

1年 後期 選択 2単位

【Course Content】

Cyber-English I の内容を更に発展させて、アメリカの学生とのやり取りも含め、コンピュータによる海外との交信を実習する。同時にインターネットについての文献や講義も取り入れ、例えば、コンピュータによってコミュニケーションが変化するか、すべてがインターネットに依存する社会はありうるか、といった問題を考える。

【Schedule】

1. Real-time chat with classmates
2. Email with native English speakers
3. Real-time chat with native speakers

【Assessment】

Assessment will be based on classroom attendance, effort, and completion of assignments.

【Textbooks】

None. There may be readings on the Internet assigned by the instructor.

中国語読解Ⅱ

馮 富榮

1年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

基本的な文法知識と幅広い語彙の習得に力を入れて授業を進める。受講者の読解力を引き上げると同時に、中国語への勉強意欲を引き出すこともこの授業の目的である。ゆえに、興味深い読み物を教材とする。

【授業計画】

中国語読解Ⅱは、中国語読解Ⅰと同じように、学生の中国語を読んで理解する力を養成することを目的としているが、主として楽しい視覚教材、つまり中国語の映画などを授業の内容とする。またインターネットを利用して中国の社会現状、経済情報及び文化習慣などに関する記事や話を引き出し、それを読んで理解する。さらにE-mailなどを利用して中国の大学生などと文通をする練習もする。授業の展開の仕方としては、主として以下のステップを踏む。

- ① 楽しい中国の映画や童話、または有名な観光地や名所旧跡のビデオの中国語台本を事前に読んでおき、それを鑑賞する。いわゆる耳から中国語を理解することができるように力を入れて講義する。
- ② インターネットを利用して、中国の社会や経済などに関する記事、あるいは自分にとって興味のある話題を引き出し、それを読んで理解する。
- ③ 各自でインターネットを利用して読んだ文章の内容をグループ内で発表する。
- ④ E-mailなどを利用して中国の大学生などと文通する練習を行う。

【評価方法】

出席状況及び平日の宿題の提出状況などを考えて、総合的に判断する。期末テストは実施しない。

【テキスト】

未定。

【参考書籍】

《閲読理解》北京語言学院出版社

中国語会話Ⅱ

郭 伏良

1年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

教室で、各会話の場（たとえば、買い物や銀行や病院などの場面を設定する）を作って、場との連合をはかりながら、会話の授業を進める予定である。目的は、生きている会話能力を養成することにある。

【授業計画】

この授業は、中国語会話Ⅰの延長として考えているので、中国語会話Ⅰと同じように、以下のステップを踏んで、授業を展開する予定である。

- ① まず常用表現について、統語論と語用論の両方から説明する。つまり文法現象のみでなく、中国語の表現習慣と日本語の表現習慣の違いについても説明を加える。
- ② 読む練習を繰り返して行う。初歩から正しい発音を身につけることが極めて大切であるので、そのための徹底的な訓練を行う。
- ③ 本文の内容をめぐって学生と中国語で会話をする。
- ④ 単語のリストを配って、置き換え練習などをする。よって、学生たちの会話の応用能力を高める。
- ⑤ 本文の内容と関連する実際の場面を設定し、その場面で行われる会話を学生同士で練習する。

この授業では、本文の暗記ではなく、中国語の生きている会話表現を身につけることができるように工夫がなされている。しかもみんなで楽しく中国語の会話ができるような授業としてデザインがされている。要するに、この授業を履修することによって、中国人とある程度の会話ができるように期待している。

【評価方法】

出席状況及び平日の宿題の提出状況などを考えて、総合的に判断する。期末テストは実施しない。

【テキスト】

〈口語篇〉 北京語言学院出版社

中国語作文Ⅱ

郭伏良

1年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

中国語を書く力を養成することが本講義の最大の目的であるが、内容を聞いてから書くこと、図の意味を言葉で書くこと、概要の肉付けを書くこと、または文章の概要を書くこと、短文の表現を変えて別の表現にすることなど多くの方法を取り入れながら授業を展開する。要するに、常に書く材料があるように心がけて授業を進めていく予定である。

【授業計画】

中国語は、格助詞などもなく、述語の語尾変化もない。中国語を作文する時、語彙を並べれば、それだけで文になる。ゆえに、中国語の作文をするとき、一番大切なことは語彙の並べ順序である。ゆえに、この授業では、中国語の語彙の並べ順序と並べる時のコツを徹底的に説明する。語学の力は作文にあると言われているように、この授業に出れば中国語の力を一段と高めることが期待できよう。具体的には、以下のステップを踏んで授業を進める予定である。

- ① メッセージの書きかたの練習をする。
- ② 日記の書き方の練習をする。
- ③ 手紙の書き方の練習をする。
- ④ 知らせの書き方の練習をする。

もちろん、上述した各練習に入る前に、教師側から、書き方の説明、書くときの注意事項などについて講義するほか、例文も提供する。そして学生の作文に出ている問題点も詳しく説明する。

【評価方法】

出席状況や平日の宿題の提出状況などを考えて総合的に評価する。期末テストは実施しない。

【テキスト】

未定。

【参考書籍】

《基礎漢語写作》北京語言学院出版社

日本語論Ⅱ

窪田守弘

1年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

日本語のさまざまな特徴の中から、発音・語彙・表記・文法などの分野を中心に、語学的な面からその基本的な問題を取り上げていく。日本人が殆ど意識せずに使用している日本語は、それが常識だと思われたり、誤用でありながら正しいと考えられたりしている点が少なからずある。そういう言語生活で、特徴的な言語現象を時代的な変遷や社会的な環境という視点から考察していく。

【授業計画】

日本語には多くの特徴や面白さがあり、それが現代の日本人の言語運用にどのように反映されているかを解明する。そして日本語の構造を中心として生きた日本語の諸相について、具体的な例をあげながら考えていく。本講義は、日本語と外国語との比較も随時行ない、広い視野より日本語を考え、発音・語彙・文法・文体などの領域が概観できるように配慮する。主な内容は次のようになっている。

〈日本語の多様性を知る〉

5. 日本語の世界の新発見
6. 日本の有名な文法学説
7. 映画の言語表現
8. 日本と外国の言語文化

【評価方法】

学期末の試験結果、提出レポート、出席状況などで総合的に判断する。

【テキスト】

- ①日本語論 窪田守弘著 晃学出版 2,000円
- ②ムクゲと桜 窪田守弘著 晃学出版 350円

日本語表現演習Ⅱ

窪田守弘

1年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

文章の表現能力は、短期間では養成されにくいですが、少なくとも本演習では、学生が進んで自らの文章で自己表現できるようにする。従って、担当教員は、当初学生に対して小論文の書き方の様々な知識や技術を与えるにしても、最終的には学生が自身の手で自分の文章の問題点を発見し、推敲ができるような力を身につけるよう配慮する。それによって、学生が将来あらゆる分野の職業に対応できるようにする。

【授業計画】

学生は文章を書くことを苦手としているので、毎回課題を与えて考えさせ、それに対する感想レポートを原稿用紙一枚（400字）程度にまとめるようにする。教員はその感想レポートのチェックを行なって、次回の授業時にチェックポイントを説明しながら返却するようにする。このように学生は自分の書いた文章に対して、毎回教員からチェックを直接受けて、彼らは問題点を明確に把握し推敲を重ねていくようになるはずである。

本年演習は、テキストを中心に新聞や週刊誌の記事、有名な小説や評論、学術論文などを補助教材として使用し、文章を徹底的に書き込むことによって、学生に真の表現力や文章力がつくことを目標としている。

【評価方法】

毎回の感想レポート、学期末の試験、出席状況などで総合的に評価する。

【テキスト】

日本語表現 窪田守弘著 見学出版 2,700円

【参考書籍】

文章の書き方 辰濃和男著 岩波新書 620円

統計学基礎

坂井貞彦

1～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

コミュニケーション行動・心理学に関する実証的研究を進めていく場合、さまざまな種類の資料・データを集めて分析を進めていくことになる。多くの場合、得られた資料・データは数値として扱われる。この数値はどのような特徴をもち、そこからどのようなことが読みとれるのであろうか。こうした数値を扱う際に必要となる統計的な考え方、方法の基礎について講義する。

【授業計画】

講義方式による。

1. 統計と統計分析
2. 日本の統計調査
3. 代表値、標準偏差、時系列データ
4. 相関、相関係数
5. 順列、組合せ、確率
6. 確率変数、確率分布、期待値
7. 標本抽出、標本平均、標本分散
8. 点推定、区間推定、平均値の推定
9. 仮説の検定
10. 総合指数、物価指数
11. 回帰分析、単純回帰、多重回帰

【評価方法】

おもに期末試験（筆記）による。（毎回出欠席を調査する。欠席回数が多い場合は受験資格を失う。）期中にレポートを提出させ、また小テストを実施した場合は、成績評価に反映させる。

【テキスト】

入門統計学（木下宗七、有斐閣 2,520円（税込））

下記の科目は、本年度開講しません。

プレゼンテーション

松田照美

集中 2・3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

一般社会人として、コミュニケーションを円滑に行なうに必要な対人接遇の在り方について、電話による応待、面談の効果的な仕方、文書の取り扱いなどについて学習する。

異文化コミュニケーション

高井次郎

2～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

異文化の相手との相互作用を円滑に運ぶために必要な知識、態度、および対人行動技術について、言語および非言語行動を中心に考察する。日本的対人行動パターンの自覚を通じて、異文化コミュニケーションの障壁となりうる要因を考察する。

異文化トレーニング

近藤祐一

2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

異なる文化背景を持つ人々がともに生活し、問題を解決するためにどのような知識・態度をもちながらコミュニケーションを取るべきかについて、ロールプレイやシミュレーションを用い分析・考察する。

国際交流論

榎田勝利

2～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

経済大国となった日本は、国際社会の有力な一員として責任ある行動をとることが必要となってきた。近年の「国際化」に伴い、政治、経済、学術、芸術、スポーツなどの分野でも、盛んに国際交流が行われているが、果たして真の交流が実現しているのだろうか。主に日本に滞在する多くの外国人との異文化接触を通しての国際交流のありかたについて論ずる。

TOEFL・TOEICトレーニングⅢ

ジョアン・M. ウッドマン

2～4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

TOEFL、TOEICなどの英語能力測定試験を利用することにより、意欲ある学生のさらなる自主的英語学習を促すものである。授業では、TOEFL600点、TOEIC860点などを到達目標として演習を行い、英語の総合運用能力を強化し、英語能力測定試験スコア向上を目指す。

メディア論

遠藤雄久

2～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

本構の目的は、マルチメディア時代といわれる現代のメディア状況をよりよくとらえるために、歴史社会的視点に立ってメディアと人間・社会の関わり方を振り返って見ようというものである。十九世紀後半に出現した電信、電話から始めテレビジョンそしてパーソナルコンピュータに至る電子メディアの発展の過程を、人間や社会がどのようにメディアをデザインしてきたかという観点からたどっていく。

国際関係論

明石陽至

2~4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

冷戦対戦後の国際関係の変様を概観し、日本を中心に
して新しい国際関係の在り方を考えてみたい。

異文化教育論

霜田一敏

2~4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

日本においても国際化が進展し、さまざまな国の人た
ちが急速に増大している。私たちは益々異なった文化と
言語を持った人たちと共存して生きていかなければなら
ない。世界の人々との平和的な交流を図る上で、異文化
理解はこれからの教育の重要な問題である。この問題を
国際理解教育の観点から具体的に論究する。

比較教養論

渡辺かよ子

2~4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

言語を中心とする「教養」に関する各国の思想史を概
説し、国際化・高齢化・情報化の進展の中で今後の自己
教育としての「教養」の在り方、普遍的教養の有無、コ
ミュニケーションの基礎としての「教養」の問題を論じ
る。

比較文化論Ⅰ（日・米）

松本青也

2~4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

集団が共有する価値観や規範の体系としての文化につ
いて、日本とアメリカを比較対照して、それぞれの文化
の特質を浮き彫りにするとともに、異文化理解を深める
方法についても考察する。

比較文化論Ⅱ（日・欧）

トマー・トドロヴィック

2~4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

西ヨーロッパの主な諸国（フランス、英国、ドイツ、
イタリア、スペイン）と日本におけるさまざまな文化活
動の状況、問題点に関する最近のデータを利用して比較
を行う。

比較文化論Ⅲ（日・アジア）

馮富榮 他

オムニバス 2~4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

（概要）アジア諸国の中でも、特に日本と深い関りのあ
る中国と韓国を取り上げ、歴史認識や政治までを含めた
広範囲な文化を日本と比較する。

（オムニバス方式）

（馮富榮兼助教）日本と中国の文化・習慣の違いに
ついて説明する。主として、両国の政治・食文化、風俗
習慣・建築文化、漢字の文化、交流文化及びお茶とお酒
の文化などをテーマにし、講義し、比較する。

（尹大辰兼任講師）「日韓両国の歴史認識への接近」をテ
ーマに韓国近代史に焦点をあて、まず自らを点検し、共
有する歴史認識の確立をめざし、今後のあるべき姿を模
索していこうとするものである。

比較文化論Ⅳ（日・中東）

岡 真理

集中 2～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

アラビア語という言語の問題、その歴史言語学的性格と社会言語学的特徴、「小説」という近代的認識の枠組みの問題、そして主体としての民族あるいは女性とその表象の問題等を主要なテーマとし考察する。

社会言語学Ⅰ

アンドリュー・J．ムーディー

2年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

世界における言語使用の実態に目を向け、さまざまな言語に見られる変種の使い分け、多言語・二言語使用、言語政策、およびビジン・クレオールについて考察し、言語使用に反映される社会的要因の理解を深める。

社会言語学Ⅱ

アンドリュー・J．ムーディー

2年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

地域、社会階級、性別、年齢、民族に基づく社会的グループに属する人々の言語使用にみられる特徴を見ていく。さらに個人が、会話の目的や会話参加者間の人間関係などの言語使用の状況的因子により、どのような言語変種の選択を行うかについても考察する。

英語教育法Ⅰ

松本青也

2年 選択 2単位

【授業の概要】

英語教育法をテーマとして、目的論、技能論、方法論を中心に、日本における英語教育の歴史、諸外国の言語政策と英語教育、マルチメディアを活用した英語教育、などの話題を含めて考察する。

英語教育法Ⅱ

宮田 修

3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

学習指導要領の趣旨に沿って、コミュニケーション能力の基礎を育成するためには、日本の中学校ではどのような授業を行えばよいのか、模擬授業を行いながらその具体的な指導法を研究する。

英語教育法Ⅲ

宮田 修

3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

学習指導要領の趣旨に沿って、コミュニケーション能力を育成することに主眼をおいて、生徒の多様化した日本の高等学校における英語教育を効果的に行うにはどのようにするか、具体的、実践的に指導する方法を研究する。

応用言語学特殊講義 I

外池俊幸

4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

この講義では、脳科学、計算機科学、哲学、数学、心理学などとの学際的な研究領域としての認知科学、その一部としての言語研究を、関連する領域の成果と共に学ぶ。Iでは、認知科学の観点からの言語研究の歴史をたどる。

応用言語学特殊講義 II

外池俊幸

4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

この講義では、Iと内容を分け、認知科学の言語に関する領域の研究の歴史を概観し、その後、認知科学的な言語研究の最新の成果・動向を取り上げて、その問題点、今後の課題だと考えられる事柄を論じる。

応用言語学海外研修

松本青也 他

集中 3年 前期 選択 8単位

【授業の概要】

異文化体験学習（ホームステイ、小旅行など）を加味した語学研修を中心に、両大学教員の連携指導のもとで、メーリングリストを利用したEメール発信などによって各自のテーマに沿った調査・研究も行う。

English Linguistics II

アンドリュー・J・ムーディー

2年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

英語の形態論と統語論に関して、レキシコン（辞書）、語形成について学習した後、伝統文法、生成文法、機能文法の各観点から英語の文構造について考察する。

Cyber-English III

ジェニファ・J・マギー

2年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

コンピュータを介してのコミュニケーションの多様な側面や人間関係に与える影響について文献を読んだり、研究発表をしながら、インターネットを利用した多様な交信を経験する。

Reading and Discussion I

ダニー・T・モルデン 他

2年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

幅広いジャンルにわたる多様な英語作品を読んで英語で話し合い、更に各自が感じた疑問と教師によって与えられた課題について英語による議論を深める。

Reading and Discussion II

ダニー・T. モルデン 他

2年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

文化比較の視点から異文化でのライフスタイルや価値観に触れることができる題材を中心に読み、ペアー、あるいはグループでの議論を通して自分の意見を十分に表明する。

American Literature I

3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

20世紀初頭の黒人をテーマに、南部での黒人差別、北部への大移動、ハーレム・ルネッサンスなどに関連したものを扱う。取り上げる作家は、ラングストン・ヒューズ、ゾラ・ニール・ハーストン、カウンティー・カレン、ジーン・トゥーマー、リチャード・ライトなど。

English Literature I

キース・イーズリー

2年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

主にロマン派の詩について、その文学的、文化的重要性を、当時と現在の双方にわたって概観する。ロマン派における個人主義、美、そして自然を主なテーマとし、キーツ、バイロン、シェリー、ワーズワース、コールリッジなどの作品を扱う。

American Literature II

3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

公民権運動、ブラック・パワー運動、そして現代のアフリカ系アメリカ人のアイデンティティ確立への運動などを含めた、戦後の動きに関連したものを扱う。取り上げる作家は、ラルフ・エリソン、ロレイン・ハンズベリー、アミリ・バラカ、グェンドリン・ブルックス、スパイク・リーなど。

English Literature II

キース・イーズリー

2年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

主にロマン派の小説を、詩のテーマとの関連も考えながら概観する。扱うものは、ジェーン・オースティン、ゴシック・ロマンス、社会風刺、フェミニスト文学、歴史小説、シェリーの「フランケンシュタイン」など、多岐にわたる。

Writing and Presentation I

ダニー・T. モルデン 他

3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

英文を書き、英語で口頭発表する際に役立つ実用的な知識や方法を学ぶ。更にコミュニケーションの様々な状況を考えながら実際に論文を完成し、それを口頭発表する。

Writing and Presentation II

ジェニファ・J. マギー 他

3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

Iに引き続き英文を書く練習を重ね、英語による様々な形式の口頭発表を試みることで英語による発表能力を更に高めながら、「発表」の背景にある考え方と書き言葉と話し言葉による文体の違いなどについて考察する。

Communication Strategies I

ダニー・T. モルデン 他

3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

議論やディベートについて基本的な概念を学びながら、その際の主張や証拠、論理の組立てについて分析し、話し合う。

Writing and Presentation III

ジェニファ・J. マギー

4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

IとIIにおけるテーマと練習をさらに発展させる。又、即興スピーチや質疑応答など、形式張らない形の発表の仕方を学び、練習する。

Communication Strategies II

ダニー・T. モルデン 他

3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

議論やディベートについての様々な概念を考察しながら、実際に自分の主張を発表し、その主張を証拠や論拠をあげて反論から守る訓練をする。

Writing and Presentation IV

ジェニファ・J. マギー

4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

英語による発表を学ぶ上級クラス。ここでは様々な場合の口頭発表（情報伝達、説得、特別な状況など）に焦点を当てて体験させるとともに、高度な論文の作成と、その口頭発表について学ぶ。

Communication Strategies III

ダニー・T. モルデン

4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

主張や証拠、理論の組み立てを論破する様々な方法を学びながら、論議やディベートへの対応について考察する。

Communication StrategiesⅣ

ダニー・T. モルデン

4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

議論やディベートにおける相互作用という側面に焦点をあてながら、実際にディベートを準備してクラスで行い、ディベートのもつ様々な要素について考察を加える。

Seminar Overseas

ジョリー幸子 他

集中 3年 前期 選択 8単位

【授業の概要】

異文化体験学習（ホームステイ、小旅行など）を加味した語学研修を中心に、両大学教員の連携指導のもとで、メーリングリストを利用したE-メール交信などによって各自のテーマに沿った調査研究も行う。

中国語表現Ⅰ

郭伏良

2年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

中国語の幅広い表現に触れ、中国語独特の表現の仕方に慣れることをこの授業の目的とする。特に重要な表現に関しては、日本語との比較をしながら重点的に説明を行う。

中国語表現Ⅱ

郭伏良

2年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

新聞や雑誌などから興味深い文章を選択して教材にする。人口、民族、教育、婚姻、家庭概念、価値観など幅広い題材のものを読むことによって、中国に関しての知識を増やす。速読力を養成することもこの講義の目的である。

中国文学講読Ⅰ

郭伏良

2年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

中国の激動時代—文化大革命を描いた文学作品を教材にする。つまりなぜこのような国をあげての運動を行わなければならなかったのか？文化大革命の間に何が起って、社会に、人々の観念にどういった変化が起こったのか？文化大革命の後遺症は何であろうか？われわれに残した教訓は何であろうか？それを引き起こした毛沢東はどういった人物で、その時の時代背景はどうであったのかを文学作品を通して探してみる。

中国文学講読Ⅱ

郭伏良

2年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

中国の民話、神話、また中国の起源や各民族に関する民間伝説、故事など、主として「民間文学」を材料にして、授業を進める予定である。目的は、文学作品を通して、中国の文化・歴史についてよりよく理解すると同時に、中国語の読む力を高めることにある。教師が用意した教材以外には、各週毎にひとつ面白い読み物を受講者が自分で選んで読み、そのまとめを書いたり、意味の簡単な紹介を授業で発表したりすることが要求される。

中国語聴解Ⅰ

馮 富榮

2年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

繰り返し練習しやすい点から、授業では主としてカセットテープを利用する。またニュースには、中国語に関する多様な表現は勿論、中国社会に関する多方面の情報も含まれるので、ニュースを中心教材として耳から理解する訓練を行う。受講者が自分の家でも練習できるように補助教材を使う予定である。

中国語聴解Ⅱ

馮 富榮

2年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

繰り返し聞くのではなく、一回聞くのみで理解できることをこの授業の目的とする。そのため、ビデオテープや字幕のついているテレビ番組及び演劇などの視覚情報を利用する予定である。要するに、中国語に関する幅広い情報を耳から入れ、同時に理解する訓練を行うとともに、聞いた内容を要約したり、発表したりする練習を行う。

中国語聴解Ⅲ

馮 富榮

3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

テレビの衛星放送やインターネットなどを利用して、主として中国の現代社会に関する多くの情報を紹介する。たとえば、中国の政治、経済、また中国の教育の現状及び現代の社会問題などが教材の中心となる。本講義の目的は幅広い領域のことを耳から理解する訓練に加え、中国の現代社会についての理解を深めることにある。

中国語聴解Ⅳ

馮 富榮

3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

貿易取引引き・家庭会話・学校の授業・病院での医師と患者との会話の録音及びニュース放送と多分野に関するラジオ放送などを教材にして、同時通訳訓練を行う。要するに、視覚からの情報をカットし、耳のみに頼る理解の力を養成することがこの講義の目的である。授業は、グループ分けをして、小人数で進める予定である。

中国文学Ⅰ

郭 伏良

3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

中国文学史について、簡単に紹介し、主として中国現代の有名な作家の代表作を説明する。たとえば、郭沫若、魯迅や矛盾などの作品を教材とする。各作品の紹介の後、必ずその作品に関する評論を書くように課題を提出する。よって文章を書く力を高め、作品を客観的に読み、自分の目で作品を評価する姿勢を養成する。

中国文学Ⅱ

郭 伏良

3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

中国現代の有名な作家を紹介する。主として劇作家の曹禺、老舎などの作品を説明し、必要に応じて、作品のビデオを見ることもあり、それについて評論文を書いたり、感想文を書いて発表したりする。要するに、文学作品を理解するのみでなく、それを文章で評価し、また口頭で自分の考えを発表するという総合的な言語能力を養成することも本講義の目的である。

中国語学Ⅰ

馮 富 榮

4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

本講義は、中国語の全体的な文法知識、中国語の構文ルール、また中国語研究の基本方法など、中国語学に関する基礎的な知識の紹介に重点を置いて行う予定である。中国語の教師として、または中国語の研究者として基本的な知識を身につけることを本講義の目的とする。

中国語学Ⅱ

馮 富 榮

4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

本講義は、中国語研究の歴史、研究の分野などを紹介すると共に、中国語研究の最新成果を反映する代表的な論文を講読する。更に、中国語と日本語の構文ルールなどの相違点を探り、その相違点による日本人の中国語学習上の問題点を想定する。そしてその問題点を質問紙調査などで検証すると同時に、その問題点を解決することのできるような中国語の教授法も吟味する。

中国語海外研修

馮 富 榮 他

集中 2年 前期 選択 10単位

【授業の概要】

夏期の8～9月の7週間にわたって中国の南京師範大学で中国語を集中的に学習する。その間、日本語学科の学生との交流会、ホームステイ体験、中国文化講座、また日・中の生活様式や文化習慣の違いについて現地の学生と討論会を行う予定である。

日本語表現演習Ⅲ

山内啓介

2年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

日本語表現演習Ⅰ・Ⅱで習得した「読み」「書き」の基礎技術を踏まえて、広範囲にトピックを求め、口頭での発表能力を養う。自分の考えを理論的に構築し、限られた条件の中でわかりやすく効果的な発表ができるようになるためのトレーニングを行なう。

日本語表現演習Ⅳ

山内啓介

2年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

Ⅲまでの日本語表現演習で養われた発表技術をもう一段階発展させ、学会、企画会議、研究会等目的に応じたプレゼンテーション能力を養う。コンピュータのプレゼンテーションソフトを使いこなすとともに視聴覚機器の効果的な使い方をも身につける。

日本語学Ⅰ

窪田守弘

2年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

音声は、人間がコミュニケーションをする際の最も基本的な言語行動の一つで、音声学はそれを科学的に研究する分野となっている。そして、この音声学は、日本語教育では外国語教育としての音声指導で重要な位置を占めている。そこで、本講義では、音声学の基本から専門的な分野まで、人間の発声行動や音声現象などを動的に把握し、そのプロセスを明らかにしていくようにする。

日本語学Ⅱ

阿部美枝子

2年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

現代日本語の文法現象の中から基本的、かつ重要なトピックを演習の形で取り上げ、言語学的、日本語学的手法で分析し、日本語の体系を理解していく。

日本語学Ⅲ

山内啓介

3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

語彙についての基本的な理解を得るため、術語や理論を学習して言語研究の応用方法を解説する。また、意味についての研究史から、意味の基本三角形、指示の意味、差異化、概念の外延と内包、関係の意味などの基本的な知識を得る。

日本語特殊講義Ⅰ

窪田守弘

4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

将来、日本語教師を目標としている学生は、少なくとも外国語の文献や資料を読みこなす能力が必要である。20世紀には多くの言語学者の学説が発表されたが、著名な論文や著述の中から、日本語に関する基本的な文献を広い視野から整理しながら概観する。

日本語特殊講義Ⅱ

窪田守弘

4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

外国語の文献では、欧米学者の学説を極力原書で紹介するが、原書で読めないものに関しては、翻訳によってその言語学者の考えの凡そを理解するようにする。そして、学生が各自関心のある学説に関しては、各自が分担して発表を行うようにする。そして、少なくとも分担した部分は、原書で読めるような読解力を身につけることを目標とする。

日本語教育海外研修

山内啓介 他

集中 3年 前期 選択 4単位

【授業の概要】

日本語教育の関連科目の一環として、姉妹校である中国の南京師範大学の日本語学科で、日本語教育実習を実施する。将来日本語教師を目指す者は、当校で、約3週間の日本語教育実習を行うが、中国の学生と直接交流するという意味で、貴重な異文化体験プログラムともいえる。

専門演習Ⅰ

松本青也 他

2年 前期 必修 2単位

【授業の概要】

言語コミュニケーションについての、それぞれの分野における先行研究を概観し、基本的な知識を与えながら学生の理解と関心を深める。

専門演習Ⅱ

松本青也 他

2年 後期 必修 2単位

【授業の概要】

基本的な論文を読みながら、それぞれの分野における今日的課題について問題提起を行い、学生に自らの課題を発見させ、情報検索の方法についても指導する。

専門演習Ⅲ

松本青也 他

3年 前期 必修 2単位

【授業の概要】

学生による課題発表と討議と並行して、関連するいくつかの研究論文を読みながら、調査・研究方法、論文作成法について解説を加える。

専門演習Ⅳ

松本青也 他

3年 後期 必修 2単位

【授業の概要】

学生による研究発表を中心に、発表の内容、方法について自由に討議させ、四年次のプロジェクトにつながる発展的な課題と、その実践・調査・研究方法について考えさせる。

プロジェクト

松本青也 他

4年 通年 必修 8単位

【授業の概要】

それぞれの分野において、個性を生かした多様な学習・研究活動の目標を主体的に選択、設定させ、各自の目標達成に向けて適切な指導を加えながら、学習・研究業績をあげさせようとするものである。

比較教養特論

渡辺かよ子

3・4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

比較教養論での各国の状況をふまえて、本論では日本の教養論の生成と今日的課題に焦点を絞り、「共生」に向けての言語コミュニケーションの視点から「教養」の意義を概説する。

比較文化特論Ⅰ

國信潤子

3・4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

近年ジェンダーつまり社会・文化的に形成された性についての固定的概念が流動化し、国際的にも女性差別撤廃条約、人種差別撤廃条約などの人権規約が批准されるようになっている。こうした世界的趨勢はジェンダー関係の多様化が多く文化にみられるようになった結果でもある。この講座ではジェンダー概念とは何かを紹介し、ジェンダー関係の文化多様性がどのような現象としてみられるか、またジェンダー間の勢力関係のアンバランスが差別となる様相について考察する。統計データ分析や英文資料による購読も含まれる。

比較文化特論Ⅱ

トマー・トドロヴィック

3・4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

西ヨーロッパの主な諸国（フランス、英国、ドイツ、イタリア、スペイン）と日本におけるさまざまな文化活動の状況、問題点に関する最近のデータを利用して比較を行う。

批評理論

杉本一直

2～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

文学作品を構造や文体の面から分析し批評する方法を学ぶ。具体的には、時制や話法などの言語学的形態の分析とテーマ分析の双方を行い、作品において両者がいかにして連関するのかを調べる。

日本語教授法Ⅰ

阿部美枝子

2年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

一方で、「外国語としての日本語教授法」がたどってきた歴史を概観し、他方で教育現場で観察される問題点等を例証しながら、よりよい教授法とはどうあるべきかを考えていく。

日本語教授法Ⅱ

山内啓介

2年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

外国人に対する日本語教授法、特に初級レベルの日本語教授法を中心に学習する。まず、初級コースで教えることを確認する。日本語教育の用語と初級の表現文型を確認する。ビデオやミニ・デモンストレーションにより口頭練習、読解指導について学び、実際の教案を作成し、教壇模擬授業を行う。

日本語教授法Ⅲ

山内啓介

3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

外国人に対する日本語教授法、特に中級、上級レベルの日本語教授法を中心に学習する。初級における口頭練習、読解指導の教案作成および模擬授業をふまえ、中級、上級と様々なレベルの日本語教育が日本語学習者の立場に立って体験できるようにする。

日本語教授法Ⅳ

山内啓介

3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

日本語教師の役割、教材およびテスト等学習環境を教育所産として再確認した上で、日本語教育の現場を見据えた実践的な日本語教育教材の取り扱い方を学ぶ。また、日本語教育におけるテストの作成およびその評価法についても学ぶ。

日本語教育実習

山内啓介

4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

具体的な日本語の授業のための「授業計画」(指導案)に基づいて授業実習を行なう。授業実習の準備、授業実習、そして授業実習後の振り返りを通して日本語の授業への取り組み方を身をもって学ぶ。日本語教育の現場を想定して、模擬授業を行なう。

ことばの発達と障害

二宮 昭

3・4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

人間のことばによるコミュニケーション行動に関して、それは一体どのような過程を経て発達してくるのか、また、その障害はどのような場合にどのようなかたちで現れ、それを改善していくにはどういうことが重要であるか、ということを通して、人間にとってことばのもつ意義を考える。

ノンバーバル行動

松尾貴司

2~4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

ジェスチャー、表情、視線、接触などのヒトのコミュニケーションにおける非言語的なシグナルの諸相について概説し、個々のノンバーバル行動について、発達、因果、機能、進化といった行動学的な視点から論ずる。

認知心理学

吉崎一人

2~4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

1970年代から盛んになってきた認知心理学の概説をする。人間を一つの情報処理系とみなして、人間が外界の情報をもどのように取り入れて処理し、出力するのかについて学ぶ。具体的には、人間の知覚、記憶活動、知識構造やその利用、思考活動、意識と無意識の情報処理、イメージの処理、日常生活の認知活動、認知能力の個人差、等に関する情報処理モデルについて紹介する。

ビジネス英語

蜂須賀幸志

3・4年 前・後期 選択 2単位

【授業の概要】

本講義は、中国経済と日・中経済交流の全般の紹介から入り、日・中貿易の実務や、中国への投資および中国の金融・為替などを中心的に説明する。経済理論よりも対中貿易の実務に力を入れる。具体的には、商談する前の準備事項から商談最中の注意事項、また商談の仕方、それに関連する知識、中国の課税状況及び対中貿易に関する一般的な手続きなどを紹介する。

ビジネス中国語

王 建国

3・4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

本講義は、中国経済と日・中経済交流の全般の紹介から入り、日・中貿易の実務や、中国への投資および中国の金融・為替などを中心的に説明する。経済理論よりも対中貿易の実務に力を入れる。具体的には、商談する前の準備事項から商談最中の注意事項、また商談の仕方、それに関連する知識、中国の課税状況及び対中貿易に関する一般的な手続きなどを紹介する。

教職入門

小木曾通男

1年 前期 必修 2単位

【授業の概要】

本講義は、教育という職業がどのような意義を持っているのか、学校での教師の職務と役割がどのようなものであるかを、学生の被教育体験を生かしながら具体的に解説する。職務の個々の内容について、現在の中学高校の実体を踏まえて詳説する。その上で、今日の学校が抱えている問題解決の方途を、中教審、教課審の答申を学び、求められている教師像を明らかにすることによって教職につくかどうか、自らの適性を見極めて決定する情報と機会を提供したい。

【授業計画】

1. 東西の優れた教育者をとりあげ、教育とは何か、教育者とは何かを考える契機とする。
2. 近代市民社会の教育需用の増大と教育養成についてイギリス、アメリカにおける教員養成の概要及び日本における教員養成を歴史的に概観する。
3. 社会構造の変化の著しい現代社会における教員への期待について地域構造、家族構造、職業構造等の変化に伴い教員の役割の変化と多様化・個性化した保護者・生徒の教員への期待と変化とその対応を考える。
4. 中学校、高等学校における望ましい教員像とは何かを学級担任、教科担任、部活顧問、進路指導、生徒指導において各人の体験をもとに考えてみたい。
5. 信頼される教員とはどんな教員か、生徒の人間性の尊重とは何か、生徒との望ましいコミュニケーションのあり方を考えてみたい。
6. 21世紀の教育を担う教員の在り方を求め、社会の進歩と変化に対応する不断の研修と教育技術の開発により、常に新鮮な教育を行う努力を教員にとって不可欠であることを理解する。

【評価方法】

授業中にテキストに添付した用紙に記載する感想文とレポートによる総合評価とする。

【テキスト】

「教職入門」200円

【参考書籍】

授業時に紹介する。

教育原理

佐藤実芳

1年 前期 必修 2単位

【授業の概要】

高等教育機関への高い進学率を誇っている日本では、教育といえば学校教育を思いうかべることが多いであろう。しかし、学校教育を受けるのは、人生の一時期にしかすぎない。しかも学校教育をめぐる様々な問題が生じている今日、学校とは何か、教育とは何か、そのあるべき姿を真剣に考える必要がある。本講義では、教育の本質と目的を中心に教育とは何かを考察していく。

【授業計画】

- | | |
|--------|--|
| 第1回 | ガイダンス |
| 第2回 | 教育とは何か |
| 第3～5回 | 人間と教育 <ul style="list-style-type: none">・動物学からみた人間の特殊性・人間の成長と環境・教育の重要性・人間形成の場 |
| 第6回 | 教育の本質 <ul style="list-style-type: none">・注入主義・開発主義 |
| 第7～10回 | 教育の目的 <ul style="list-style-type: none">・教育目的とは・教育目的の歴史の変遷 |
| 第11回～ | 現代の教育 |

【評価方法】

定期試験、受講態度などにより総合的に評価する。

【テキスト】

教育原理——教育の目的、方法、制度——（教師養成研究会編著 学芸図書出版）

教育制度

佐藤実芳

1年 後期 必修 2単位

【授業の概要】

社会の変化にともなう学校の誕生や変化に基づき、社会において学校教育が果たしてきた役割について考えるとともに、学校教育制度の類型的比較及び学校教育制度の歴史の変遷から、学校教育制度の基本的な事項を理解する。さらに、学校経営や教育行政に関する規定がある教育法規を取り上げ、現在の日本の教育制度の特徴を考察していく。

【授業計画】

- 第1回 教育制度の意義
- 第2～3回 現代学校教育制度の起源
 - ・大学の成立
 - ・中等学校の成立
 - ・初等学校の成立
- 第4回 学校教育制度の類型
- 第5～6回 外国の学校教育制度
- 第7～9回 日本の学校教育制度
- 第10回～ 教育法規
 - ・教育法規とは
 - ・日本国憲法
 - ・教育基本法
 - ・学校教育法
 - ・学校教育法施行令
 - ・学校教育法施行規則
 - ・その他

【評価方法】

定期試験、平常点などにより総合的に評価する。

【テキスト】

教育原理——教育の目的、方法、制度——（教師養成研究会編著 学芸図書出版）

道徳指導法

加藤文字

1年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

道徳の基本原則を学ぶとともに、わが国における今日の道徳教育の在り方に至るまでの変遷を理解し、道徳教育の重要性を認識する。

また学校教育における道徳授業の指導の実際をVTR視聴、模擬授業により体得する。

授業は講義法で進める。授業内容を道徳教育ノートとして配布する。中一種免取得には必修である。

【授業計画】

- 1 道徳と道徳教育
- 2 児童・生徒を生かす道徳教育
- 3 公教育における道徳教育の歴史
 - ・明治5年学制公布から明治23年教育勅語発布までの過程
 - ・戦後の道徳教育の変遷
- 4 道徳性の発達と学校道徳教育
- 5 学校における道徳教育の実際
 - ・道徳教育の目標
 - ・道徳教育の内容
 - ・「道徳の時間」の指導計画、指導案の作成
 - ・模擬授業
 - ・まとめ

【評価方法】

期末試験の成績に、毎時間の出席状況、授業中の態度課したレポート内容を加味して総合的に評価する。

【テキスト】

テキストは使用せず。
必要に応じて資料を配布する。

特別活動指導法

小林春治

1年 後期 必修 2単位

【授業の概要】

中学校・高等学校の特別活動の変遷とその具体的な活動として学級活動、ホームルーム活動、生徒会活動、クラブ活動、学校行事についての指導法を考察する。

そのなかで望ましい人間関係、基本的な生活習慣の形成を通して個人及び社会の一員としての在り方、生き方に関する指導の充実を図ることを学習目標とする。

1. 教育課程の位置と目標

特別活動は、各教科、道徳とともに教育課程を構成する領域の一つであり、これらそれぞれの充実と相まって、中学校・高等学校の教育目標を達成することができることを学習する。

2. 戦後の教育状況と教育改革

敗戦直後の教育状況と教育基本法・学校教育法の施行（六・三・三制の実施）にいたる大要を、GHQのとった教育政策にも注目しながら学習する。

3. 特別活動の変遷

特別活動の変遷を中学校・高等学校の学習指導要領を通じて論じ、その社会的背景についても具体的な資料に基づいて学習する。また、平成12年度から移行措置がとられている新しい学習指導要領にも言及する。

4. 特別活動の基本となる指導法

中学校の学級生活、高等学校のホームルーム活動が、生徒会活動、クラブ活動、学校行事などと相互に関連していることの学習を通して、これらの集団生活の在り方、心身ともに健康で安全な生活習慣の形成などを基本にした指導法を、現状にも注目しながら考察する。

【授業計画】

必要に応じて資料を配付する。また、より理解を深めて欲しい内容についてレポートの提出を求める。

【評価方法】

期末試験の成績とレポートの評価及び出席率を総合する。

【テキスト】

高等学校学習指導要領解説 特別活動編（文部省 東洋館出版 予価 200円）

図書館情報学概論 a・b

村主朋英

1年 前・後期 必修 各2単位

【授業の概要】

この科目は、図書館情報学に関する学習の基礎固めのためのものである。前半は、図書館情報学における基本的な考え方や分野の特徴について概説する。後半は、図書館・情報サービスの実際に関して、最低限知っておくべき事項を紹介し、今後の学習への指針を提供する。

【授業計画】

1. 情報と知識の研究と実務に関わる分野
2. 情報の概念
3. 情報の流通過程
4. 図書館の機能と構造
5. 情報流通の実際
6. 情報サービスと人間
7. まとめ：人とメディアのつくる宇宙の中で

【評価方法】

前期：定期試験

後期：定期試験と夏休みレポート

※なお「図書館情報学概論 a」の単位を取得済でない学生については、「同 b」の単位は認定しない。また、前期末に夏休みレポート課題を提示するので、今年度「同 b」のみ履修予定の学生は問い合わせること。

【テキスト】

『図書館情報学用語辞典』日本図書館学会用語辞典編集委員会編 丸善 約3,800円

ドイツ語 a・b

浜田義孝

1年 前・後期 選択 各2単位

【授業の概要】

ドイツ語の基礎を習得することを目標とする。

ドイツ語は英語と同じく西ゲルマン語から出た言語で類似点も多いが、英語に比べてかなり保守的で、面倒な語形変化などがある。しかし一見やっかいそうな文法もいったん慣れてしまえば、かえって語句の関係が明確であり構文の把握も容易になる。

言葉は何よりもまず音声であるから、初めにドイツ語の発音に慣れること。そのためには教師（あるいはテープ）のドイツ語をよく聞いて、積極的に口を動かして真似ること。こうして繰り返し反復練習することによって、基本的なドイツ語の語句や言い回しになじみ、やさしい文を覚えていけば、週一回という短時間の学習でも、ドイツ語の基礎をマスターできるでしょう。

またドイツ語の学習を通してドイツ語圏の生活と文化に触れることもできる。

【授業計画】

テキストは、全12課で各課とも基本的な文法事項、練習問題、そしてドイツの学生生活をテーマにした読本（ディアローク）で構成されている。

また別冊問題集を宿題として課し、二三週毎に提出してもらい添削する。

【評価方法】

授業での平常点と期末試験の成績を総合して評価する。

【テキスト】

いかがですか大学生活（森田／田村／川上共著 朝日出版社）

フランス語 a・b

清水ベアトリックス

1年 前・後期 選択 各2単位

【授業の概要】

この授業は初級者を対象とし、フランス語の習得だけでなく、フランスの風俗、文化、習慣も「味わいながら」学ぶことを意図する。担当講師はフランス語の授業を通じて受講者の対仏国理解を深める手助けをすることを切に望む。

前期

日本で出版された平易なフランス語テキスト（CD付き）、漫画、ホップス、ビデオなどを使用する。

前期には、テキストの目次に沿って進み、フランス人講師が直接教えるので、受講者は「フランスに浸り」、「純粋な」フランス語の発音と文法の基礎を身に付ける。

できる限り前期では、下記の文法を学ぶ：

発音、名詞の『性』と『数』、冠詞、不定詞と動詞の活用：直接法現在形、疑問文：疑問代名詞と疑問形容詞、否定文、品質形容詞。

後期

前期に引き続き同じテキストを使用し、より高レベルの文法・語彙を学ぶ。しかし、特にコミュニケーションに重点を置くので、「純粋なフランスの環境」の中で簡単な作文を書いたり、寸劇をすることにより、受講者自身の考えをフランス語で表現する能力を養成することを主目的とする。

後期では、下記の文法事項を学ぶ：

目的語となる人称代名と強勢形、指示形容詞、所有形容詞、冠詞の縮約、半過去、複合過去。

【授業計画】

毎回学んだフランス語を会話練習に積極的に使用するとともに、文法を体系的に学んだり、平易なフランス語の文章を和訳する。

【評価方法】

定期試験を重視するが、宿題、出席率、受講態度なども考慮に入れる。

【テキスト】

Mini de concert (Centre Franco-Japonais d' Osaka 朝日出版)

ロシア語 a・b

杉本一直

1年 前・後期 選択 各2単位

【授業の概要】

みなさん、知っていますか？日本の大学のなかでロシア語を学ぶことができる場所は本当に少ないんですよ。ということは、「ロシア語がわかる人」は日本ではとても希少価値があるのです！「芸術の国ロシア」の言葉を今すぐ学んでみませんか？

この授業では、初歩のロシア語を学びながらロシアの芸術や文化や街について楽しく紹介していきます。映画の鑑賞会もありますから、楽しみにしててくださいね。

【授業計画】

初級のわかりやすい辞書を「テキスト」として授業を進めてきます。まず、例の不思議な形をしたキリル文字を覚え、発音を覚え、そのあとは辞書で遊び(?)ながら「使える単語」「使えるフレーズ」を集めていきます。たくさんたくさん集めたら、あれ、いつのまにかロシア語の達人！

辞書以外に補助教材として会話用プリントを配布します。学ぶ項目は以下のとおりです。

- a. キリル文字と発音
- b. 大きな声であいさつしよう
- c. 買い物に行ってみよう
- d. 乗り物に乗ろう
- f. おなかがいいたら...
- g. 自分について話してみよう
- h. 好きな音楽について
- i. 手紙を書こう (本当にロシアへ送るぞ！)

【評価方法】

定期試験の成績による。

【テキスト】

「パスポートロシア語辞典」(白水社)

Intensive English 2000

デイビッド・C. ダイカス ポール・ルイス ポール・C. リンガー ジョアン・M. ウッドマン

デイビッド・レヴィ ジョナサン・E. ロング ハリー・T. ノリス

2~4年 前・後期 選択 各2単位

【Course Content】

This unique course is aimed at low to high intermediate students with academic as well as personal goals. The integrated skills format ensures the development of true communicative language that is authentic and natural.

Emphasis will be predominantly on the development of listening and speaking skills, but reading and writing skills—including vocabulary, comprehension, and grammar—will also be cultivated.

Teachers from The United Kingdom, North America, Canada, and Australia will be teaching on this course, providing a well-rounded perspective of the contemporary themes found in the text and encouraging critical thinking.

Students will have a choice of four two-day courses of study (see student handbook for more detailed information).

【Schedule】

Topics will be covered over a two or three week period and will include a variety of themes selected by the teachers.

Examples of such themes include the following:

- 1) GENDER STEREOTYPES AND WORK
- 2) THE AFFECT OF FOOD ON MOOD
- 3) VACATION SPOTS AROUND THE WORLD
- 4) STAYING HEALTHY
- 5) UNEXPLAINED PHENOMENA
- 6) OUTDOOR LEISURE ACTIVITIES

【Assessment】

Assessment will be continual and will be based on the following criteria:

- * ATTENDANCE
- * CLASS PARTICIPATION/EFFORT
- * HOMEWORK AND ASSIGNMENTS
- * END OF SEMESTER REPORT

【Textbooks】

TO BE ANNOUNCED.

言語文化海外セミナーⅠ

馮富榮

集中 1～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

この授業では、言語実践を通して、言葉を知り、理解し、発信し、理解されることの楽しさを体験することができる。また南京師範大学に滞在して生活することで、中国に対する単なる傍観者・観察者ではなく、客観的な目をもった共感者になることを目指す。

1. 南京師範大学において3週間の中国語研修を行う。
 - ◎月曜～金曜の午前中は8:00～11:30まで中国語の授業。日本語のできない先生が中国語で授業するが、分かるのが不思議。内容は会話表現中心。
 - ◎午後は課外活動として南京市内見学（中山陵、南京博物館、玄武湖、夫子廟、南京大屠殺記念館など）を通して、南京の風俗、歴史を学び、日本語学科の学生との交流会などを通して中国人同世代の人の考え方や生活を学ぶ。
 - ◎夜は予習復習に追われる。みんな教室に集まって、黙々と勉強。
 - ◎土曜と日曜は言語実践の日。南京の街へ飛び出そう！
 - ◎風光明媚な「瘦西湖」で名高い揚州へ、庭園で知られている蘇州への一日旅行。
2. 言語文化論Ⅰの講義内容と呼応した1週間旅行。
3. 定員は20名程度。
4. 今年度の2月中旬から3月中旬にかけて実施する。
5. 修了者には2単位を認定する。

【授業計画】

4月のガイダンスで研修の内容などを説明する。後期開講科目であるが、参加希望者は履修登録を必ずする。9月下旬頃、参加者最終決定。10月中旬頃、第1回説明会。11月下旬頃、第2回説明会。1月下旬頃、オリエンテーションを実施する。2月中旬頃に出発し、3月中旬頃に帰国する。費用は30万円程度。

【評価方法】

引率者が平常点で評価する。

【テキスト】

南京師範大学の研修授業の担当先生が決めるテキストを使用する。

言語文化海外セミナーⅡ

窪田守弘

集中 1～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

韓国の大邱市にある大邱暁星カトリック大学で、3週間の語学研修を行なう。参加学生は、必ずしも韓国語の知識は必要でなく、意欲的に異文化体験しようとする者であれば、だれでも自由に参加出来る。ただ、キャンパス内の寄宿舎では規則正しい時間を送りながら語学中心の勉強生活となるので、事前の心構えがしっかり定まっている人が望ましい。

この研修は単に語学や文化の研修をするだけでなく、韓国の学生との交流を通じて相互理解を図り、多くの新しい友人を得ることも大きな目的の一つである。

期間：8月6日～8月25日（予定）

内容：

- A. 韓国語研修（月～金）
 - ◎毎朝3コマ（1コマ50分）
- B. 文化研修（午後週1～2回）
 - ◎陶磁器実習
 - ◎韓国料理実習
 - ◎韓国伝統舞踊鑑賞
- C. 文化講座（午後週1回）
 - ◎韓日文化比較論
 - ◎韓日文化交流論

【授業計画】

参加学生は、必ず事前研修（週1回）を受けて、韓国語、文化、歴史などの基礎知識を得ることとする。

なお、参加希望者は、4月より始まるNHKのハンゲル講座を受講することが望ましい。

【評価方法】

研修後にレポートを提出し、全員で報告書を作成する。

【テキスト】

ムクゲと桜（日韓異文化コミュニケーション）窪田守弘著 見学出版 350円

英語コミュニケーション10

ダグラス・L. ドイル

1～4年 前・後期 選択 2単位

【Course Content】

The objective of this course is to revise and augment students' knowledge of English vocabulary and non-verbal features, as well as developing their speaking, listening, reading and writing skills. Students who opt for this course will be expected to be able and highly motivated. Students who are less able will be expected to be extra-highly motivated.

【Assessment】

Assessment will be based on a combination of the following: general classroom performance (continually assessed) general standard of homework (continually assessed) and by examination.

【Textbooks】

Text: To be advised.

英語コミュニケーション11

ジョナサン・E. ロング

1～4年 前・後期 選択 2単位

【Course Content】

Students who meet the prerequisites will in the class have to meet the challenges of reading scripts in English, watching the videos without subtitles, discussing them in English and writing reaction papers about them.

Usually, three weeks will be allowed for each video:

Week 1 : script

Week 2 : video

Week 3 : discussion; homework: reaction paper

【Assessment】

Assessment will be based on attendance, class participation using English and the reaction papers.

【Textbooks】

none.

英語コミュニケーション12

ディビッド・C. ダイカス

1～4年 前・後期 選択 2単位

【Course Content】

This course will focus on skills and techniques needed for informative and persuasive writing and presentations, especially for business purposes. An important focus will be on recognizing and understanding the differences in rhetorical patterns between Japanese and English. Students will study how to gather, evaluate, and organize information, and assignments will include writing informative and persuasive essays and making presentations and speeches based on the information gathered.

The course be topic/theme oriented. Students will read about, discuss, research and write about these topics. Written work will provide the basis for presentations. Writing practice will include the study of paragraph organization and effective presentation and support of ideas in written English. Once this level of writing is mastered, we will move on to longer pieces of writing. Presentation skills will be studied as well. These will include techniques for public speaking and the effective use of visual aids.

【Schedule】

As described above, the course will move from basic organization and presentation of ideas in short pieces of writing to essays and presentations based on their content.

【Assessment】

Grading will be based on attendance and participation, homework assignments, and in-class presentations.

【Textbooks】

To be announced

英語海外セミナー

石橋千鶴子 ジョナサン・E. ロング

1~4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

ウエスト・バージニア大学が本学のために用意する英語研修プログラム。現地キャンパスにおいて実施される。ESL専門教員が担当する約4週間の集中授業のほかに、小旅行、ホームステイ、在学生との交流などが用意されている。すべてを終了すれば、本学の単位が与えられる。本年は、8月下旬から9月下旬の約1ヶ月間を予定している。定員は約40名。

【評価方法】

ウエスト・バージニア大学授業担当者の評価による。